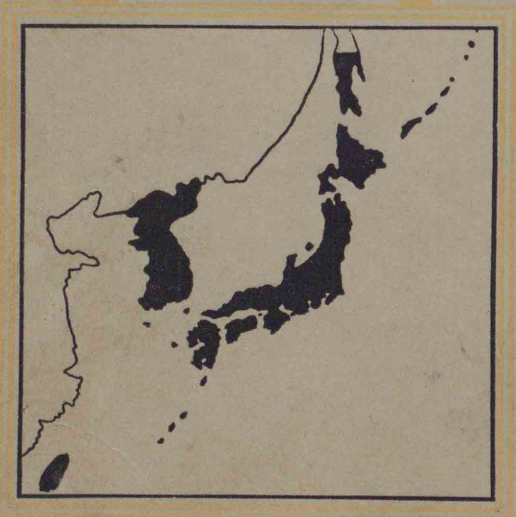


訂 五  
書科教理地新子及

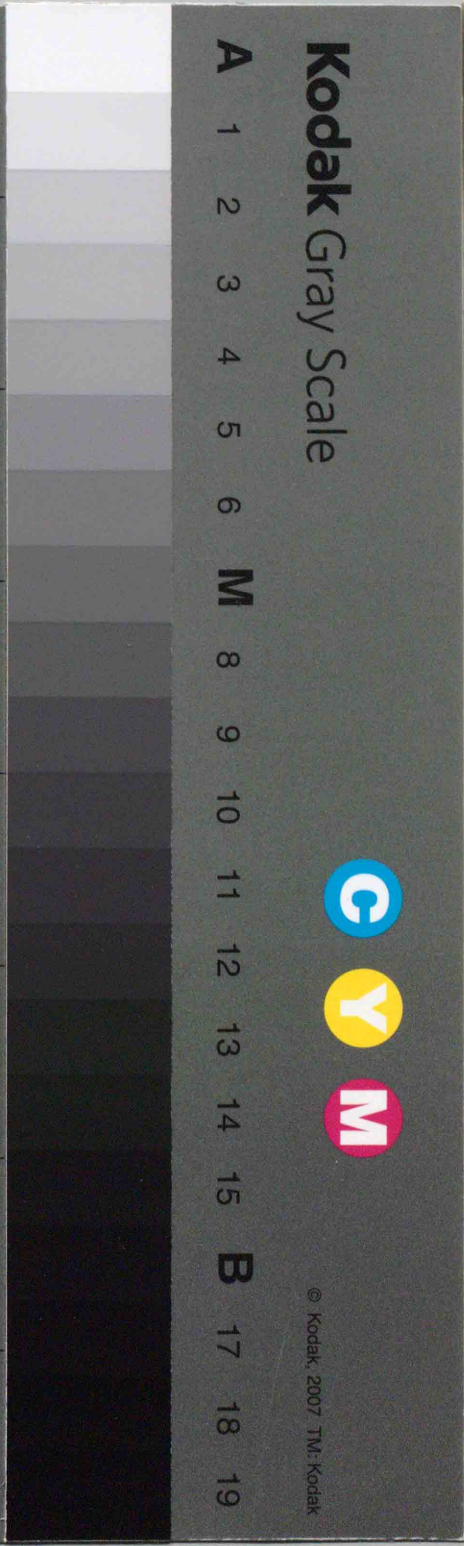
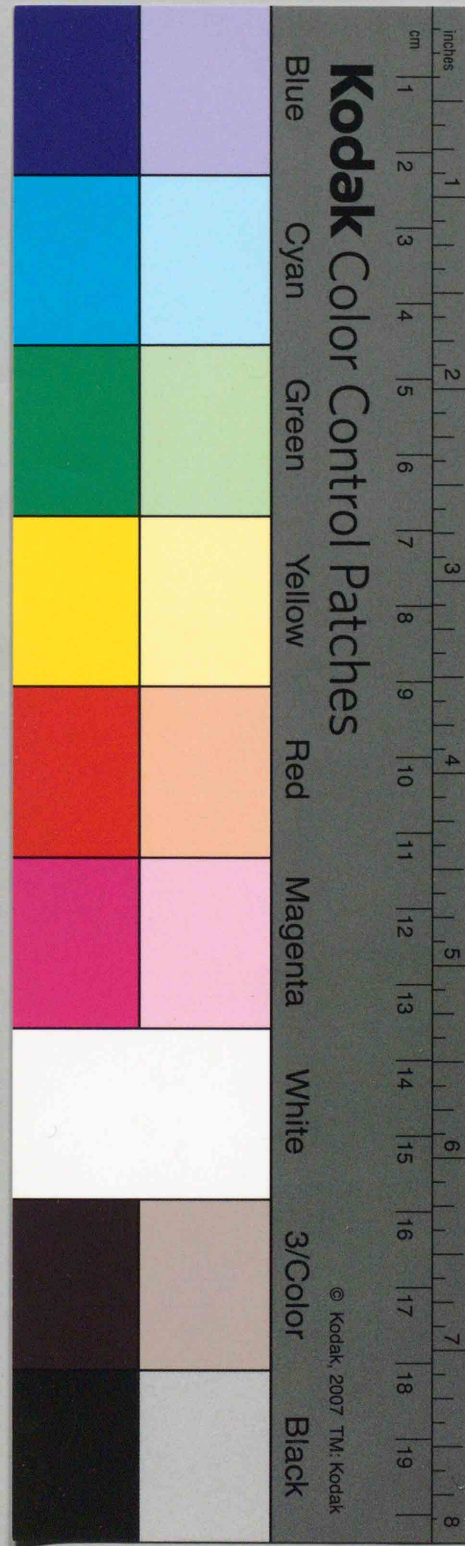
篇理地本日

著郎四與田西



京 東  
兌發店書黑目

教科書文庫  
4  
291  
42-1936  
2000063446



42888  
教科書文庫  
4  
291  
42-1936  
20000  
63446





資料室  
昭和一十一年一月二十三日  
高等女子學校地理科用  
文部省檢定濟

教科書文庫  
4  
291  
42-1936  
2000063446

375.9  
N119

西田與四郎著  
訂五  
女子新地理教科書

日本地理篇



東京  
目録書店發兌

広島大学図書  
2000063446  




山 士 富



島 松





## 富士山

富士山は我が國で最も高い火山で、又最も形のととのつた山である。高さ三七七六米。頂上には舊噴火口がある。神々しい姿は昔から詩や歌などによまれて、國民に大きい感化を與へて居る。この圖は静岡縣大宮町の邊から北東に眺めたところで、廣々とした裾野には村や森が分布する。工場は製紙會社である。この會社はもと富士の南麓から山腹一帯の大森林の木材を原料として居つたが、今では原料がここでは得られなくなつたので、遠く北海道樺太・シベリヤ・北アメリカ等から、木材・パルプを求めて製紙をして居るのである。

## 松島

日本三景の一として有名な宮城縣の松島は仙臺灣内の松島灣に散ばる大小數百の島々から成つて居る。島は何れも凝灰岩といふ軟かい灰白色の岩石から成り、波や雨水の侵蝕を受けてさまざまの形をなし、その上には綠色濃い松がとり／＼の姿にはえて、清い海にその蔭をひたしてゐる。この圖は富山から見た景觀である。鹽釜と松島との間には定期船が通つてゐる。この外和船(遊覽船)を雇つて島巡りをすることも出来る。諸子はこれから此の二圖に示す様に土地自然の有様と、自然と人との關係を調べて行くのである。

## 緒言

本書は「外國地理篇及び地理概説篇」と彼此相連絡して、拙著「女子新地理教科書」の全體系をなし、**女子教育上有効適切ならんことを期した。**

本書の編纂上特に注意せる點は次の如くである。

- 一 各地方を主とし、日本の總説を簡にしたのは經驗上適切と信じたからである。
- 二 各地方の順序は、北より南に及ぼしたが教師の意見により各地方の順序を前後するも使用上不便なき様にした。
- 三 地理區と共に府縣區も實用上大切であるから相當に兩者の調和を計つた。
- 四 教材の選擇については從來のものよりも一層輕重を附し、所謂模式的教授又は學習方法を行ふに便にした。即ち教材の徒らに多くして煩瑣不徹底の學習に終るよりも、寧ろ主要教材を中心として**地理的能力**を練るに便なる様工夫した。然し他面に於て**女子向の教材**として衣食住等の家事的事項及び地方風俗については充分注意を拂つた。
- 五 特色あり利用度の高い**寫真地圖統計圖**を多數に挿入し、之に出来るだけ平易且詳密な説明を附して本文を補足した。従つて本書は**生徒學習用の參考書**としても相當の材料を提供したことになる。この點は本書の最も努力した點で、生徒の學習興味を惹起し、精密







第十一章	臺灣地方	………	三〇
第十二章	朝鮮地方	………	三五
第十三章	總說	………	四九
附錄	甲 舊道別と國名	………	
	乙 行政區劃面積人口都市	………	

目次終

訂五 女子新地理教科書 日本地理篇

西田與四郎著

第一章 緒説

一、位置 我が大日本帝國はアジヤ洲の東部(極東)太平洋の北西に位置し、西と北の大部分は縁邊海オホホリック海日本海を隔ててアジヤ大陸に接し、南は大洋洲の諸島とマレー諸島に近く、東は太平洋を隔てて遙に南北アメリカ洲と相對してゐる。即ち我が國は極東に位置する環太平洋の一國である。

位置の調べ方に二つの方法がある。(1)他との關係から見る場合關係的位置と、(2)經緯度による場合經緯度上の位置とである。我が國の範圍を經緯度で示すと次の如くである。

北端 北緯五〇度五五分 東端 東經一五六度三一分

委任統治地の南洋群島を加へると、南端は北緯一度二分、東端は東經一七二度一〇分となる。



南端 北緯二〇度二五分

西端 東經一一九度一八分

三頁参照のこと  
 \* 面積三千五百方  
 方料  
 \*\* 面積二千一百

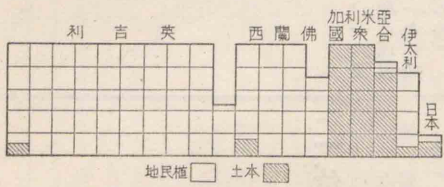
▲この外、關東州  
 約百十萬人、南  
 洋群島十萬人

二、面積人口 我が國は日本列島と朝鮮半島より成り、全面積凡そ六十八萬方料である。尙この外に關東州租借地と南洋群島委任統治地がある。その中、本土九州、北海道は約六割を占める。之を世界の四大國イギリス、アメリカ合衆國に比べると、我が本土はイギリス、イタリアの本土より稍大で、フランスの本土より稍小であるが、我が全土は他の四國の全土よりも遙に小である。

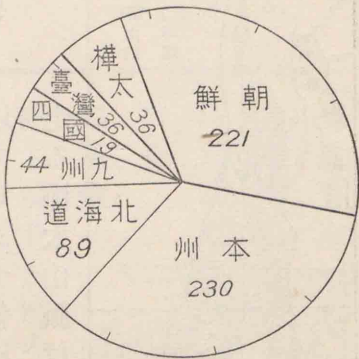
しかし我が國は風土良好で、生活に適するから、人口は面積に比べて甚だ多く、總數約一億萬人を數へ、其中本土の人口は約七千萬人である。之を他の四大國に比べると、我が本土の人口はアメリカ合衆國の本土に次ぎ、我が全土はイタリアを除いては最小である。しかし本土の人口密度はイギリス本土に次ぐ。

三、區分 我が本土は一道三府四十三縣に分たれる。本書は地理上から、本土内地八地方と植民地外地の樺太、臺灣、朝鮮に分けた。

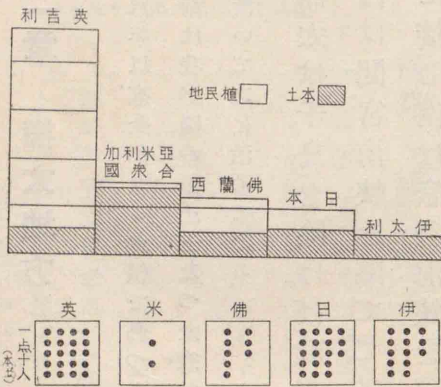
較比積面の國強列



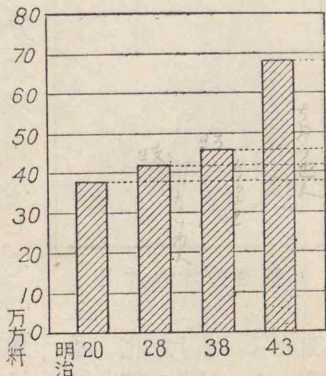
較比積面の地各國が我 (軒方千位單)



較比(軒方一)度密口人と口人の國強列



加増積面の年近國が我



我が國各地の人口數(昭和十年)

本州	五二七一萬人
朝鮮	二二九〇
九州	一〇一一
臺灣	五二一
四國	三三六
北海道	三〇七
樺太	三三
計	九七六九

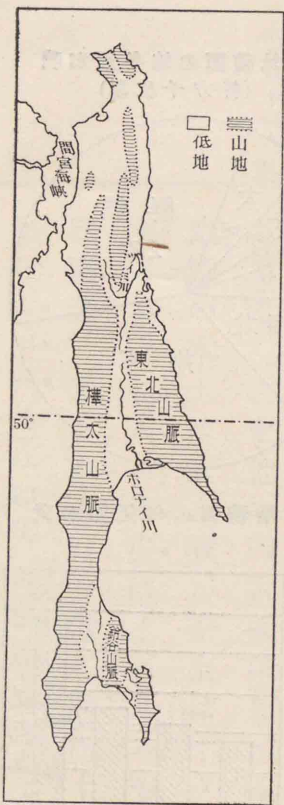
實習 上の面積比較圖になら  
 つて人口比較圖を作れ



### 第二章 樺太地方

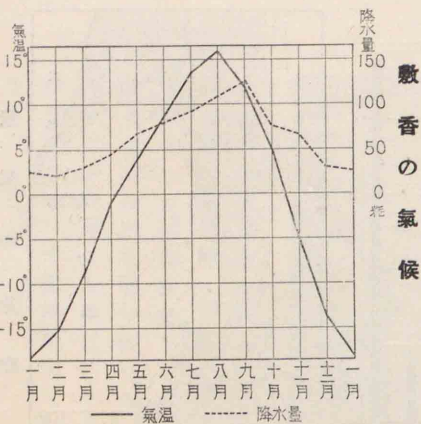
樺太は明治八年以來全部ロシア領であつたが、今より約三〇年前日露戦役の結果、北緯五〇度以南は我が國の領土となつた寒地性植民地である。我が國は樺太廳の下に七支廳を置いて之を治めてゐる。

\*尋地二、一六頁  
(尋常小學地理書  
卷二の一六頁挿  
圖参照の略)



樺太地方の地形略圖

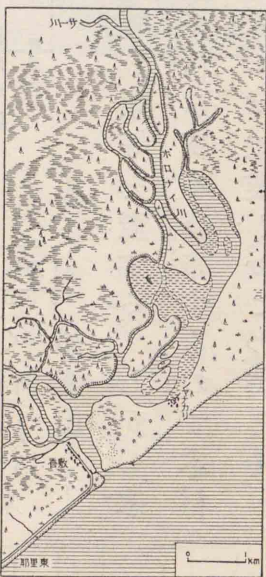
一、位置地形 樺太は千島を除けば我が國最北の地方で、東はオホーツク海に臨み、西は間宮海峡を隔ててアジア大陸に對し、北は陸境を以てロシア領に接し、南は宗谷海峡を隔てて北海道に隣る。南北に走る樺太山脈は主な分水界をなし、その東に東北鈴谷の兩山脈がある。この東西兩山脈間には、北部に幌内川、南部に鈴谷川、内淵川流域の平野が廣がつてゐる。海岸は亞庭灣多來加灣の外、一般に出入が少く、



樺太の氣候

實習 上に圖の氣候降水量を量よべ。記し入ての地の氣候候よべ。

屬島も海馬  
豹島海馬  
島だけで  
ある。  
二、氣候  
樺太は我が國の最も冷涼な地方で、冬は川も



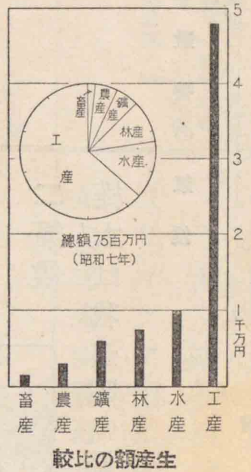
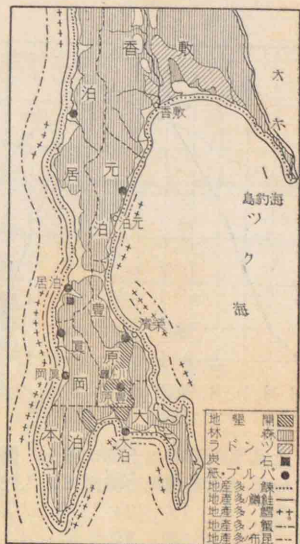
海岸も概ね凍る。

一五三頁の等温線圖で分るやうに、樺太の気温は一月には南北の差甚しいが、零下二—二〇度七月には之に反する、約一六度。年平均では西岸は東岸よりも暖いのは海流の關係である。之は平均気温であるが、北部の數香では最高三六度最低零下三九度となつたこともある。上圖の數香の気温グラフも平均數であるが、零度以上の月は半年である。次に降水量は樺太は我が國の最少地方である一五



内平野の圖下は圖形地部測量の一部分の觀景。此の野平はラドツ耕作に適さない。鹿や生々點が松葉落に地苔である。





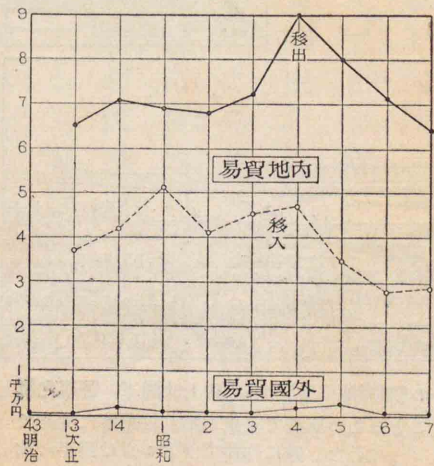
別業職の人口



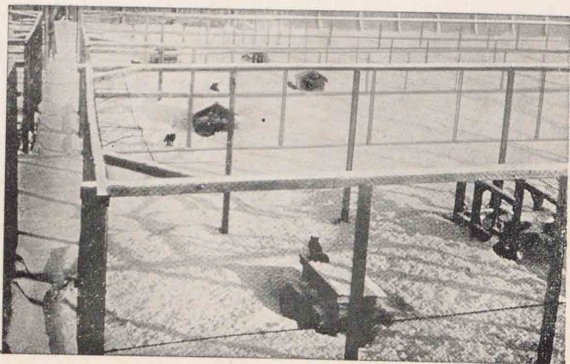
三頁。降雪期間は低地では十月下旬から五月中旬頃まである。海水は十一月下旬からはじまり、四月中旬に流氷となつて運び去られる。只真岡以南の西海岸だけは暖流の関係で殆んど氷らない。

\*一五五頁  
\*一五九頁  
\*一五九頁  
\*二一九二頁

只、麥馬鈴薯豆類等を産する。しかし寒地性の原生林が広く分布するので、木材を産し、又、パルプ工業がおこつてゐる。



(泊大) 場 狐 養



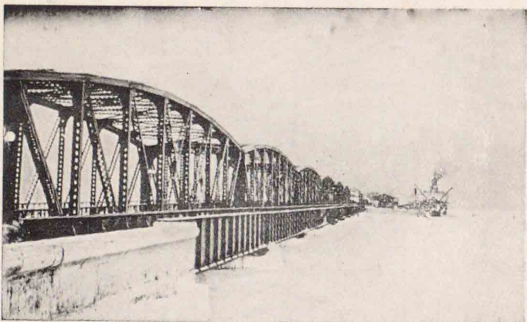
毛皮を賣るために行ふ寒地の産業で、大正四年にはじまり、年々その飼養数増加し昭和七年には三千頭子狐の生産数二千餘頭となつた。大泊附近が第一で、真岡豊原地方之に次ぐ。

標 犬



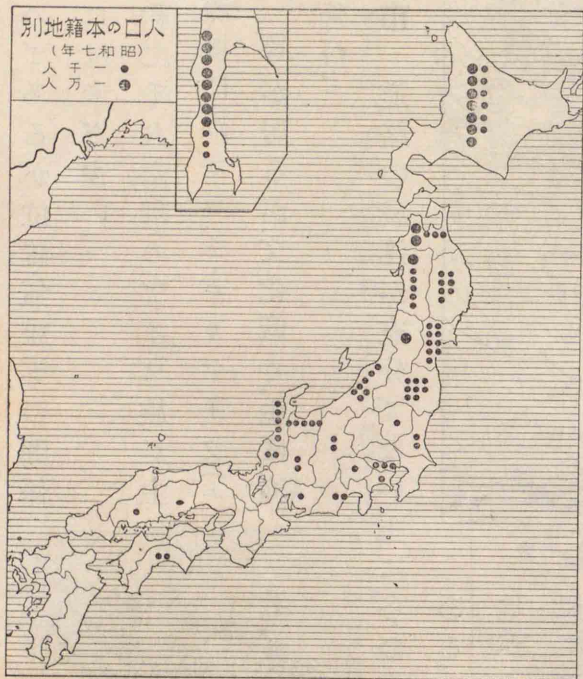
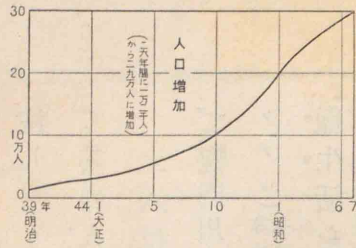
樺太は雪の量は多くはないが、十一月下旬頃から四月上旬頃まで根雪があるので、その期間の陸上交通は荷馬車や自動車に橇やスキーが代る。橇は馬の外に犬が用ひられる。又北方では馴鹿にひかせる。

頭 埠 泊 大



大泊港内の海水は一・二月頃には厚さ二〇センチ以上となり、沖合一キロ位まで水上に人馬の往來が出来る。圖の埠頭は岸から一キロ餘突出されたところにあつて三・二トン・二千トン級の汽船が各二隻同時に横付け出来る。北海道の稚内との間の連絡船は砕氷設備があるので冬でも茲に横付けされ、ここで汽車と連絡してゐる。一〇頁地圖参照。(尋地二、一八頁)

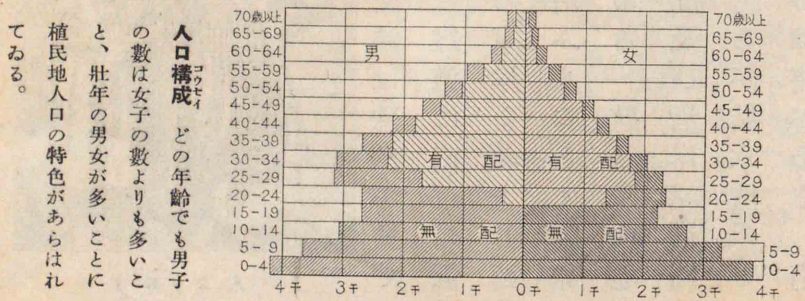




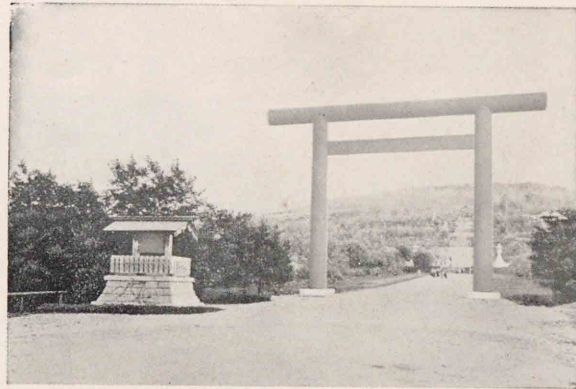
四住民  
住民の大部分は内地から移

石炭の埋蔵は多いが、まだあまり採掘されてゐない。水産には鯨、鮭、鱒、鯉、昆布、蟹等がある。夏季には海豹島に鰐、鰩、鯊が集まる。貿易は主に内地との間に行はれる。

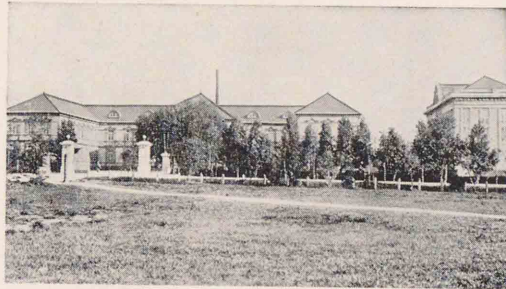
\* 尋地二、二〇頁  
\*\* 尋地二、二二頁



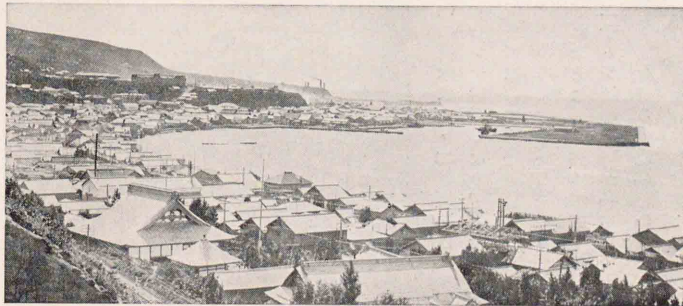
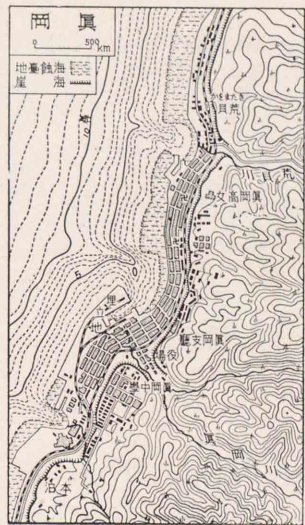
人口構成 どの年齢でも男子の数は女子の数よりも多いこと、壯年の男女が多いことに植民地人口の特色があらはれてゐる。



(照参圖地頁一一) 樺太 樺太 樺太



眞岡の港は瀬谷を利用したものである。下圖には築港と海岸段丘と其下に延びてゐる市街とがよくあらはれてゐる。右の地圖と比べてこの寫眞はどの方向からとつたものかを考へよ。



眞岡市街

樺太神社

豊原町の東の郊外、スキーで名高い旭ヶ丘の中腹にあつて境内からの眺望がよい。明治四十四年全島鎮護のために建てられた官幣大社で、大國魂命・大己貴命・少彦名命をまつる。

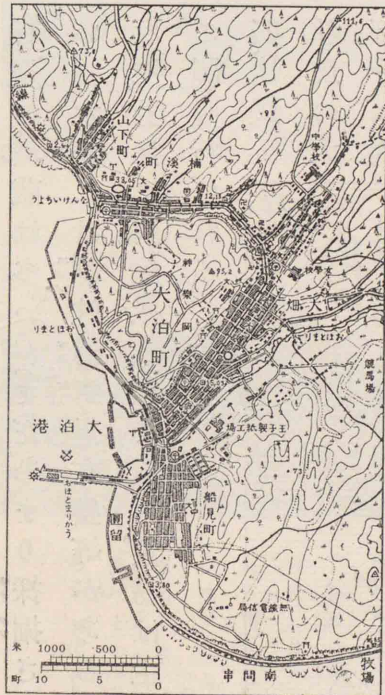


住したものであるが、位置・氣候等の關係で其の人口は未だ少い。

土人は約二千人、南部のアイヌ族が主で、幌内川流域にはオロコ・ギリヤーク（ニクブン）<sup>尋地一七頁</sup>等が居るが、文化低く、主に漁獵生活を営む。

五、交通都市

道路の發達が充分でない上に冬の交通は殊に不便である。鐵道は南部の低地から東岸を北上し、西岸に沿ふものとも連絡してゐる。航路は内地との間及び沿岸諸港間に通ずるが、結氷・流水・ガス等の障害がある。南



(圖形地測陸) 大泊

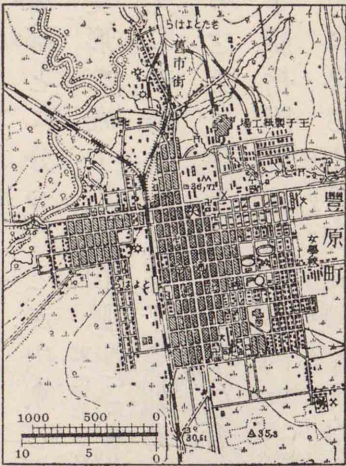
ある。鐵道は南部の低地から東岸を北上し、西岸に沿ふものとも連絡してゐる。航路は内地との間及び沿岸諸港間に通ずるが、結氷・流水・ガス等の障害がある。南



人コッロオ

岸の大泊は本島の門戸に當る開港場、西岸の眞岡は開港場で水産業の中心本斗は不凍港である。以上の三港は何れも内地と年中貨客の連絡がある。鈴谷川流域の首都豊原は本島開發の中心をなす。

(圖形地測陸) 原豊



市舊・校學女・場工紙製・廳太樺  
ら見がどな街市新の式交直・街  
。(頁二二・頁九一・二地尋)るれ

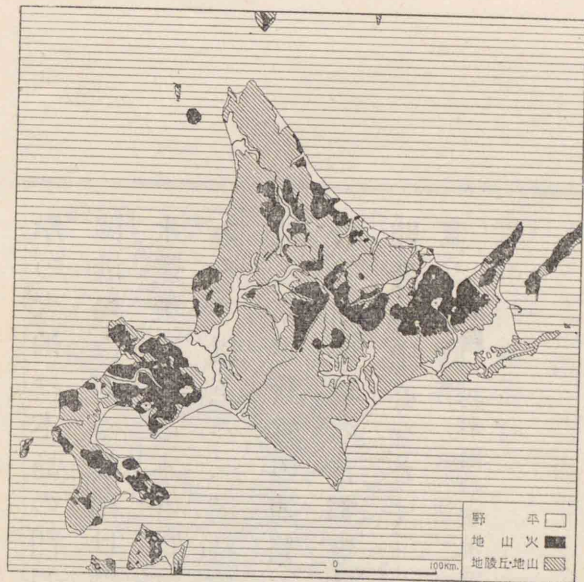
問題

我が國の寒地性植民地としての樺太を調べよ。



### 第三章 北海道地方

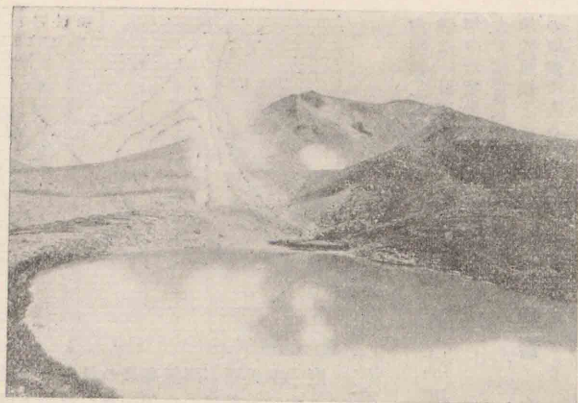
北海道はもと蝦夷とよばれ、明治二年開拓使が置かれてから急に開發された地方である。現在、北海道廳の下に十四支廳七市があつて之を治める。



北海道の地形

一、位置 北海道本島は樺太と本州との間に位し、千島列島はその北東に連り、ロシア領カムチャッカ半島に迫つてゐる。  
二、地形 本島は石狩平野を界として、胴體部と半島部とに分つことが出来る。(1) 胴體部は菱形をなし、蝦夷山脈東に北見、白、高、兩山脈、西に天、鹽、夕、張、兩山脈南北に走り、千島火山脈は千島列島より本島に入り、之と十字形に交り、その會合點の大雪山、十勝岳附近は土地が高い公園。蝦夷山脈の東にある十勝、釧路、根室、北見の諸平

\* 尋地二、三頁



旭岳 大雪山 火山 火 山 群 最 高 峰 (二九〇米) と 委 見 池 爆 裂 口

野は概ね臺地性で、十勝川、釧路川、常呂川等その中を流れ、沿岸は大抵單調な砂濱であるから良港なく、オホーツク海方面にはサロマ湖、能取湖、網走湖等の瀉が多い。蝦夷



阿寒國立公園の一部 (カヌイム火火山)

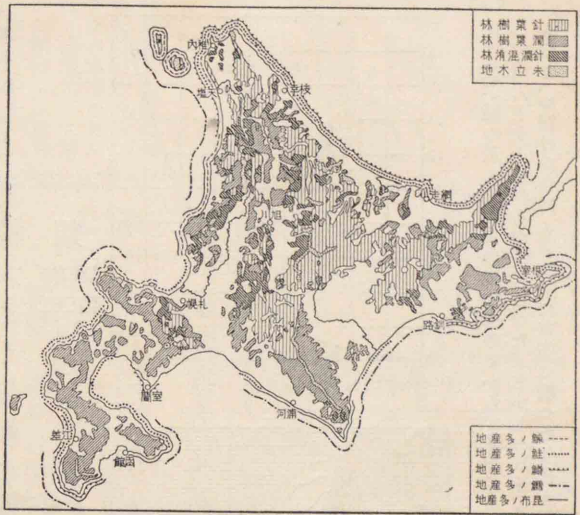
山脈の東西二列の山脈間には天鹽川、石狩川の上流に名寄、上川、富良野の諸盆地。開け、下流には天鹽、石狩の二平野がある。殊に石狩川は水運の利大で、下流には汽船通じ、石狩平野は地味肥沃で、開拓が最も進んでゐる。この方面の沿岸も大抵は砂濱で、砂丘も多いから良港がない。(2) 半島部は魚尾の如き形をなし、那須火山脈に屬する駒岳、羊蹄山、蝦夷山、有珠山、登別

アナン  
ダイセツ



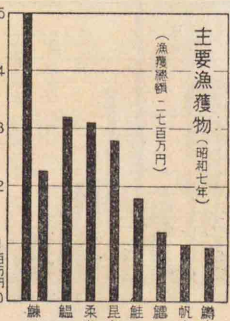






森林と水の産分

としてビール<sup>シヤウヰヤ</sup>焼酎片栗粉小麥粉薄荷砂糖麻布等の製造が行はれる。牧畜は原野廣き故盛に行はれ、馬を主とし、豚牛<sup>ブタウシ</sup>綿羊等に次ぐ。新冠<sup>ニヒカガシ</sup>の牧場を始め、大きな牧場が少くない。牛乳を原料とする煉乳<sup>レンジュ</sup>・バター等の製造も起つて来た。森林は本島面積の過半を占め、蝦夷松<sup>エゾマツ</sup>・椴松<sup>スズノ松</sup>・ナラ等は建築用材<sup>18</sup>・製紙等に利用せられる。鑛産は石狩炭田の石炭を主とし、鐵・金・硫黄等を産出する。



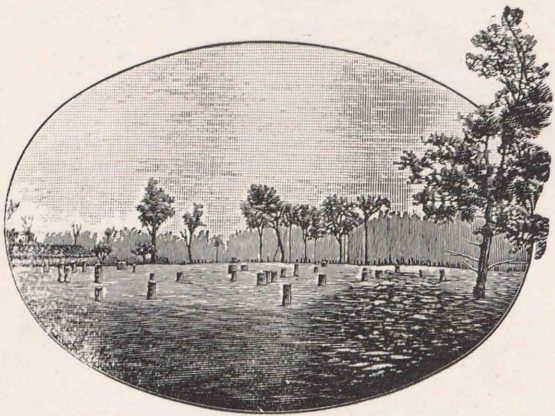
近海は海流の影響で、世界屈指の大漁場をなし、魚介<sup>イシイ</sup>海藻<sup>ササ</sup>に富む。その中、鱈<sup>ニシ</sup>を第一とし、鱈<sup>イシイ</sup>・柔魚<sup>ニシ</sup>・鱈<sup>イシイ</sup>・鱈<sup>イシイ</sup>・帆立<sup>イシイ</sup>・昆布等の産も多し。是等は乾製<sup>19</sup>・燻製<sup>20</sup>・鹽製又は罐詰として、本州及び滿洲支那等に送られる。

\*一八頁  
尋地二、五頁

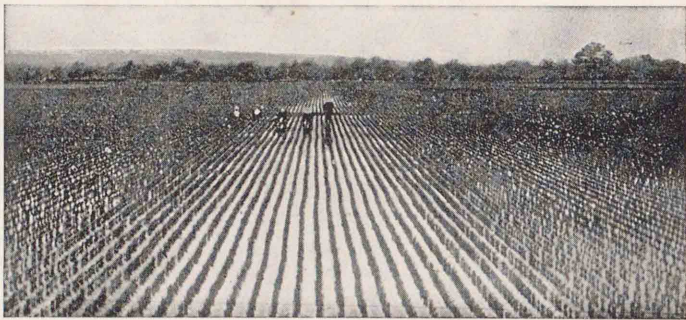
開墾初期の景

これは石狩平野の北邊、深川附近の景で、森林地開墾のはじめの伐木を示す。作物はこの株の間に作り次第に株を取り去る。

(尋地二四頁)

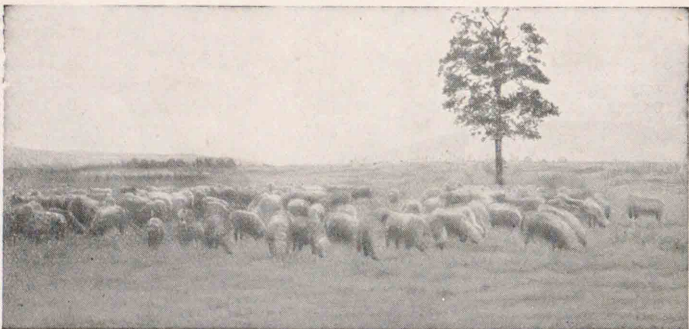


田 米



夏の高温を利用し早生種を植えるので、近時米田が多くなった。耕作に機械力と家畜とを利用し規模が大きい(尋地二、八頁)。

畜 牧



農林省所管の瀧川附近の種羊場で、綿羊を飼つてゐる。(尋地二、九頁)





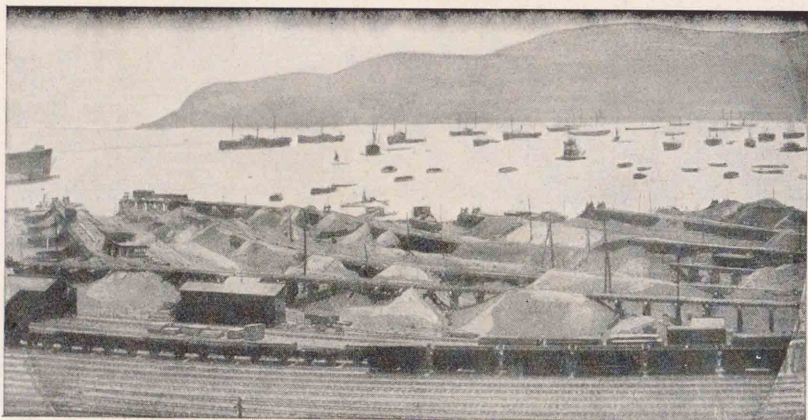


函 館 港



巴形函館内港の真港であらう。  
圖は北に向つて港内を景観する。

小 樽 港

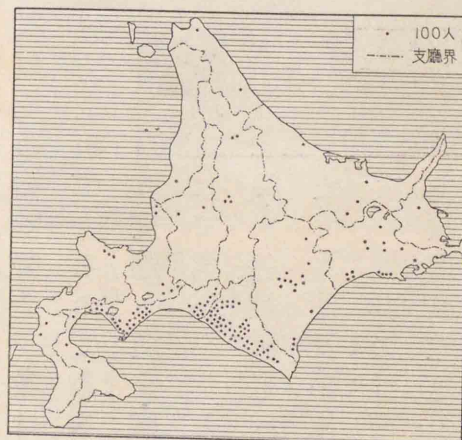


港の西北端の宮手積炭石の出場景であらう。左端は高橋架の一部と堤波防と見え。(頁三一・二地尋)。

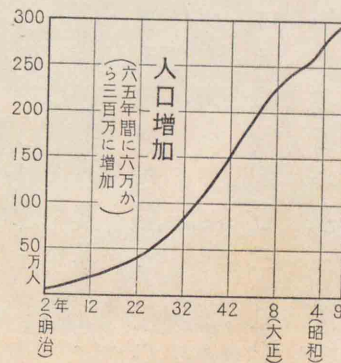
\*二九頁及び附録

第三章 北海道地方

小である。\*原住民アイヌ人は日高膽振に多く、その總數約一萬六千、大に内地化したものが、なほ特別の風習をもつてゐる。



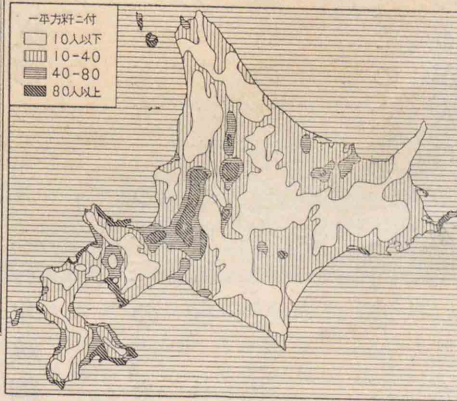
アイヌ人の分布



人口密度(下圖)



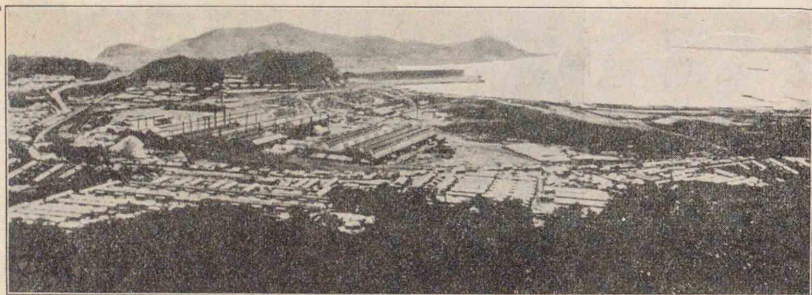
アイヌの子女と小兒の俗風の  
内地化のたしをよ見。(頁六一地尋)





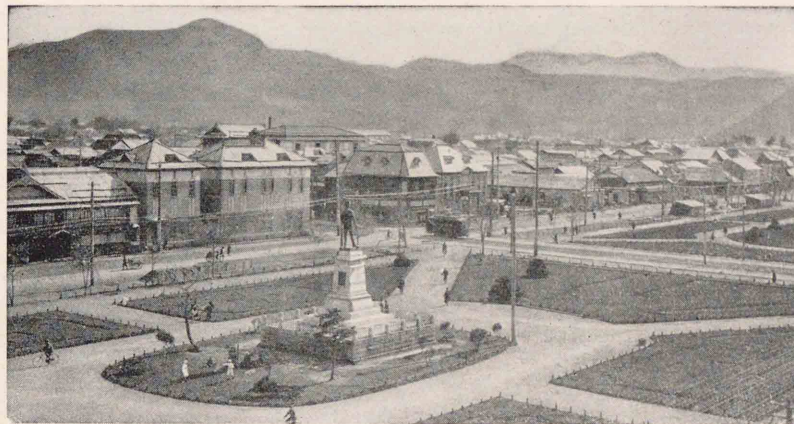
七、處誌 半島部、胴體部、千島の三區に分けることが出来る。(1)半島部 函館市は本島の南門をなし、早くから開けた開港場で、水産物の取引が多い。西岸には本島最古の都市福山（舊名松前）と、漁港江差（サシ）、岩内（イワイ）等がある。小樽市は本島第一の開港場で、石狩平野をひかへ、本島物産の積出し多く市況活潑である。室蘭市は良港で、石狩炭の積出多く、又大きな製鋼所がある。

(2)胴體部 北見、日高兩山脈により更に東西の二部に分つ。(イ)西部の主要地は石狩平野である。その中心都市の札幌市は、道廳北海道帝國大學の所在地で、市街の建設新式に屬し、街路廣く、市區が井然としてゐる。商工業



室蘭港の入り口。圖のこの室蘭製鋼所であらう。その左の方の市街と遠き望み。(頁四七・頁〇一・二地尋)

札幌市街



圖の市街中央を東西に貫く大通(餘米百幅)を示すのも公園の園ヤ(頁四一・二地尋)。うにふの山は市の西南にあてらる。うにふの山は西南の市は山のふ向。うにふの山は西南の市は山のふ向。うにふの山は西南の市は山のふ向。

旭川市街



この圖は停車場の前を道路を示すのも市街の廣く整然として。この圖は停車場の前を道路を示すのも市街の廣く整然として。この圖は停車場の前を道路を示すのも市街の廣く整然として。

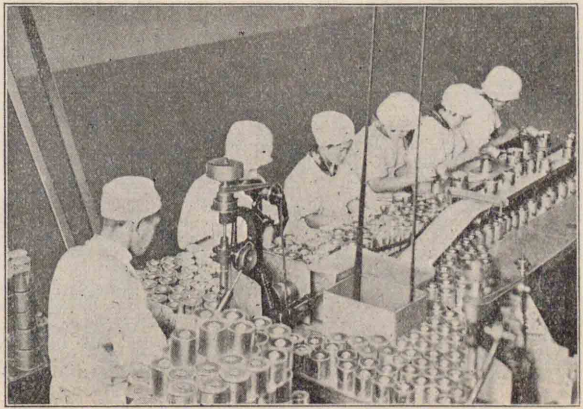


も盛んで、麥酒・製麻・製材・製粉・煉乳等の諸工場がある。岩見澤は近傍に多くの炭田を控へ、鐵道の會點に發達した商工業都市である。

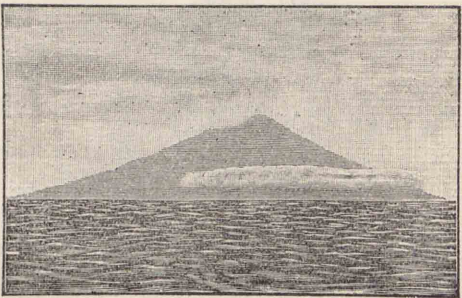
上川盆地は本島のほぼ中央に位し、その中心は旭川市で、第七師團司令部があり、商工業も盛んである。

北端の稚内ワカナイは樺太に對する連絡港となつてゐる。

(口) 東部の十勝平野の中心オホヒラ帯廣市附近には甜菜・糖の工場がある。釧路・根室平野の西方の門戸釧路市は開港場で、木材・水産物の集散多く、東方の厚岸アサノは昆布・牡蠣等を産する。根室は東岸の開港場で、水産物の製造・取引が行はれる。然し冬季は氷結するから船は花咲港に着いてこの町と連絡する。北見平野では



煉乳の製造



阿頼度島 火山 北海北道  
一の高。山。二拔。三三九米。

漁業に來るものがある。

問題 新開地としての北海道を調べ、更に其の將來を考へよ。

網走アキシが最も著れる。

(3) 千島列島 三十餘の火山島からなり、その總面積はほぼ四國地方の半分に等しく、長さは一干籽ほどに互つてゐる。地形險しく、地味やせ、冬の寒さ甚しく、交通も不便なので、國後クニノシロ・捉得トコト・撫幌ヌホウ・占守シムシユ等四五の島の外は住民なく、住民の數も僅に二萬人にすぎない。しかし近海は鮭・鱒等の魚族に富むから、夏だけ



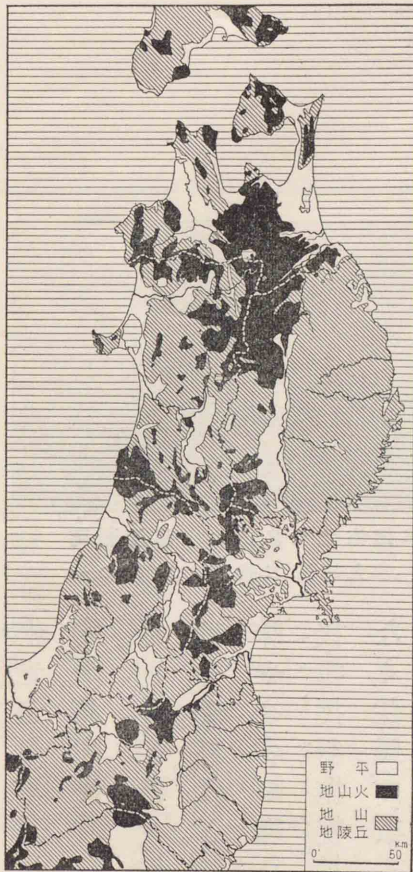
### 第四章 奥羽地方

實習 附録と附圖  
を見て行政區劃  
圖をかけ。

問題 主な火山に  
ついて調べよ。

一、位置區分 奥羽地方は、本州の北東部を占め、東北地方とも呼ばれる。古への陸奥・出羽の地で、行政上、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の六縣に分たれ、地理上、東部（青森、岩手、宮城、福島の東部）と西部（山形、秋田、福島の西部）の二區に分たれる。

二、地形 この地方には南北に走る三條の山脈がある。中央にある

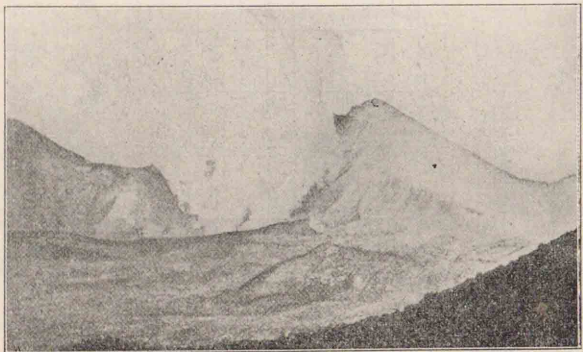
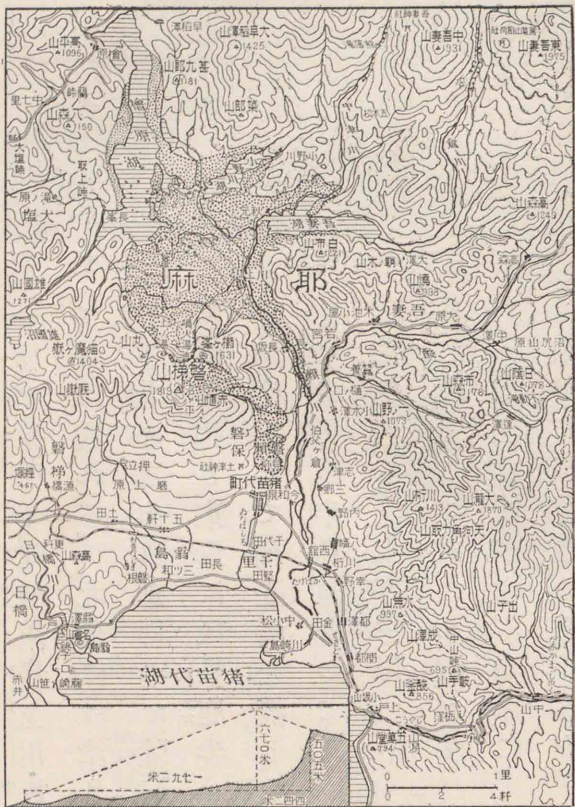


奥羽の地形

奥羽山脈は、太平洋斜面と日本海斜面との分水界をなし、那須火山脈之に沿うて噴起する。太平洋岸には仙臺平野を界として、南北に高原性の北上山脈阿武隈山脈連り、奥羽山脈と

### 磐梯山附近

地たれは礫に塊岩と流泥



の間の縦谷を北上阿武隈の二川が流れる。西方には出羽丘陵と越後山脈がある。鳥海火山脈これに沿うて迸發し、奥羽山脈との間に

磐梯山 那須火山脈に屬する火山で猪苗代湖の北にそびえる。明治二十一年急に山の北側が爆裂し、北方の谷を埋めて湖を造り（堰止湖）、人畜に害を與へた。上圖の左下圖は爆裂の大きさを示す。下圖は爆裂當時の状況である（尋地一、三四頁）。

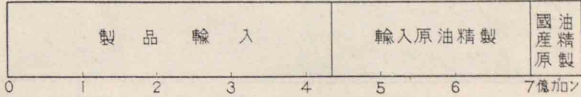
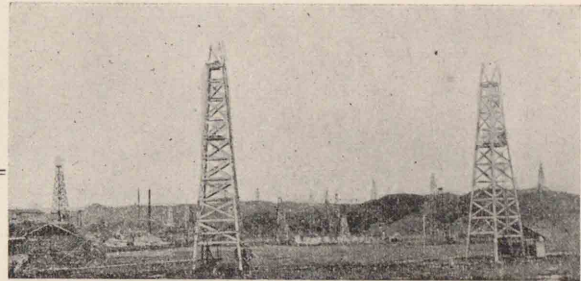












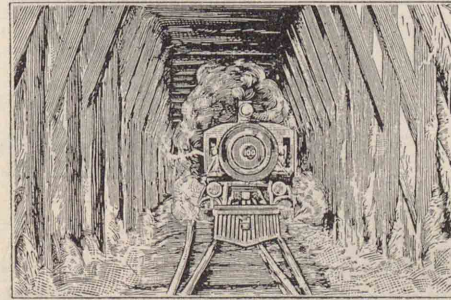
を田油の近附。るあに方北の市田秋 (圖上)田油川豊  
の中圖。す出を割三約の高出產油原國が我とるす算合  
たれらひ用にきとる造を(どみきぬりほ)井鑽は機い高  
るす費消で國が我て於に年九和昭は圖下。るあでのも  
製は上以分半の(油燈・油輕・油械機・油重・油發揮)油石  
は他の其し入輸らか等度印領蘭・國衆合カリメアを品  
。す示をとこるす造製らかと油原產國と入輸

チャカ産である。

五、交通 鐵道は地形の關係上、南北に通  
ずるものが早く發達し、東北奥羽の二幹  
線は縦にこの地方を貫き、東西兩岸の常  
磐線、羽越線に連り、東西兩側の連絡も次  
第に出來てきた。沿岸は一般に良港に

乏しく、北  
海道への  
連絡港と  
しての青

森と仙臺市の門戶鹽釜とが主な港で  
ある。  
六、處誌 青森縣 (1) 東部平野は牧馬  
が盛んである。馬淵川の下流に臨む



降はで方地部西の羽奥 ルネントけよ雪  
らかるげたまさを通交の道鐵てく多が雪  
作で板や材木をルネントき如の圖に々所  
。(頁七四、一、地尋)るあでのぐ防を之てつ  
。るあもけ設の林雪防他のそ

問題 津輕海峽は  
國防上どんな價  
値があるか。

\* 二九頁及び附録

八戸市の鮫港はこの地方の水産物を集散  
する。陸奥灣の北東隅には大湊の海軍要港  
があつて津輕海峽を守る。(2) 西部の青森市  
は縣廳の所在地陸奥灣に臨む開港場で、水陸  
交通の要地に當り、鮭の罐詰製造及び製材が  
盛んである。津輕半島の山地からは羅漢柏  
平野からは米、苹果の産多く、其の中心都市の  
弘前市には第八師團司令部がある。

岩手縣 本縣の面積は全國の府縣中、最も大  
であるが、山地原野多く、人口の密度は最も小  
さい。(1) リアス式の東海岸には釜石宮古大  
船渡等の小錨地があつて水産業の中心をな  
し、釜石には鐵の製鍊所がある。鐵道は北上山脈を横ぎつて是等の  
港を連絡する(但釜石花巻間の  
仙人峠は未成)。(2) 中部の北上川の谷はこの縣の主要地



(頁六四、一、地尋)。廳縣は左の森方右、港は方左 市森青

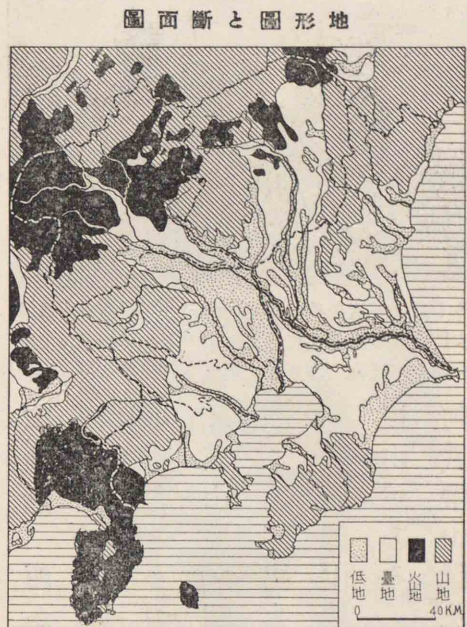




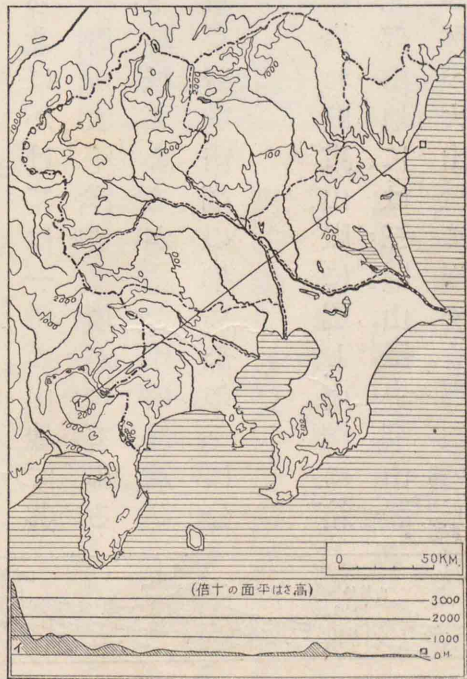






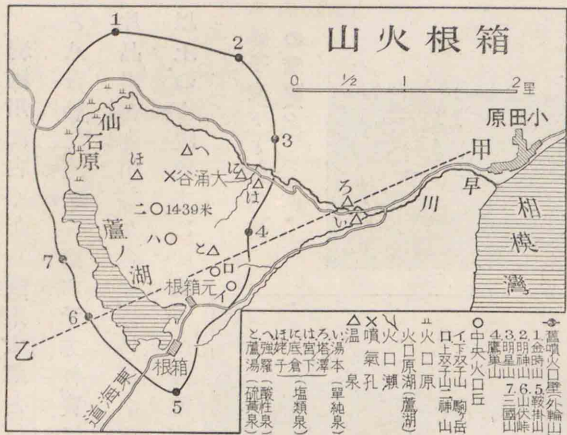


實習 附圖にならひ、一〇〇米以上を彩色せよ。

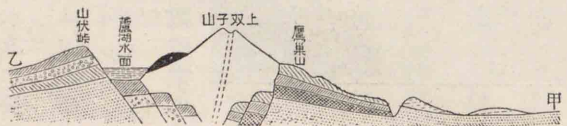


多摩川の水は東京市の水道となり、相模川の水は横浜市の水道となる。  
\*尋地一、一二頁

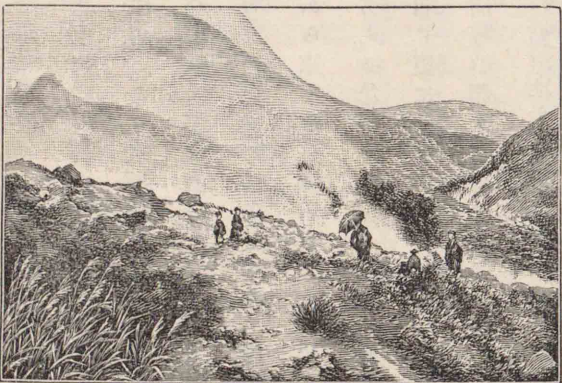
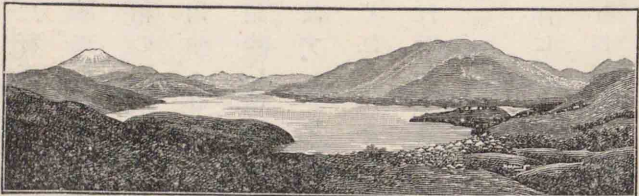
男體赤城榛名妙義等の諸火山がある。是等の火山地方は風景に富み温泉多く觀光休養地帯になつてゐる。  
(2) 關東平野は我が國第一の大平野で臺地と低地から成り、利根川那珂川荒川下流は多摩川相模川等茲を流れ、上流は發電に利用せられ、下流は灌溉水運の便が多い。



圖面斷るけに於に線乙甲の圖上



湖 蘆



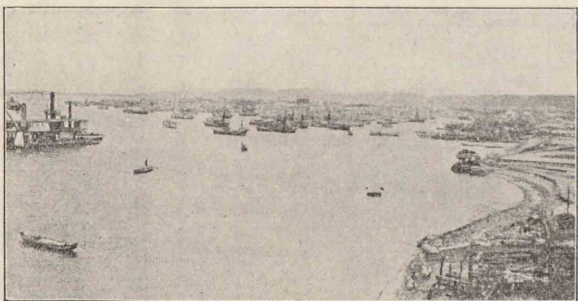
大涌谷の噴氣孔

箱根山は二重式火山で、舊噴火口、外輪山の中に中央火口、丘噴出し、その間の火口原の一部には蘆湖をたたふ。その水は外輪山を破つて海に注ぐ(早川火口瀨)。火山活動の餘勢はなほ噴氣孔や温泉で示されてゐる。昔は道路交通の要所であつたが、今は風景と温泉とで多くの遊覽客や休養客を集めてゐる。  
問題 蘆湖附近の寫眞上から三ツ目には上の地  
圖のどの部分が見えてゐるか。  
(尋地一、二〇頁)



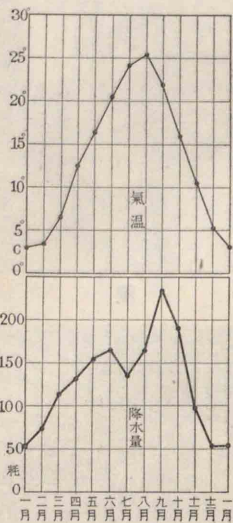
利根川は古くから阪東太郎といはれ、本流の長さ三二二軒支流は大小二八五を數へ、舟筏を通ずること八百餘軒流域一萬六千方軒實に關東地方の半に當る。源を群馬縣の北東部利根岳に發して南流し片品川・吾妻川等を合せ、赤城榛名の裾合谷を流れて前橋市の南に至り、更に西方より來る諸流を合せ、以上の上流地方には處々に發電所起り、電燈電車等に利用せられる。これより次第に廣い平野の中を

銚子港(下)と犬吠岬の燈臺(左)



東流し、始めは概ね群馬埼玉二縣後には茨城千葉二縣の界をなす。足尾附近から來る渡良瀬川を合せて後まもなく江戸川を南に分ち、次第に南東流して鬼怒川を合せ、江戸川へ運河を通じ、更に小貝川・手賀沼・印旛沼・霞浦(尋地一、二、三頁)・北浦等の諸水を合せ、銚子港附近で太平洋に注ぐ。是等の湖沼地方(水郷)は風景がよい。汽船は江戸川の分流點以下に通じ、江戸川と運河によつて東京銚子間の交通をなす。河水は一般に灌漑に利用せられるから、流域には水田よく開け米の産出が多い。

東京の氣候



利根川の河口には、犬吠崎突出して、交通通信上の好目標となり、其の南北には弓形の砂濱遠く連り、近海は遠淺の上に、黒潮の影響をうけて、好漁場をなして居る。

(3) 半島部は房總三浦の二半島で、その間に東京灣を抱く。三浦半島の東岸には良港多く、其の西岸より西方相模灣沿岸一帯は房總半島沿岸と共に氣候溫和風景佳良で休養地帯をなす。

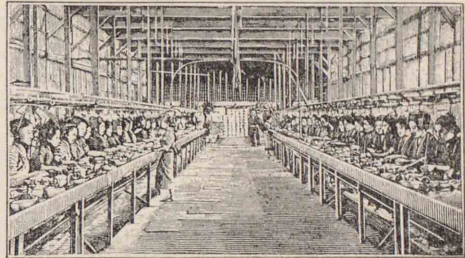
③ 三氣候 西と北とは山地をめぐらし、南東の近海には日本海流(黒潮)が流れるから、氣候は概ね溫暖である。北西部地方は稍、内陸性氣候であるが、海岸地方は海洋性氣候である。

④ 産業 平野には農業行はれ、低地には米の産多く、臺地には麥・大豆・蔬菜・甘藷・煙草(北部の久慈川那珂川流域と南部の秦野・盆・麻・栃木縣地附近)の産が多い。平野の西と北の山麓は養蠶地帯をなし、従つて製絲機業が盛んである。生絲産地としては前橋(群馬縣)馬・機業地と





蠶 籠



(縣馬群)場工絲製の岡富

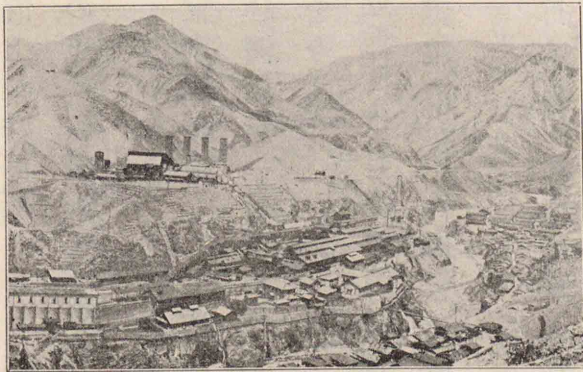
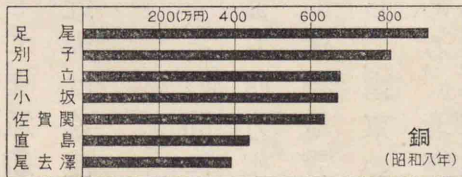
しては桐生<sup>160</sup>伊勢崎<sup>群馬</sup>足利<sup>栃木</sup>八王子<sup>東京</sup>秩父<sup>埼玉</sup>が最も名高い。東京横濱附近一帯は我が國屈指の大工業地帯で大工場多く、綿絲綿織物毛織物機械肥料洋紙砂糖麥粉ビスメルセメ

\* 尋地一、二八頁

\*\* 尋地一、二七頁

ント藥品雜貨等の産出が多い。又千葉縣の醬油産出高は我が國第一である。

山地の産業中最も著しいのは鑛業で、足尾日立は銅・金・銀を出し、茨城縣北部には石炭の産がある。



\* 四〇頁  
尋地一、一四頁

實習 簡単な産業分布圖をつくれ

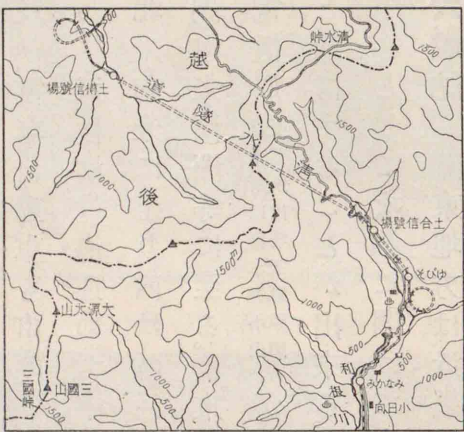
道路が他地方に通ずる處は必ず峠があつて、鐵道はトンネルを穿つ。  
問題 この圖にあはれた地形と道路・鐵道との關係を考へよ。

近海は水産物<sup>秋刀魚等</sup>に富み、且京濱の大消費地を控へるから漁業が盛んで、千葉縣が第一位を占め、銚子が第一の漁港である。又東京灣は浅い海で海苔の産が多い。

東京は東日本を其の商圏とし、特殊の商品については其の販路全國に及ぶものもある。又横濱は神戸・大阪と對立する大貿易港である。

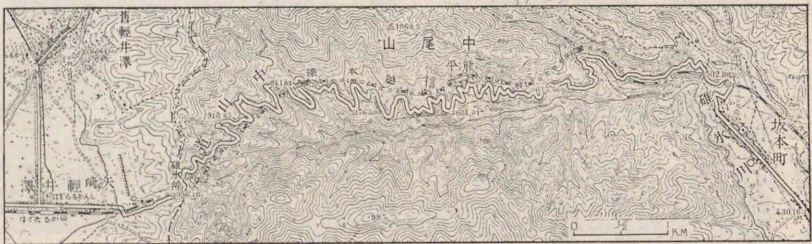
五交通 地形の關係で、陸上交通がごく便利である。東京はその大中心で、主な道路

ルネント水清の線越上



長さ約一〇軒、東洋第一、工費約一二〇〇萬圓

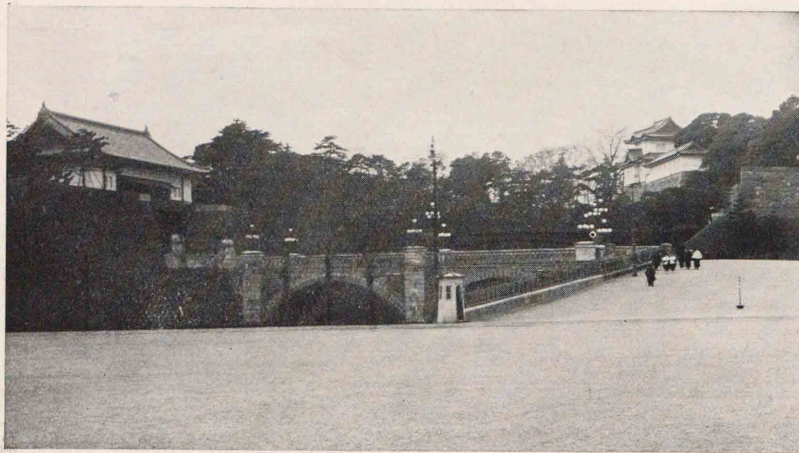
る分くよが形地とるす色着てつよにさ高



(頁一二、一地尋) 道鐵と路道の崎水確\*\*



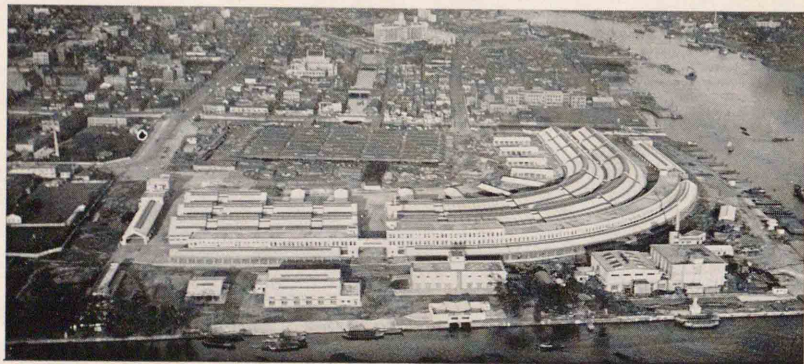
橋 重 二 城 宮



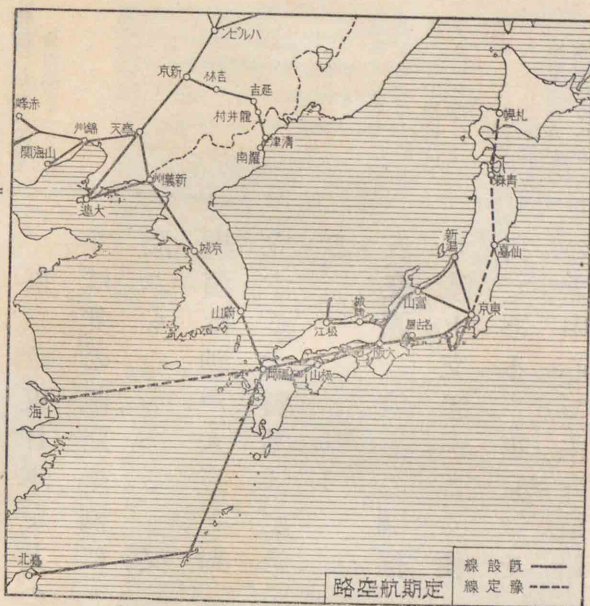
學 大 國 帝 京 東



場 市 賣 卸 央 中 地 築



\*二九頁及び附録



は遅かつたが、徳川氏の治世以来全國の中心となつてから文化の發達著しく、人口密度は各地方中第一である。そして東京は我が國文化の大中心であるから、關東地方も東京中心に纏まつた一地域をなす。即ち東京の海への門戸として横濱、海の守りとして横須賀があ

六、處誌 關東地方は近畿地方と共に我が國文化の二大中心で、近畿地方よりも其の發達中心として次第に開けて來た。

鐵道・電線はこゝから四方に通じて、他地方に及び、電車・自動車も市内と其の近郊に發達する。又、横濱は海運の大中心をなし、東は遠く北米・南米に至り、西は神戸を経て、支那・印度・歐洲・南米・濠洲等に至る。東京には強力な無線電信局送信所は栃木縣小山市、受信所は埼玉縣福岡があつて、アメリカ等と通信することが出来る。航空路も東京を中心として次第に開けて來た。



横濱市



(上) 税関棧橋

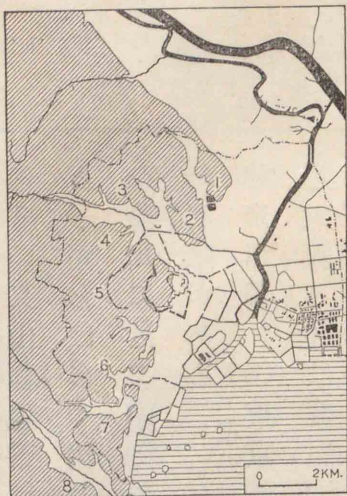
(中) 生絲の輸出

(下) 鶴見附近



左圖は横濱市の北端の鶴見區の部分で、中央の太い白線は京濱國道、國道から左に分れて海岸の方に走つてゐるのが元の東海道、右端の太い方が省線細い方が京濱電車線である。京濱間の交通の變化と發達がうかがはれる。

東京の地形



第五章 關東地方



京濱工業地帯

(2) 武藏野は東京をひかへて蔬菜の栽培が盛んで

\*南方諸島は五三頁にのべる  
\*四五頁  
\*尋地一、二〇頁、二四頁

問題 左の圖を附圖と比べ、1から8までの臺地を調べよ。

り、東京より四通する交通通信網は全地域を其の商圈とし、又海岸及び山地を其の休養地としてゐる。  
東京府 (1) 東京市と (2) 其の西につゞく臺地(主に武藏野)と (3) 山地とから成る。 (1) 東京市は政治軍事學藝商工業交通の大中心地である。

東京市は約四百八十年前、太田道灌が武藏野臺地の一端に城をつくつたことから起る。徳川氏の居城以後は全國の中心となり、市街はほど昭和七年擴張前の市域に廣がり、人口五十萬の大都市となつた。明治以後は日本の首府となり、國勢の進歩につれて遂に人口約六百萬の世界的大都市となつた。市街は低地から臺地にひろがり、面積五六八方呎、三十五區に分たる。低地(下町)方面には商店工場、臺地(山手)方面には住宅、學校が多く設けられた。宮城附近は市の中心部で、諸官衙集まり、又大きな會社、商店や停車場等がある。



ある。又山麓地帯は養蠶の大中心で、八王子からは多く絹織物を産する。附近の浅川には多摩御陵、立川には陸軍の飛行聯隊がある。

神奈川縣 (1) 東京灣沿岸の横濱市は神戸・大阪と共に我が國三大貿易港の一で、北方の川崎市と共に工業も盛んである。

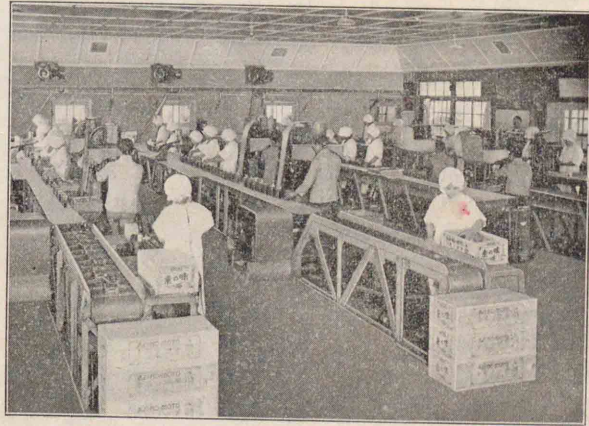
横濱市は約八十年前貿易港として外國に開かれてから、東京の門戸として急に盛んになった。市街は主に沿岸低地に沿うて延び次第に臺地上にひろがつてゐる。五區面積一三四方呎



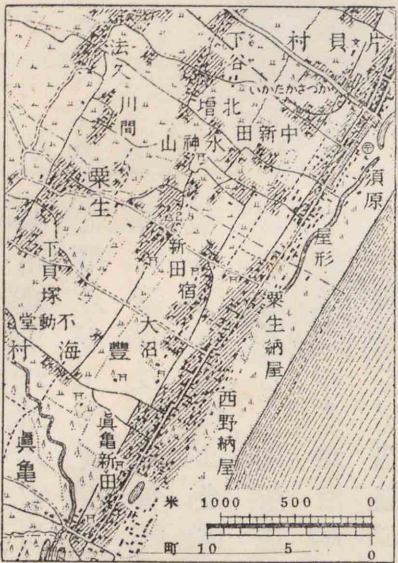
(年九和昭)

人口約七〇萬。貿易港として必要な設備即ち防波堤、繫船岸、棧橋、倉庫、船渠等備はり、内外の大汽船會社はこの地で業を営む。輸出品では生絲が最も多い。尙市内には工業も盛んである。

横須賀市は軍港で、第一海軍鎮守府置かれ、その海軍工

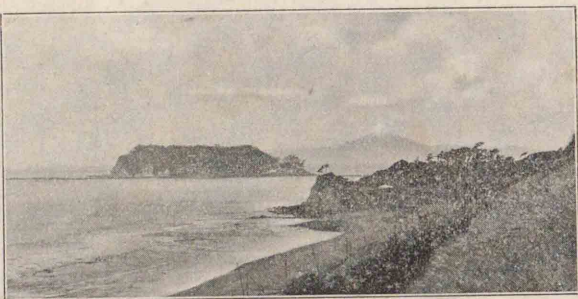


(市崎川)場工業の味



や濱砂の状線直 部一の濱里九十九  
。るれら見がどな村漁たれ分らか村農

廠は規模大で、艦艇の建造が行はれる。その南の浦賀は米艦の渡來で名高い。(2) 相模灣沿岸の湘南地方は京濱に對する休養地帯として榮え、殊に鎌倉は古蹟に富むので觀光客も多い。平塚市は工業の一中心である。(3) 北西山地にある箱根山も風光と温泉とで觀光休養地となつてゐる。



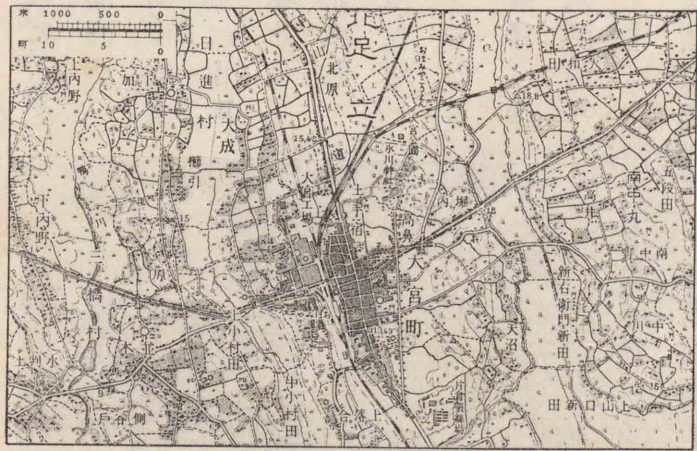
よに洲砂び再がるあでのもたれ分らか陸本元 島ノ江  
ヶ里七は方右の圖。るみてしとうよれが繫に陸本てつ  
辨はに島。るえ見が士富はに間のと島ノ江で部西の濱  
。いなえ絶が客光観らかいよが景風り祀を天財

千葉縣 (1) 東京灣沿岸は一帶に遠淺で海水浴場が多い。千葉市は縣廳醫科大學の所在地である。(2) 下總臺地の大部分は畑地で、森林や牧場も交つてゐる。西部は陸軍の諸部隊に

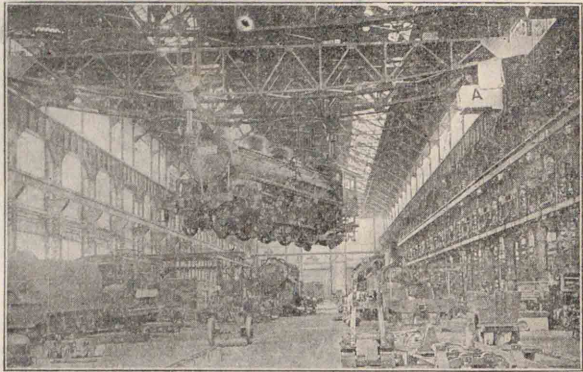


利用せられ、茲に市川市がある。北部の成田は宗教都市(門前町)として榮える。(3)利根川江戸川沿岸低地は米の主産地で野田と銚子市には醤油の産が多い。(4)九十九里濱の低地は米作と漁業に著れてゐる。(5)房總半島は丘陵がちであるが沿岸の館山北條勝浦等に房總線が通じてから、休養客が年々増加する。館山には海軍の航空隊がある。

埼玉縣 (1)東部の平野は低地と臺地とから成り、ここに工業の盛んな川口市、縣廳所在地の浦和市、東北高崎二線の會する大宮、舊城下町の川越市、商工業



つはが別區のと地臺とる塗に色緑を(地低)田 (測陸)近附町宮大  
道鐵武總・線崎高・線本北東てつあに上の地臺は宮大。るすりき  
道鐵又。るみてつ集が路道の等道山中や(車電)道鐵武西・(車電)  
。るえ見に中圖も園公宮大・場絲製・場工



場工宮大の省道鐵

の一中心、熊谷市がある。(2)西部山地中の秩父盆地には養蠶行はれ、秩父は機業の一中心である。

群馬縣 (1)南東部の平野には米作と養蠶が行はれる。前橋市は利根川の上流に沿ひ、縣廳の所在地で繭生絲

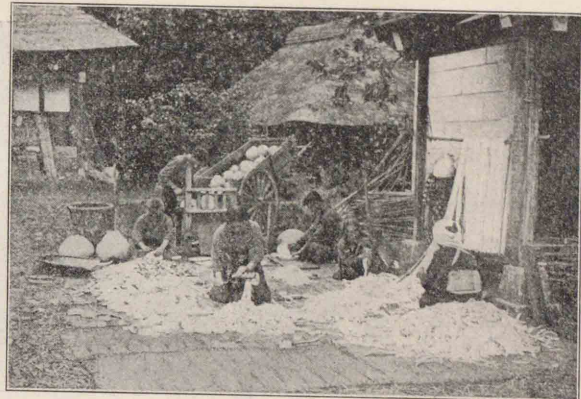
の市場をなす。高崎市は商業交通上の中心で、その南西の富岡も生絲を産する。桐生市には絹織業が盛んである。(2)北西部山地は名山と温泉で觀光休養客をよぶ。

栃木縣 (1)平野南部の山麓地帯は養蠶機業に名高く、足利市、佐野、栃木等は之が中心都市である。鬼怒川以東には煙草、以西には干瓢、麻を産する。宇都宮市には縣廳第



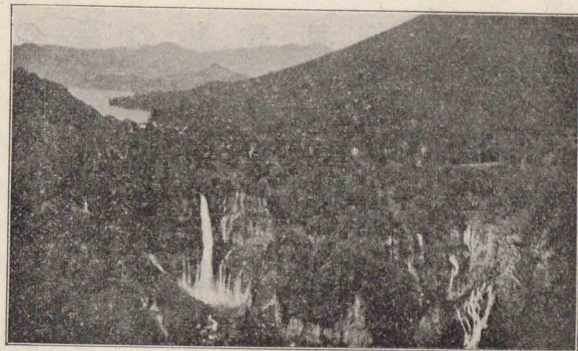
培 綫 の 草 煙





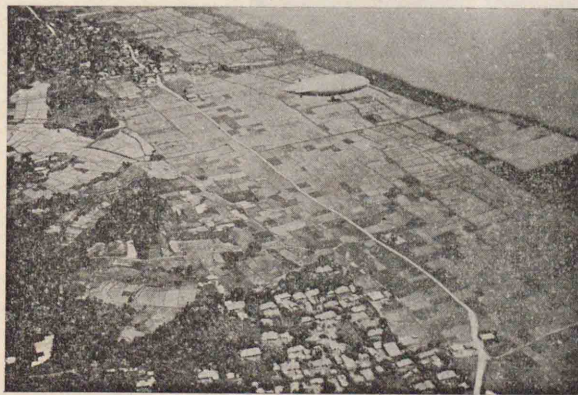
\* 尋地一、一二頁

干 飄 む さ



下右少しのそで湖寺禪中はのるえ見に上の左 瀧ノ嚴華 部中の瀧で部一の山體男は山の方右。るあが瀧ノ嚴華に 噴らか山體男でまこそはのち落の瀧の條數いさ小らか 造を(湖止堰)湖寺禪中てめ止堰を谷し積堆が岩塔たし出 。るみてつなと園公立國は帶一近附。す示をとこたつ

が最も著れる。  
茨城縣 (1) 關東平野北部の那珂川にのぞむ  
水戸市は舊城下町で縣廳の所在地、北方久慈  
川流域の太田は煙草の集散地である。平野



十四師團司令部がある。  
(2) 山地では日光附近と  
鹽原溫泉と足尾銅山と  
土浦附近 飛行船と霞ヶ浦の一部と  
村と田畑などが見える。

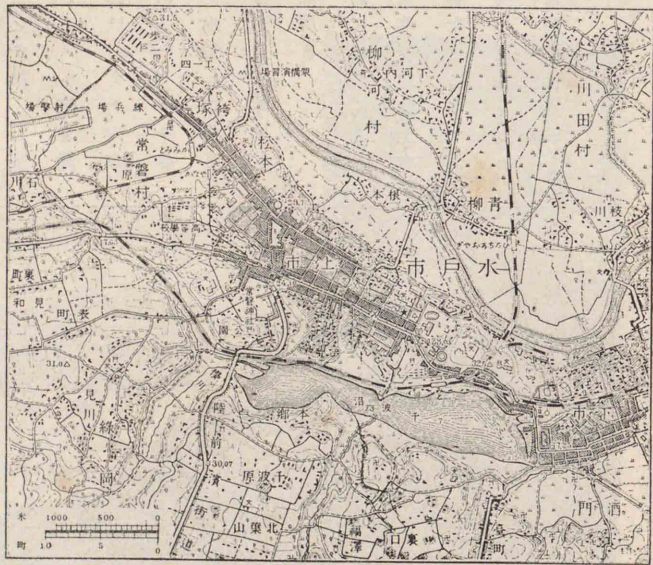
\* 尋一、一三頁

△東京府に屬する

南部の土浦附近には海軍の  
航空隊と高層氣象臺がある。  
(2) 山地では筑波山と銅石炭  
石材の鑛産とが名高い。  
△南方諸島 相模灣の南方、太  
平洋中に伊豆諸島、小笠原諸  
島などがある。富士火山脈  
に屬する火山島で、伊豆諸島  
の大島には三原山の活火山  
がある。八丈島からは椿油  
絹織物を出す。

小笠原諸島は遙かに南方にある上に暖流の影響を受けるから氣  
温高く、熱帯性の生物甘藷、バナナ、海龜等が多い。

父島の二見港は唯一の良港で、日米海底電線の中繼所であり内地



水戸市 那珂川と千波沼の間の臺地の端に  
市上にある舊城の東の低地を下が占める。



南洋群島間の連絡地點である。

問題 東京と關東地方の各地との關係を述べよ。



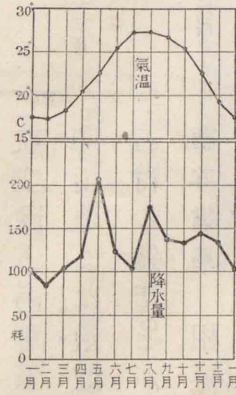
(島大)女む汲水

父島の歸化人



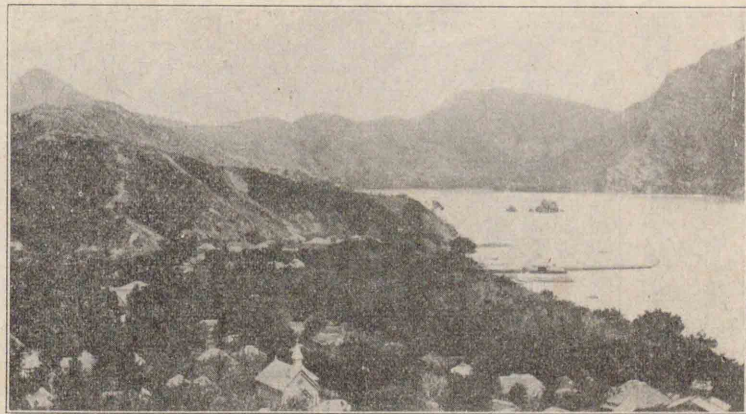
上の圖は小笠原父島のヨーロッパ人種の歸化人の状態である。衣服は和服を用ひ、又は簡単な洋服を用うる。家の屋根は蒲葵の葉でふき、木造ペンキ塗とし、室内は木の床で、椅子、寝臺、テーブル等を置く。圖の右の大きい植物はバナナ、左方のものは椰子の若木である。バナナ等をつくり又漁業を營んで生活して居る。

父島の氣候



これらの人々の祖先は太平洋上の漁業者であつて、今から百年ほど前からこの島に移住したものである。現在は百人位居る。

下の圖は火山島には珍らしい灣入をもつ二見港で、經濟上交通上、軍事上大切なところである。熱帶性植物の茂るを見よ。又、上の圖で熱帶海洋性氣候を調べよ。



二見港

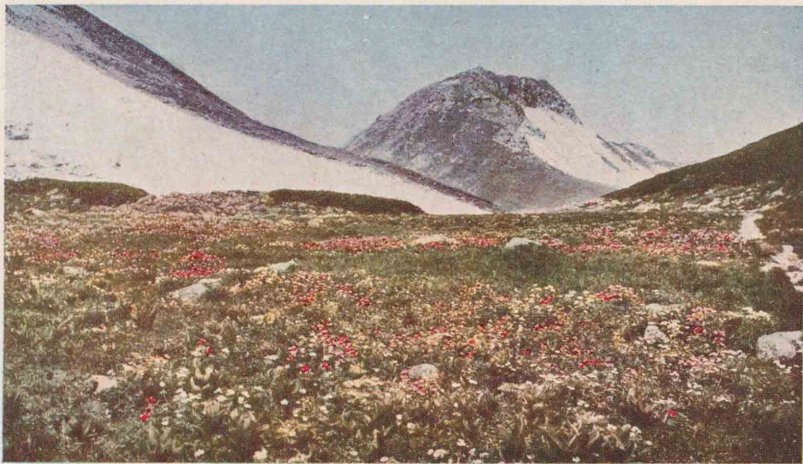


館 ヶ 岳



に空青の峰いどるす。米〇八一三き高で峰高のスプルア北本日  
よ見を谷たれま刻く深と様つ立りそそ

畑 花 御 の 岳 馬 白



時一が物植山高はに々所い近に頂の山高頃の夏盛  
るす呈を觀美てつ揃き咲に

第六章 中部地方

\*口繪、六四頁  
尋地一、五五頁

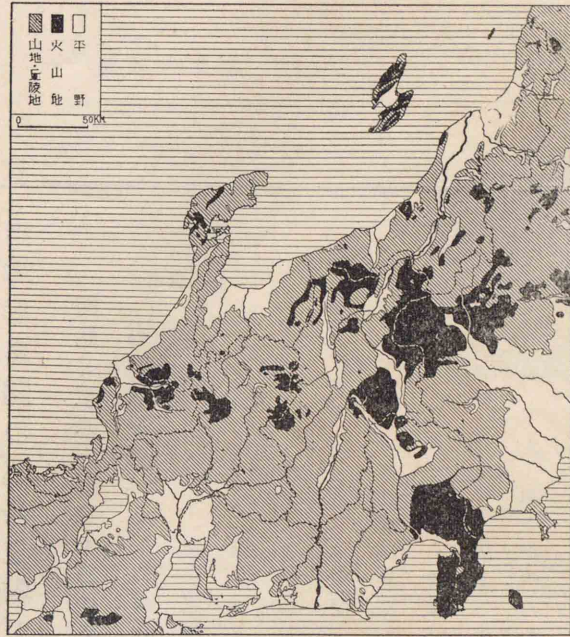


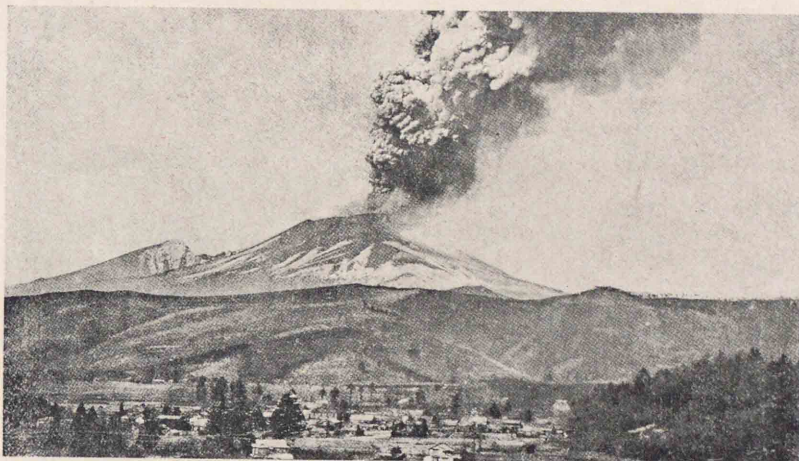
圖 形 地 の 方 地 部 中

一、位置區分 中部地方は關東地方・奥羽地方と近畿地方とに挟まれ、本州の中部を占め、行政上、静岡・愛知・岐阜・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣に分たれ、地理上、東海地方静岡縣・愛知縣・岐阜縣・山梨縣・中央高地山梨縣・長野縣・北陸地方石川縣・富山縣に分たれる。

二、地形 この地方は南・北・西・東の四山系北山系・東山系・西山系・南山系の會する處で、本州中で幅最も廣く、土地最も高い。關東・奥羽兩地方の界には關東山脈58・那須火山脈・三國山脈・越後山脈がある。その西、兩彎の間には富士火山脈があつて、内地第一の高峰富士山100を始め、八ヶ嶽ト・戸隠ガク・妙高等の諸火山が聳え

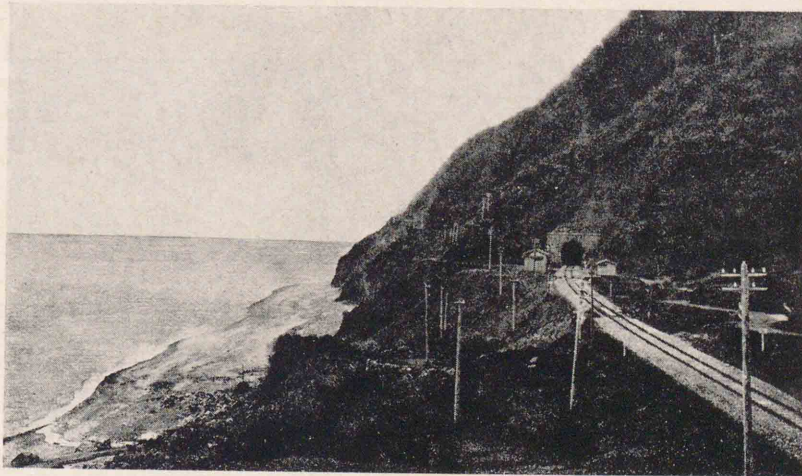


火噴大の山間淺



百四徑直れば呼と釜御は丘口火央中。るす動活に頻年近で山火活い高名は山間淺  
し甚の動活でること見らか澤井輕は圖。るす煙噴に盛し有を口火い圓の米十五  
。様有のきとい

知<sup>ク</sup> 不<sup>シラ</sup> 親<sup>ク</sup>



おが波。たじ通道に下の崖は昔。るあに處る迫に岸海本日が脈山驛飛は知不親  
。るあが名のこでのふいといなら知を親は子くな暇ふ救に互子親とるくてせよし  
。いなら通をここでのたれか開が路道や道鐵なうやる見に央中の圖は今しかし

\*日本アルプス、  
中部山岳國立公  
園  
\*五七頁  
△尋地一、五四頁  
△五七頁  
△尋地一、五三頁  
△△尋地二、六三頁  
▲尋地二、六四頁

實習 略圖を描い  
て山脈、火山脈、  
川及び太平洋、  
日本海兩斜面の  
分水界を記入せ  
よ。

てゐる。更にその西には、南北に近い方向をとる赤石木曾飛驒の諸  
山脈がある。中にも、飛驒山脈は最も高峻で、鎗ヶ岳、白馬岳等の高峰  
がある。又茲には御岳火山脈通じ、御岳、乗鞍岳、立山等がある。  
飛驒高地の北西には、白山を主峰とする白山火山脈があつて、西の  
方、山陰地方に延びてゐる。

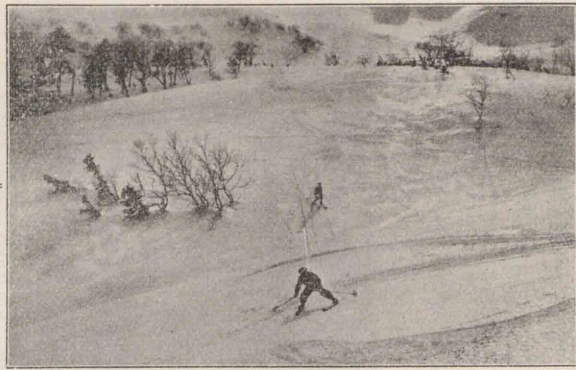
川は中央高地に源を發し、富士、大井、天龍等の諸川は南流し、木曾川  
は濃尾平野を流れて伊勢海に注ぐ。千曲川、犀川は合して信濃川と  
なつて越後平野を流れ、黒部川、神通川、庄川は富山平野を流れ、共に日  
本海に入る。これ等の諸川はおほむね急流で、峡谷に富み、水運の便  
は少いが、次第に發電に利用される。これらの電氣は主に京濱、名古屋  
・阪神の工業地帯に供給される。

峡谷の中では、黒部富山縣尋地一、五八頁、御嶽昇仙峽(山梨縣・天龍峽木曾谷長野縣六  
八頁)惠那峽(岐阜縣)が殊に名高い風景をもつ。

南の支灣渥美灣をもつ伊勢海と、北の小出入に富む若狹灣とは相



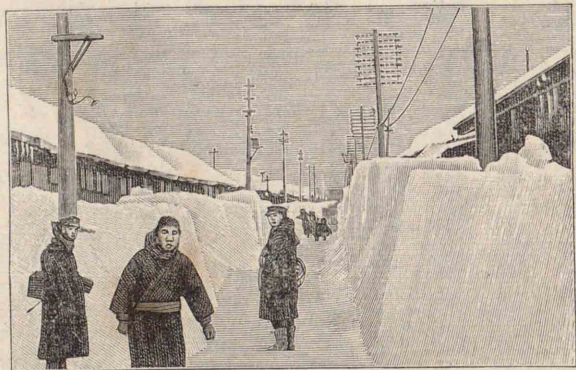
の關係で冬季に降雪多く、風波が高い。  
**四、産業** この地方は、土地割合に開け、各種の産業がよく發達する。農産では米穀が特に著はれ、越後・富山・濃尾の平野から多く産出する。又南方の暖地には茶果樹の栽培が盛んである。養蠶業は中央高地



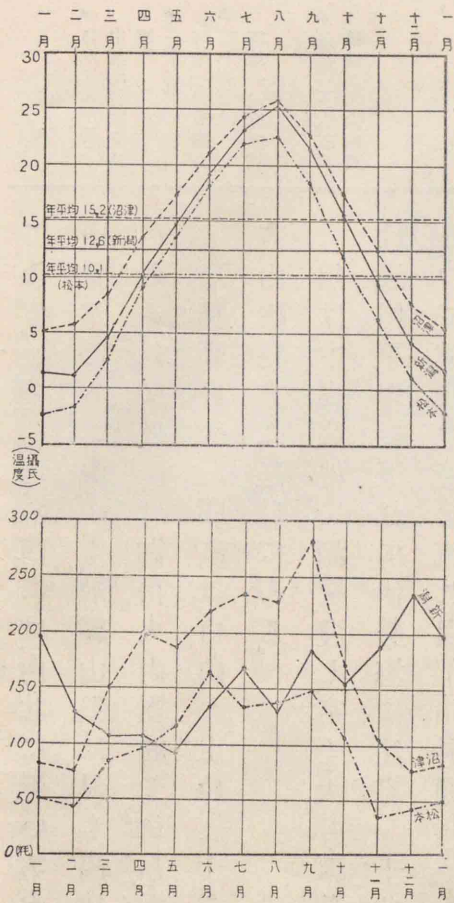
近附屋小泉冷岳ヶ鞍乗 ーキス



約さ厚てし結氷面湖季冬は湖 トーケスの湖訪諏  
 と場トーケス好に故。ぶ及にルトーメチンセ十二  
 。い多がのもるす遊來は頃の月二・月一りな



れさ下らか根屋は雪のめ埋を路道 雪深の市田高  
 し等に根屋の建階二どん殆さ高の其てへ加をのた  
 六)るよにギンガの下軒び及央中の路道は路通。い  
 。(頁三六・頁二六・一地尋び及頁九



気温の比較

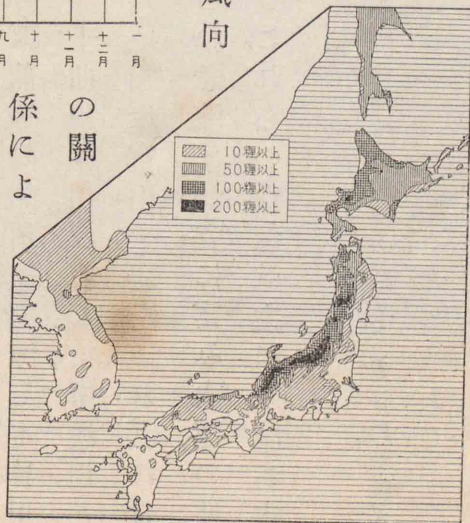
降水量の比較

**三、氣候**

東海地方は位置・地形・海流・風向

迫つて本州の地・峽部をなしてゐる。日本海には能登半島突出して富山灣を抱き、太平洋には東に伊豆半島があつて、駿河相模の兩灣を分つてゐる。

の關係によ  
 り氣候一般に溫和で、暖季に雨多く、冬は晴天が多い。中央高地は、内陸性高地氣候で、氣温低く、雨量も少い。北陸地方は地形・海流・風向



積雪の分布 (二月)

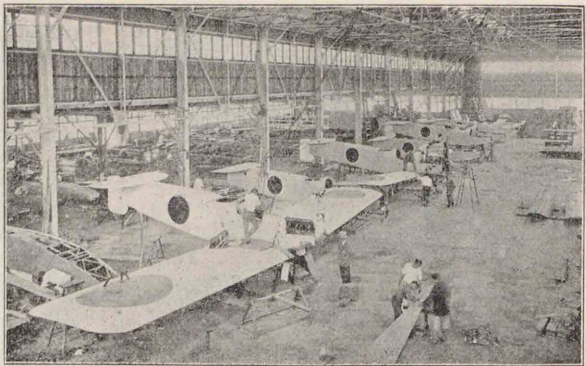
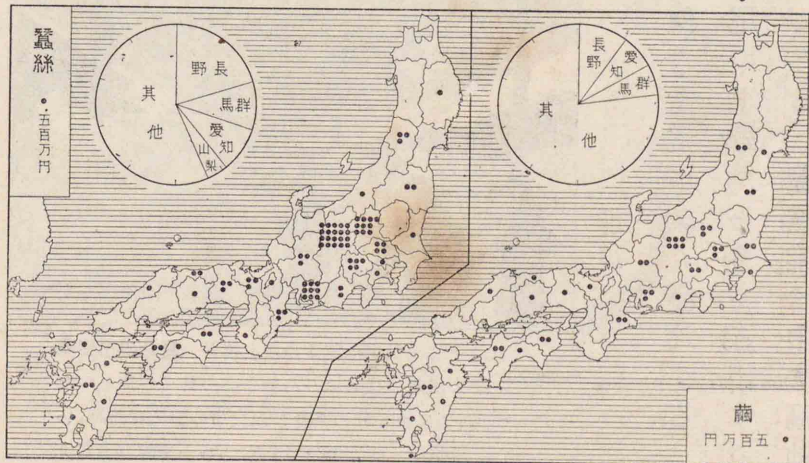




茶畑 樹茶は暖候気相の當量雨の斜綫に適する。静岡縣に栽培盛んで、輸出の茶の重要産地である。静岡縣附近の摘茶の状況を示す。

\* 尋地一、六六頁  
\* 尋地一、六八頁  
△ 三二頁、六九頁  
尋地一、六九頁

ある。水産も多く、駿河・富山の兩灣は著名な漁場である。  
製造工業は名古屋附近一帯が最も盛



(屋古名) 造製の機行飛



(屋古名) 造製の皿※

んで、織物・陶器・時計等の産が多い。尚、南海岸の各地からも紙漆器・織物・樂器等を産し、北陸地方からは、羽二重・富士絹・人絹・漆器・陶器等を出す。即ち中部地方は生絲・織物・陶器等の如き、わが國の重要輸出品が多い。商業は名古屋が最も盛んである。

五、交通

地形により陸上の交通系はほぼ三部に分れる。東海道線は南部に、信越線・中央線は中部に、北陸線・羽越線は北部にあつて、東西の交通は便利であるが、南北の交通はまだ不充分である。  
鐵道網は名古屋附近が最も發達する。名古屋無線電信局 送信所は愛知縣依佐美、三重縣四日市では主として對歐通信を行ふ。

\* 南北を結ぶ鐵道は信越線・高山線等である。

\* 尋地一、六八頁



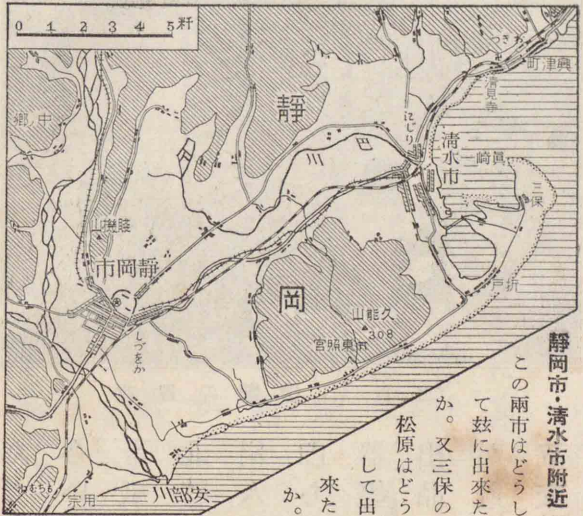
\* 尋地一、六四頁

開港場は名古屋・清水・敦賀の三港が最も大切である。日本海方面の諸港は冬季風浪高く、船舶の碇泊には不便である。

六、處誌 静岡縣 (1) 伊豆半島は火山温泉に富み、熱海・修善寺最も著はる。南端に近く、下田港があり、諸所に金産地がある。(2) 駿河灣沿



富士山頂噴火口(直径約八百米深さ約二  
百八十米)の口を見よ(米百)。(照參明説の繪口)



静岡市・清水市附近  
この兩市はどうして  
て茲に出來たか。又三保の  
松原はどうして出來たか。  
か。來たか。

岸は氣候溫和、風景よく、陸には米・茶・蜜柑・梨・桃・莓等の産出多く、海には漁利が多い。沼津市は交通上の一中心、大宮附近は洋紙を産し、清水市からは茶を輸出する。静岡市は縣廳の所在地で、茶の再製及び取引が盛

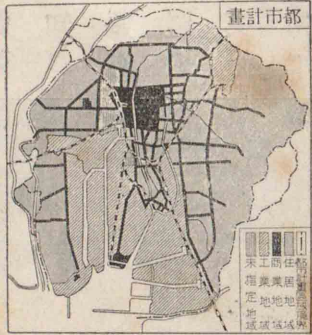
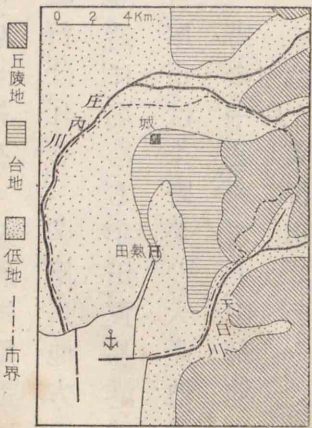
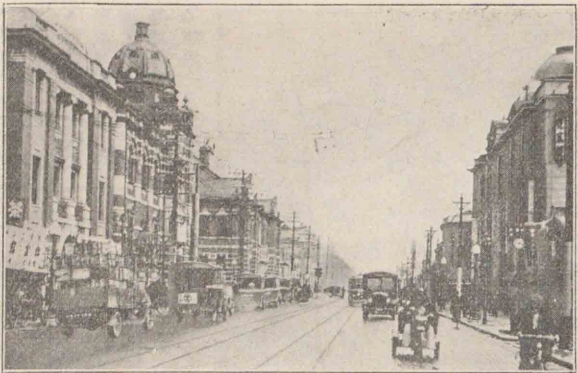
\* 豊橋市には陸軍の高射砲隊其の他の諸隊がある。

名古屋市は三百餘年前、城下町として起り、江戸時代には城から熱田神宮の邊までほぼ三角形に市街が出來てゐた(中圖の地形圖參照)。今もこの大部分が商業地域(下圖)である。現在は市域が大に廣がつた(四區、面積一四八方新、人口約百萬)。陶器・紡織・機械等の大工場は舊市街の北東と南西に多い(六三頁)。外國貿易も築港によつて次第に行はれてゐる。従つて水陸の交通も便利である。なほ市には縣廳、第三師團司令部、醫科大學等がある。上圖は名古屋驛前の大通である。

濱  
名湖に近い濱松市附近は工業盛んで、綿織物・樂器等を出す。又、三方ヶ原には陸軍の飛行隊がある。

名古屋市は三百餘年前、城下町として起り、江戸時代には城から熱田神宮の邊までほぼ三角形に市街が出來てゐた(中圖の地形圖參照)。今もこの大部分が商業地域(下圖)である。現在は市域が大に廣がつた(四區、面積一四八方新、人口約百萬)。陶器・紡織・機械等の大工場は舊市街の北東と南西に多い(六三頁)。外國貿易も築港によつて次第に行はれてゐる。従つて水陸の交通も便利である。なほ市には縣廳、第三師團司令部、醫科大學等がある。上圖は名古屋驛前の大通である。

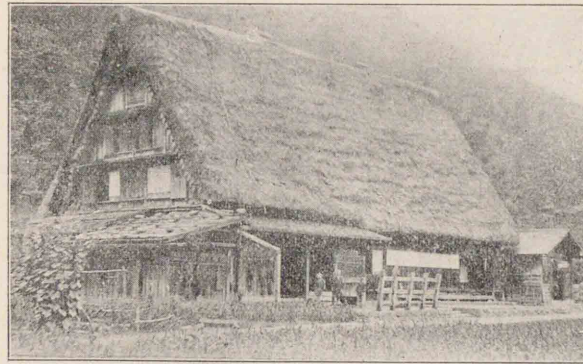
愛知縣



(1) 三河地方の豊川流域には豊橋市、矢作川流域には岡崎市がある。共に附近に養蠶地をひかへ



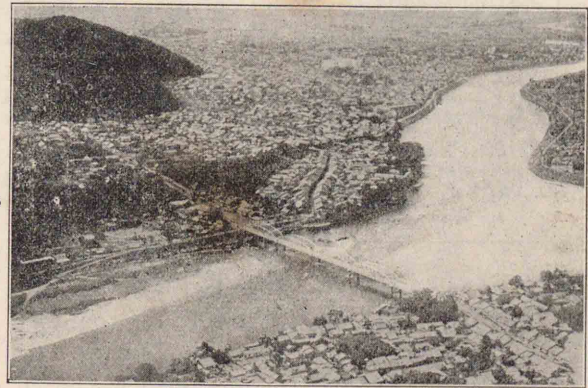
\*日本デンマーク  
\*\*尋地一、七五頁  
▲大垣市の附近に  
赤坂(大理石の産  
地)關ヶ原古戰場、  
養老の瀧がある。  
△尋地一、五七頁



飛驒白川の民家

て製絲が盛んである。又岡崎附近は養鶏  
等も盛んに行はれる。<sup>\*</sup>(2)尾張地方の知多  
半島には醸造に名ある半田貿易港武豊が  
ある。<sup>\*</sup>名古屋市は米野菜の大産地濃尾平  
野の中心をなし、中部地方第一  
の商工業都市である。近傍に  
は有松瀬戸市・宮市等の工業  
地がある。

岐阜縣 (1)美濃地方の主要地  
は濃尾平野の部分である。大  
垣市は織物を産し、縣廳の所在地岐阜市は鶉飼に名高い  
長良川に臨み、織物・紙製品等を出す。岐阜の東方各務原  
には陸軍の飛行隊、北東方には美濃紙の集散地美濃町が  
ある。鐵道中央線に沿ふ多治見附近からは陶器の産が

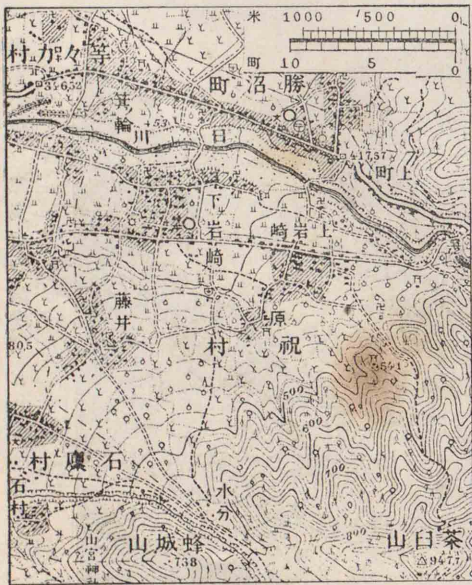


岐阜市長良川と長良橋をたてたことろ

多い。(2)飛驒地方は中央高地に屬し、一帯に土地高く、山深く、交通不  
便であるが、高山線の開通によつて開發が次第に進むであらう。高  
山はその中心都市で、附近には養蠶及び林業が行はれる。  
山梨縣 (1)桂川流域の郡内<sup>郡内</sup>地方は養蠶行はれ、生絲・絹織物<sup>甲斐絹</sup>の産が  
ある。(2)富士川流域の甲府盆地は米作養蠶葡萄栽培にあらはれる。  
縣廳所在地の甲府市はその中心都市である。

桂川の發源する山中湖及びその  
西方の四湖(富士五湖)附近は景色が  
よす。

長野縣 一般に養蠶が盛んで、  
各地に製絲工場が多い。(1)木  
曾川流域(木曾谷)は風景と美林  
に名高い。(2)天龍川流域は伊  
那谷と諏訪盆地とに分れ、諏訪

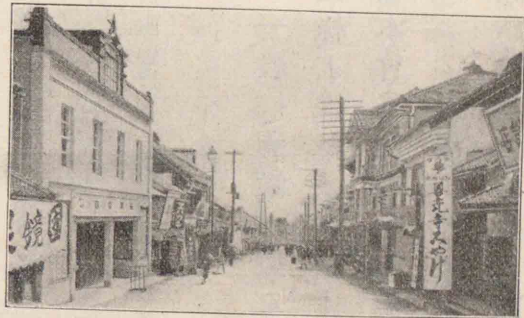


勝沼附近(陸地地形圖)(尋地一七七頁)





善光寺平(右)と長野市(下)  
下圖は停車場から善光寺に通ずる道路で道の突當りが善光寺である。宿屋名産屋等の多いのを見よ。宗教都市の特徴が表はれてゐる。右圖で長野市の位置を見よ。



巖の床 花崗岩の節理(われめ)の一部を木曾川が侵蝕して峽流をつくつてゐる。



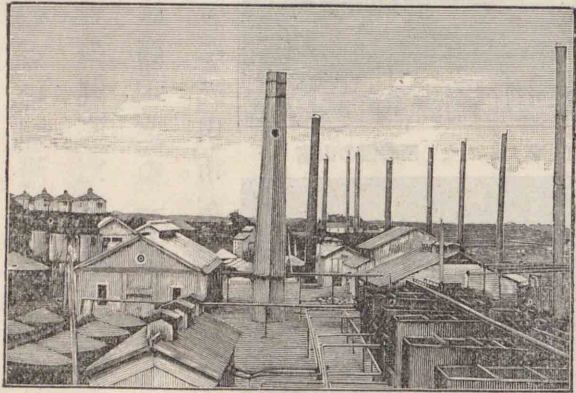
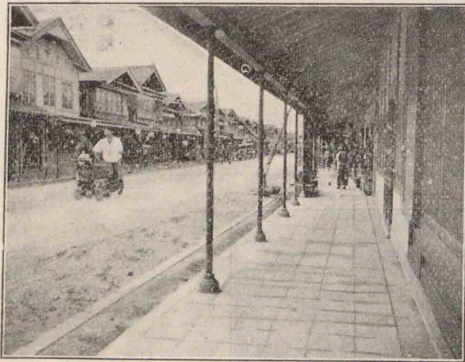
平本松

湖畔の岡谷(六六頁)は製絲業の大中心である。(3)信濃川上流の犀川(千曲川)流域には所々に平とよぶ盆地がある。

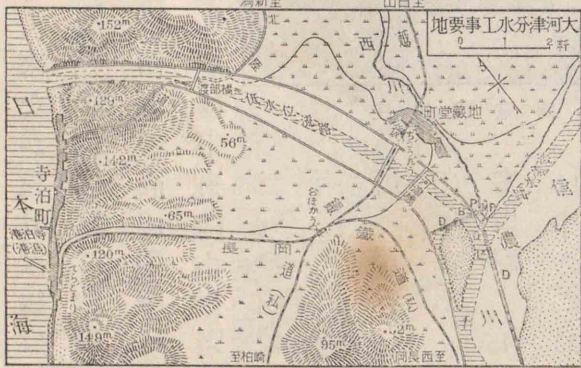
松本市上田市長野市は夫々の平の中心都市をなす。長野市は縣廳の所在地で宗教都市(佛都)である。  
新潟縣 (1)北東部の越後平野は米の主産地で、東山西山には石油の産出が多い。信濃川河口の新潟市は縣廳・醫科大學等の所在地で、日

長岡市街

家は街路に破風をむけ、軒にはガングといふ廊下のやうなものが造られてゐる。冬に雪が多いからである。



管鐵げ上み汲でポンボらか井油石の近附を油原 所油製寫新  
。つ分に等油重・油燈・油輕。てへ加を熱り送に所油製の此で



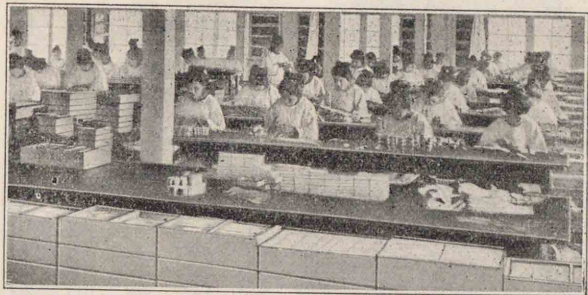
田高至 B 可動堰 L 欄門 國道  
D 固定堰 MP 大河津記念公園 縣道  
P 發電所(火力) O 洗塵 又(12)津スルモ

あで地産大の米は野平流下の川濃信 事工水分の津河大  
が港潟新とめたく除を之。でのるけ受を害水々年。がる  
。るあでのもたれらけ設にめたく防をのる埋々年



\*六九頁  
\*尋地一、七六頁

本海岸中の古い開港場で、工業も興つて来たが、貿易は振はない。近時北朝鮮との間に定期航路が開かれた。信越本線に沿ふ長岡市と三條市とは商工業の一中心である。(2)西部の高田平野は荒川流域を占め、こゝに高田市がある。(3)佐渡島には中央に小平野を挟んで、



富山の製薬所 工女が丸薬を包むところ



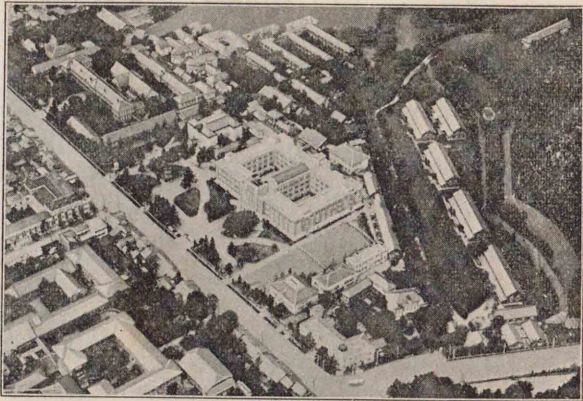
庄川発電所の堰堤

二列の山脈がある。兩津(ニヅ)は貿易港で、川の附近からは金を産する。富山縣 (1)富山平野は米の産地で、吳羽(ニハ)丘陵は神通川に臨む縣廳所在地の富山市で、賣藥の産に名高い。富

\*\*尋地一、五九頁

山平野西部の中心は高岡市で、商工業が盛んである。北方の伏木は開港場で、米の積出が多い。富山灣には漁利多く、魚津は漁港である。(2)山地では立山と黒部峽とが名高く、近時、發電事業も次第におこつてゐる。

石川縣 (1)丘陵性の能登半島には羽咋(ハシヅ)地溝の東端に開港場七尾(ナナオ)と、北岸に漆器の産地輪島とがある。(2)



金澤市 中央の洋館縣廳。その上方が第四高等學校。右は舊城址の一部。又左の端は女子師範第二高等學校。等女學校舊城下町であつたが分る。

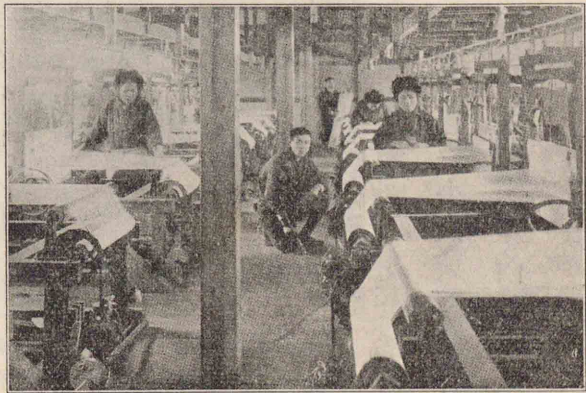
加賀地方の金澤市は日本海岸第一の都會で、縣廳師團司令部醫科大學等があり、絹織物、漆器、陶器等を産する。南西の小松、大聖寺は絹織業の中心で、小松附近は又九谷焼産地の中心をなす。山代、山中は何れも名高い温泉場である、



福井縣 (1) 北部の福井平野大野盆地には羽二重富士絹人絹等の絹織業が盛んで、縣廳所在地の福井市はその中心をなす。南方の武生は紙蚊帳を出す。(2) 若狭灣沿岸は小出入に富んで風景はよいが後背地が狭いため、敦賀の外は大きな港は發達してゐない。その中で小濱がやゝ著れてゐる。敦賀は貿易港で、對岸ウラヂボストク及び北朝鮮諸港との間に定期航路がある。

\* 尋地一、七二頁

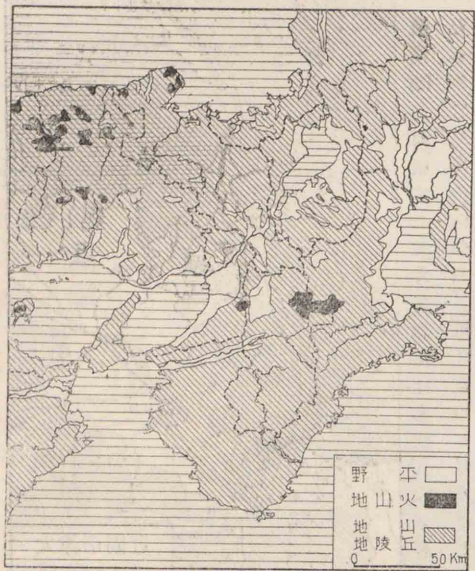
問題 東海地方中央高地北陸地方を對比せよ。



(市井福)場工重二羽

### 第七章 近畿地方

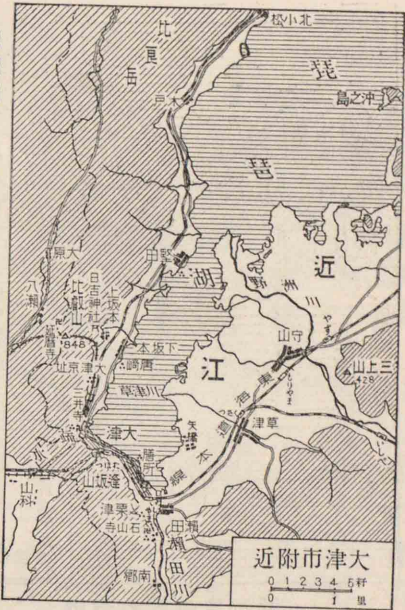
一、位置區分 近畿地方は古への畿内地方で、本州の東西方向部の中央を占め、行政上、京都・大阪の二府と、滋賀・兵庫・奈良・和歌山・三重の五縣に分たれ、地理上、北西部・中央部・南部の三區に分たれる。



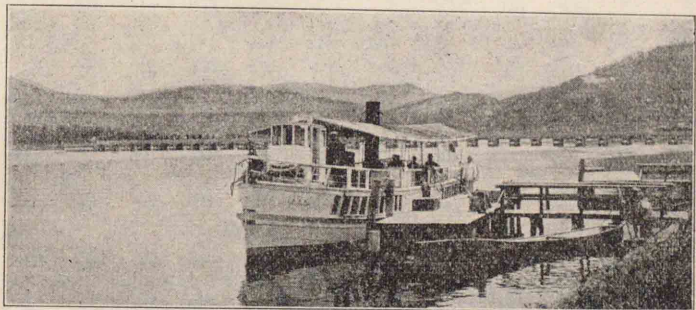
圖形地の方地畿近

二、地形 (1) 北西部は中國山脈の東部で高原性山地をなし、海岸平野は南方の播磨平野が主である。若狭灣沿岸は小出入に富むが、播磨灘沿岸は概ね砂濱である。(2) 中央部には、伊吹・鈴鹿・笠置・生駒・金剛・和泉等の低い地壘山脈、多くは南北に走り、其の間に陥没で出來た近江・伊賀・京都・奈良の盆地及び伊勢平野・大阪平野がある。琵琶湖は我が國最大の湖で、その水は淀川となり、京都盆地・大阪平野を流れて大





**琵琶湖** 面積六七五方軒、湖面は海拔八六米、最深九五米、竹生島の南西方。近江盆地の諸水はこゝに集まり、瀬田川となつて流れ出る。下圖の如く南郷に洗堰を設けて、水量を調節し、又こゝから宇治川水力電氣會社の宇治川發電所へ水を分つ。湖上の交通は天津市を中心とし、大津・京都間には疏水がある(尋地一、八二頁)。又湖口附近には人造絹絲等の工場もある。漁利も多い。沿岸ことに南東岸は土地よく開け、人口多く、産業が盛んである。又風景のよいので名高い。



南郷の洗堰

**三、氣候** 日本海岸の氣候は北陸地方に似

中央の盆地はやゝ内陸性であるが、伊勢海・大阪灣・播磨灘の沿岸は溫和である。紀伊半島は本州の最南端に當る故、氣溫高く、降水量多く、植物も亞熱帶性のものがある。

**實習** 左の數字で六〇頁のやうな氣溫降水量比較表をつくつて説明を加へよ。

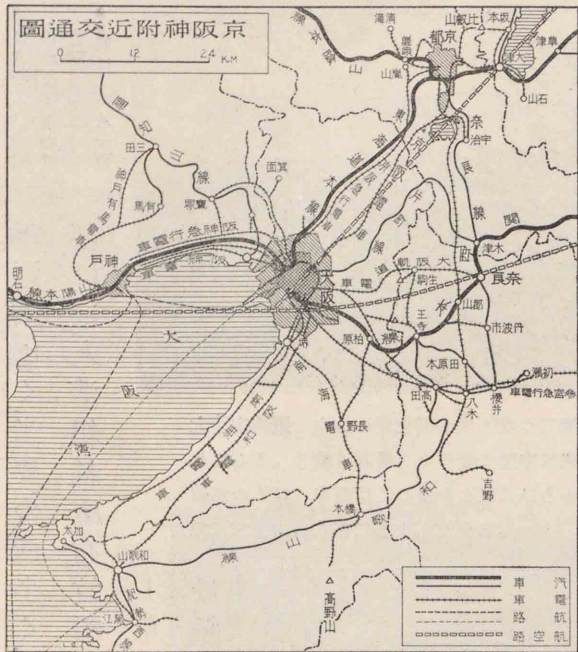


北山川が峽谷をなすにあ。下八丁の町數間、勢水が緩やかに水でかへる。兩岸の樹木岩石之に映じて景色がよい。

氣溫	平均		
	一月	二月	三月
宮津	三・六	三・三	三・三
大阪	四・三	四・四	四・六
潮岬	七・三	七・五	七・五
宮津	二〇・二	二〇・一	二〇・一
大阪	二〇・七	二〇・七	二〇・七
潮岬	二二・五	二二・五	二二・五
一月	二二・五	二二・五	二二・五
二月	二二・五	二二・五	二二・五
三月	二二・五	二二・五	二二・五
四月	二二・五	二二・五	二二・五
五月	二二・五	二二・五	二二・五
六月	二二・五	二二・五	二二・五
七月	二二・五	二二・五	二二・五
八月	二二・五	二二・五	二二・五
九月	二二・五	二二・五	二二・五
十月	二二・五	二二・五	二二・五
十一月	二二・五	二二・五	二二・五
十二月	二二・五	二二・五	二二・五
平均	二二・五	二二・五	二二・五

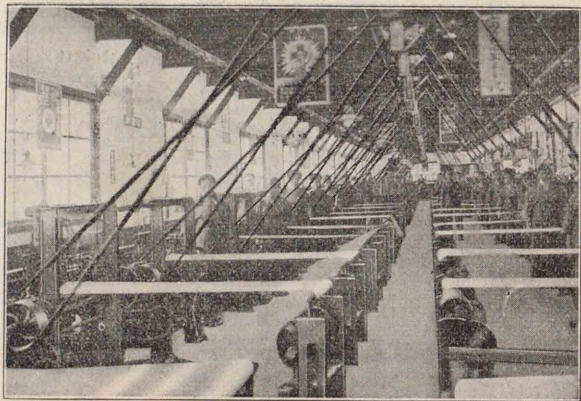
**四、産業** この地方は我が國で、最も早く開けた處であるから、人口稠密で、産業もまたよく發達する。諸平野は米・麥・蔬菜等を産する。京





習實 大阪か主なる地点に達する時間  
 上圖に記入せよ

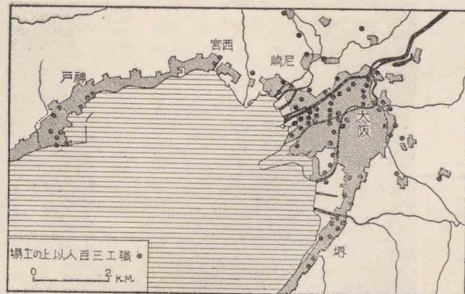
横濱と共に外國貿易の大中心である。  
**五、交通** 北西部と南部とを除けば、水陸の交通が至つて便利で、殊に大阪を中心として汽車電車は鐵道網を作り、東海道・山陽の兩線及びこれと連る關西山陰の諸幹線はその主なるものである。琵琶湖・淀川の水運及び近海航路は共に發達し、神戸・大阪は内外航路の重要な起點をなす。  
**六、處誌** 滋賀縣 琵琶湖の東部は、



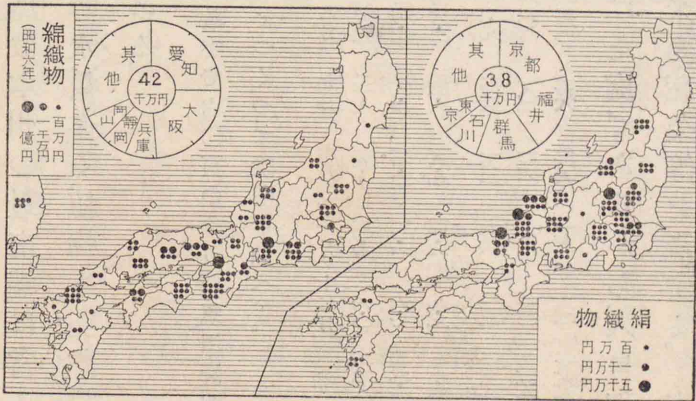
(都京) 場工織陣西

- \* 尋地一、九七頁
- \* 三〇頁、八七頁
- 尋地一、九〇頁
- △ 八四頁
- 尋地一、九一頁
- △ 尋地一、八八頁
- ▲ 尋地一、八九頁

阪神工業地帯



都附近の茶竹筍・松茸、大阪和歌山附近の蜜柑・葡萄等は共に栽培盛んである。南部の山地は氣候が溫暖多雨であるから樹木よく繁り、杉の良材を出す。鑛産は少く、生野と明延<sup>△</sup>が稍、著はれるだけである。沿岸<sup>△</sup>は水産に富み、殊に熊野灘志摩半島の沿岸には漁獲物<sup>△</sup>が多い。大阪を中心とする大阪灣沿岸地方は我が國の大工業地帯で、綿絲綿布をはじめ、メリヤス・毛織物・マッチ・肥料・藥品・機械・雜貨等の製造が盛んである。其の他、京都の絹織物・染物・陶器等の工藝品、和歌山の綿<sup>△</sup>・ネル、滋賀縣の麻織物・人造絹絲等が著しい。大阪は東京と相並んで、内國商業の一大中心で、又、神戸



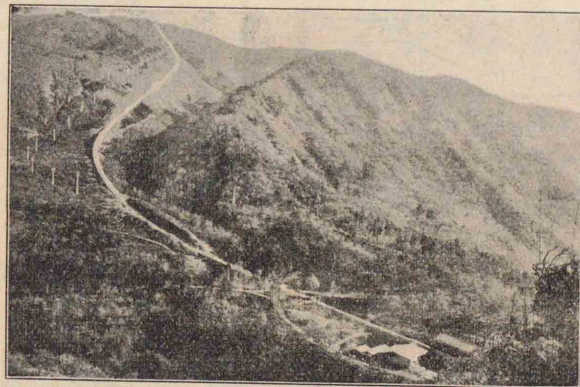


\* 東方の八日市附  
近には陸軍の飛  
行隊がある。  
\* \* \* 舞地一、八一頁

第七章 近畿地方



大津市附近 左方琵琶湖が狭くなく川田瀬と右方流に  
るみては前手。營兵は前手。るみてれ  
左の方後。るみてつがろひに東らか邊のこは街市。口入の水疏  
るえ見が山石に端右。山上三に端



比叡山 山上には延暦寺がある。古利天宗の本山であらう。比叡山の西の登り  
口(京都方面)のケーブ線を示す。

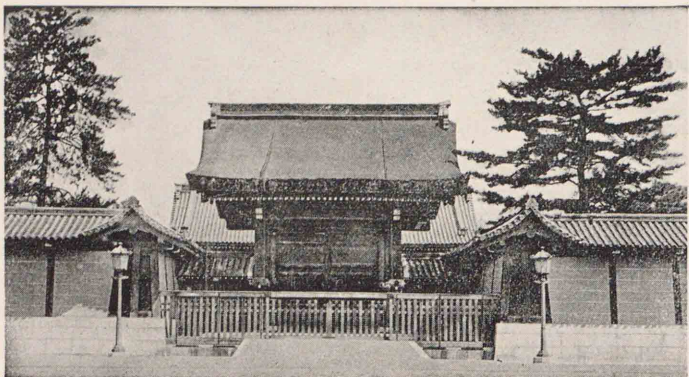
平野稍、廣く、米、麥の産多く、茲に長濱の産地、彦根、八幡、水口等がある。南部には、人造絹絲、麻布、蚊帳を産する。東海道線は米原で北陸線と合

し、草津で草津線を合せて京都に向ふ。大津市は、縣廳の所在地、湖上運輸の起點で、京都との關係深く、其の北西の比叡山には延

暦寺がある。京都府 (1) 京都盆地の京都市は歴史的美術的學術的都市である。京都市は盆地の北東隅、山河襟帯の地に桓武天皇都を

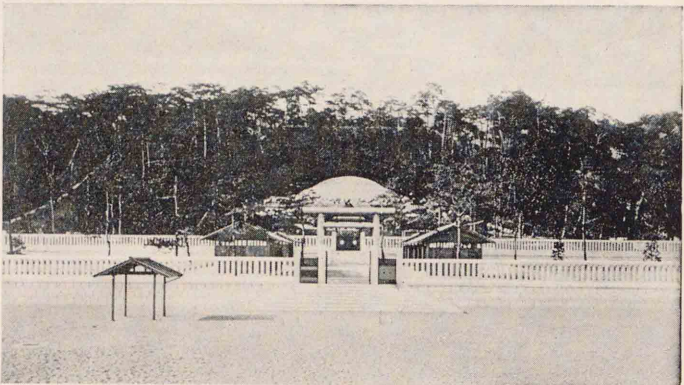
京都御所

正面は南の正門で建禮門。その後のは承明門。



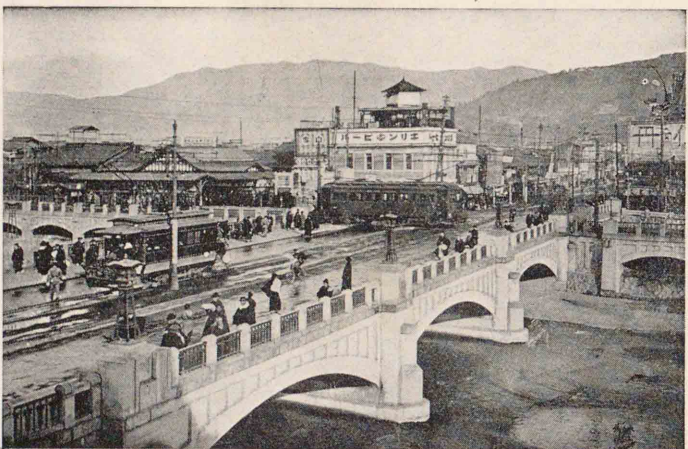
桃山御陵

明治天皇を祭り奉る。



京都市街

四條大橋を示す。川は賀茂川。



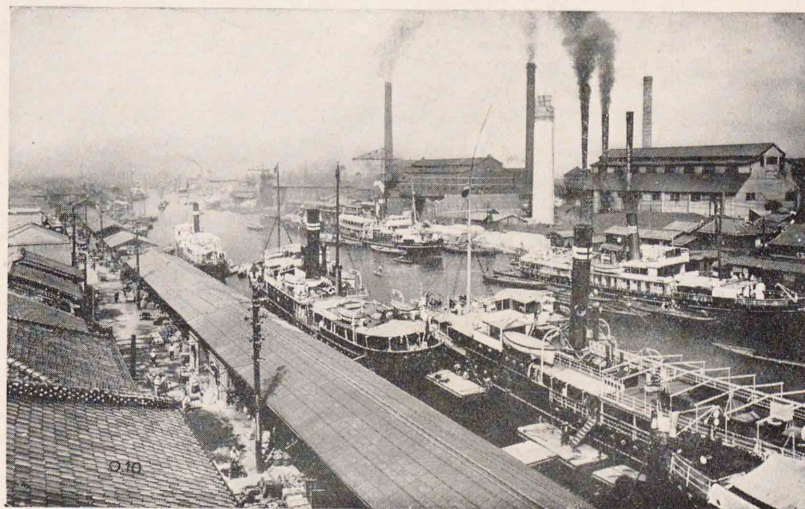


大阪市の都心



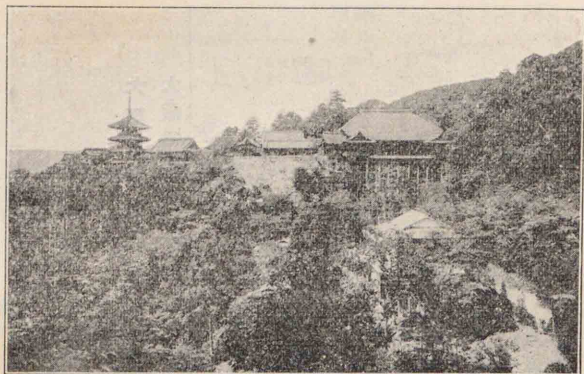
中央の島は島大の建物は市廳の方左の圖。書館と公會堂。上方は南方に當る。

安治川河口



圖の向つて左の長い建物は荷役場。右は工業地帯である。大阪商船會社の其他の貨物船が泊る。淀川は大阪港の天保山棧橋から乗降する。

\* 勝地一、八三頁



清水寺 京都山の中腹にあつては眺めがよい。

の勝地がある。

大阪府 大阪市は各種の工業が盛んで、商業もその繁榮東京を凌いで、帝國の首位にある。従つて交通も盛んである。その南につゞく堺市も工業地で、足袋・綿絲・セルロイド・織布・清酒等の産多く、岸和田附

奠めたまひて以後、明治に至るまで一千餘年間帝都の地であつた。市街は東に移り古の左京が今の中心となつてゐるが、條劃よくとのひ、交通の發達にともなひ、今や市域大に擴がり、面積二八八方軒、七區、人口約百萬となつた。市の内外は風景よく、且史蹟、社寺が多いから觀光客は四時絶えない。美術工藝は古來榮え、西陣織、七五友禪、染清水焼等の産がある。市は關西の學府をなし、大學をはじめ、各種専門學校、博物館等がある。なほ市には京都府廳第十六師團司令部も置かれてゐる。

(2) 丹波丹後の高原には養蠶行はれ、福知山はその中心で、峯山附近は縮緬を産出する。(3) 若狹灣沿岸の中心舞鶴は海軍の要港で、宮津は開港場、その近くに天橋立







市街は海岸から山麓へ、商業區住宅區と移つて行くが、山が急なので海岸に沿うて東西にのびてゆく。之を八區に分ける。西端の須磨區は風景氣候のよい住宅地で、その東の林田區は工業區である。市の人口約九一萬、面積六一方料。縣廳商業大學市外等もある。

(2) 播磨灘沿岸には東端に明石市、中心に姫路市第十師團司令部所在地、西部に龍

野醬油の産地・赤穂鹽の産地がある。(3) 日本海斜面の但馬は養蠶

と牧牛に著はれ、生野、明延の鑛山、豊岡の杞柳、細工、城崎の温泉等が名高い。(4) 淡路島は農耕よく開け、洲本、由良等の小都市がある。

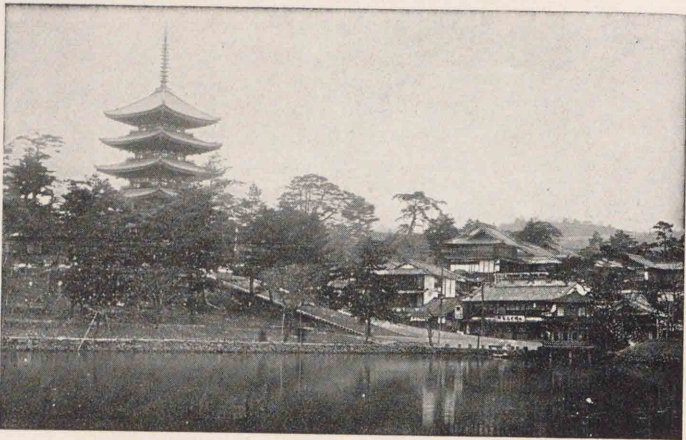
奈良縣 (1) 北部の奈良盆地は米麥、西瓜等を産し、南部には製藥業が行はれる。盆地内には京都盆地と同じく歴史上の遺蹟が多い。奈良市は盆地の北東隅に位置し、縣廳春日神社、東大寺、正倉院、帝室博物館、女子高等師範學校等がある。盆地の西方には郡山金魚の産地、法隆寺、南方には神武天皇の御陵、橿原神社、談山神社等がある。



吉野川の筏の流上  
杉・檜等を筏にして流すことである。

\* 尋地一、九八頁

奈良市



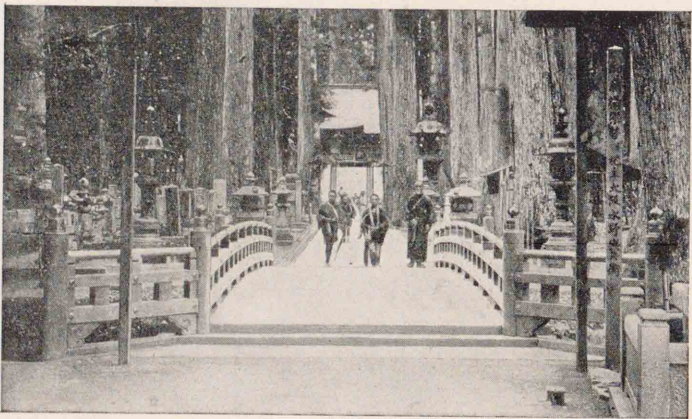
奈良公園の入口で、左に見えるは興福寺の五重の塔、右の方の家は宿屋。猿澤池には鯉や龜が多くて、遊覧客の興へる餌に集つてくる。春秋の眺は繪のやうである。

吉野山



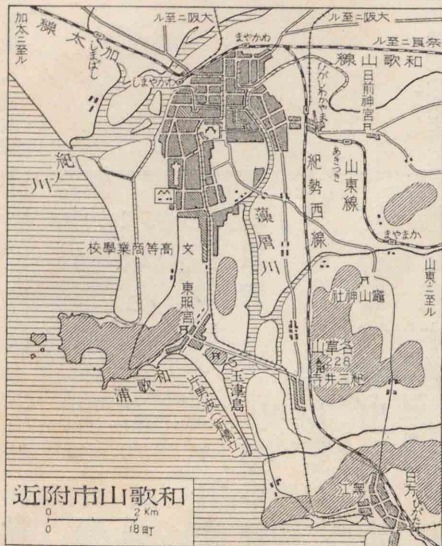
「みよしの山の曙」を上の千本より西に見たところ、尾根にある町の中の大きい建物は藏王堂、右端に見えるは如意輪堂。

高野山



高野山は約八百米の高原上にある宗教都市で金剛峯寺を中心に多くの増坊と民家がある。この圖の橋は弘法大師廟の前の玉川に架する。是より以内は木立深く最も清淨の區域である。

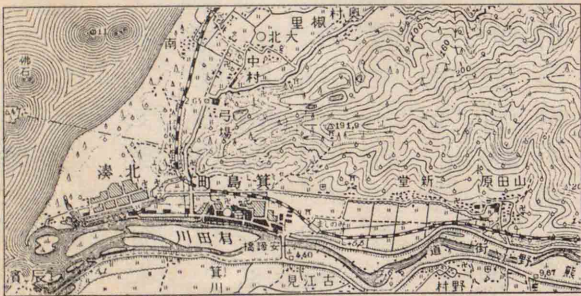
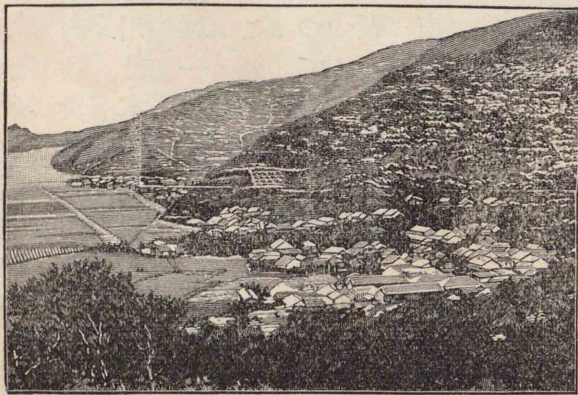




近附市山歌和

\* 尋地一、八九頁

(2) 南部山地は吉野杉の産地で、その入口の吉野は吉野朝廷の舊蹟と櫻花とて名高い。和歌山縣 (1) 紀川流域の門戸和歌山市は縣廳所在地で、綿ネルの機業が盛んである。



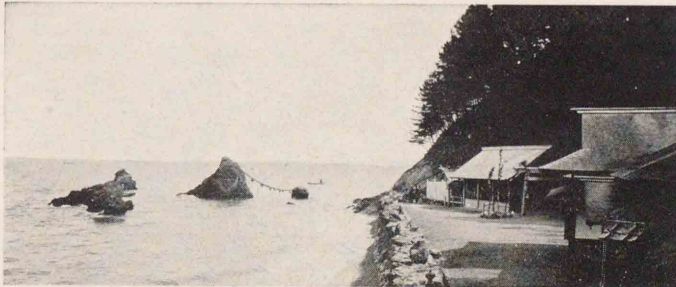
紀州蜜柑 左上圖は有田川沿岸の蜜柑畑を示したものである。この附近は紀ノ川沿岸と共に紀州中その栽培最も盛んである。山に階段のやうになつてゐるのは皆蜜柑畑である。河岸平野は米田となり、聚落は山麓帯にある。下の地形圖と比べよ。

苑神の宮神勢伊



茂樹老は内境。い厚てめ極敬崇の民國は爾大勢伊五いで部一の苑神の宮内は圖。るあで域の淨清てつ。す示を場洗手御の川鈴十

浦ヶ見二



通が車電間のそてつあに方東軒六約らか市田山治宇も望遠のらかこ。るあで岩婦夫い高名は圖。るず。いよかなかな

女海





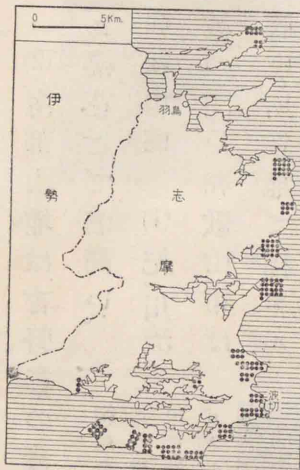
\* 尋地一、八四頁

第七章 近畿地方

附近には名勝地和歌浦漆器傘の産地海南市、東にはるか離れて高野山がある。(2)それより南は大部分山地で、有田川流域は紀州蜜柑の本場として名高く、熊野川は木材運搬の路をなし、河口の新宮市はその集散地である。沿岸は一般に漁利に富むが、出移民も多い。

\* 附近の明野原には陸軍の飛行学校がある。

▲ 八六頁 尋地一、九二頁



▲(人十二點一)布分の女海

見ヶ浦の勝地がある。(2)志摩半島の鳥羽は自然の良港、波切は漁港である。(3)熊野灘沿岸は小出入多く漁業盛んで、真珠の養殖も行はれる。(4)伊賀地方の上野は伊賀盆地の中心都市で傘の産が多い。

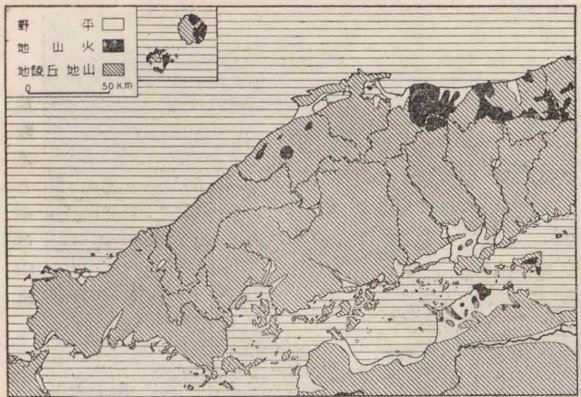
問題 近畿地方の北西部中央部南部を比べよ。

第八章 中國地方

一、位置區分 本州の西部に位し、瀬戸内海を隔てて四國・九州と相對し、行政上岡山・廣島・山口・島根・鳥取の五縣に分たれ地理上、山陰・山陽の

二區に大別される。

二、地形 高原性の中國山脈廣く東西に連なる故、平野一般に少く、分水界は概ね北に偏し、山陰・山陽の兩地方を分つ。なほ山陰地方には白山・火山脈に屬する大山を分つ。三、瓶山等がある。川は自ら南北に分流し、日野・斐伊江の諸川は日本海に、吉井・旭川邊・太田の諸川は瀬戸内海に注ぐ。日本海岸は、中部の島根半島附近の外は出入少く、隱岐の外は島も少いが、瀬戸内海は、屈曲に富み、島も多く、碇泊地が少くない。又波穩かて古來交通上の要路をなし、船舶の往來が多い。



(てべ比と圖附)よせ入記を界水分に圖のこ





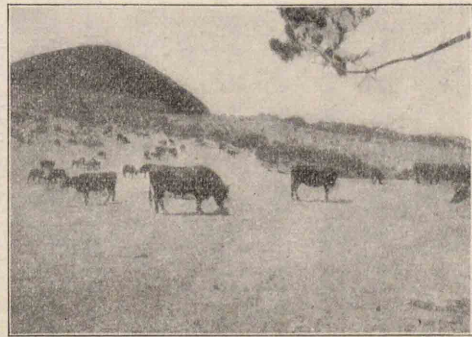


島の牡蠣カキ 尋地一、一〇八頁 名高く、朝鮮近海に出漁するものも少くない。工業は次第に發達し、農産工藝98は全國の首位を占め、又綿織業を始め、大規模の工場が各地に設けられてゐる。



隱岐の鰯 家の間に見えるのは柔魚スルメイカを干したところである。柔魚は鮮魚のままでも賣るが、多くは腹をさいて内臓を去り、細い竹で中央を貫き、これを天日に乾かして鰯に製する。柔魚の漁期は全年にわたるが、最も盛んなのは冬で、夜間灣外二軒から十二軒の沖に出て釣るのである。

五、交通 本州の幹線、山陽線は山陽を縦貫し、山陰線は山陰を貫いて連絡する。又、下



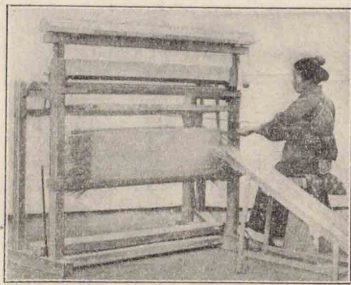
(近附の山高彌縣山岡)牧放



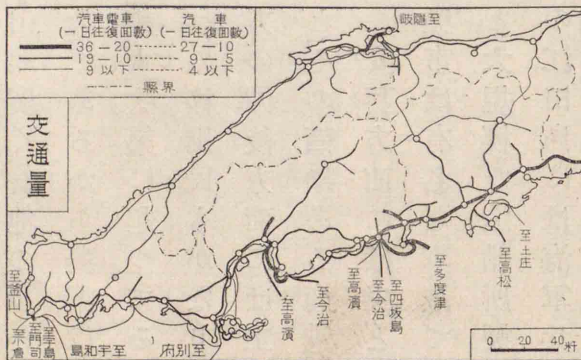
刈草蘭

\*尋地一、一〇九頁、一一〇頁

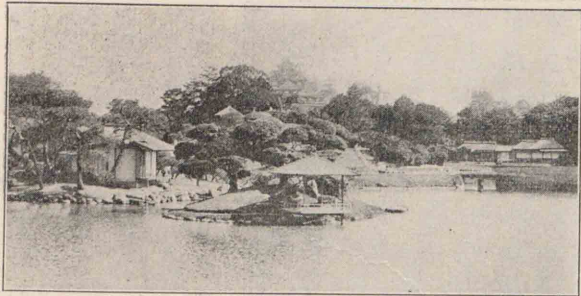
關から鐵道連絡船で九州朝鮮の鐵道との連絡もよい。高原を南北に横ざるものには、東に因備線、中國鐵道、伯備線、西



りお表壘



量 通 交

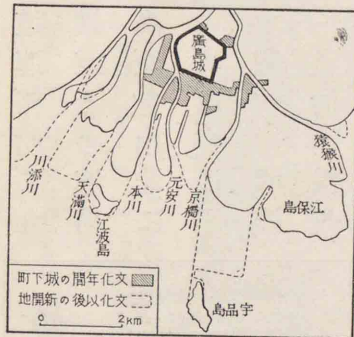


高名て以を美の工人ラダキるあに部東北の市山岡 園樂後主は街市。るえ見が櫓の城舊はにふ向。るあで園公い。るあでのたし達發てしと町下城に方西の城のこに

に山口線、美禰線があり、高原内の盆地を東西に連ねる鐵道も次第に延び、之と相まつて自動車交通も發達してゐる。海上交通は山陽に盛んであるが、山陰は之に反する。六、處誌 岡山縣 (1) 諸川の下流には平野開けて米麥藺果實等の栽培が行はれる。岡山市は旭川に跨り、商工業交通の中心をなし、縣廳醫科大學等がある。倉敷市も商



工業交通の一中心をなす。その西の玉島笠岡には紡績業が起つてゐる。兒島半島の宇野は四國への連絡港である。(2)高原内では主として牧牛と麥作とが行はれ津山盆地勝山盆地の中心都市は津山市と勝山である。



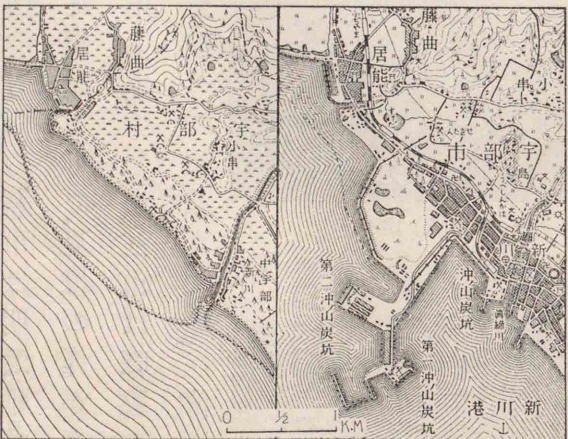
廣島市 上圖の右に元安川、左に本川が見える。左圖は百三十年前の市街と、その後の土地の發達を示す。今の市街はほぼこの三角洲上にひろがつてゐる。

廣島縣 高原山地廣く、耕地の少い割に人口密度が大であるから、農業は多角的になり、工業も次第に起つてゐるが、一方に海外への移出民もかなり多い。(1)海岸地方の備後方面には工業都市の福山市と、その西にある商港の尾道市がある。安藝方面には吳と廣島とがある。吳市は有名な軍港で、第二海軍鎮守府と大規模な造船所、製鋼所があり、西方の江田島には海軍兵學

\*尋地一、一一二頁

山口の西方に秋吉臺といふ石灰岩臺地がある。

校がある。廣島市は太田川の三角洲を占め、中國第一の都市で、縣廳第五師團司令部、文理科大學があり、商工業も盛んである。その港用品は日清、日露等の戰役に軍隊輸送の重要地點となつた處である。その南西方に日本三景の一の嚴島がある。(2)高原では牧牛行はれ、三次盆地の中心に三次がある。山口縣 (1)山陽方面では、錦帯橋で名高い岩國附近には人絹工業起り、徳山市には海軍燃料廠や曹達工場がある。防府附近は製鹽の中心、宇部市は石炭の産多く、山口市には縣廳がある。下關市は瀬戸内海西方の門戸をなし、水陸交通の中心で、水産物の集散も多い。彦島には工場多く設けられ、北九州工業地帯の延長



市部宇 圖測の年一十正大は圖右・年十三治明は圖左 盛に急近最てつな伴に發開の田炭部宇は市本。るあで。るれら知が事たつなにん





あでることた見を分部の東の街市らか址城舊 市江松  
が山火山大の高最國中に遙見え見がれ流の川橋大。る  
(頁四一—び及頁四〇一、一地尋)るえ見

をなす。(2)山陰方面の萩市は明治維新の功  
臣を輩出した舊城下町で、夏橙の産が多い。  
島根縣 (1)出雲地方の松江市は縣廳の所在  
地で宍道湖を控へて風景がよい。湖西には  
平野ひ  
らけ、そ  
の北西  
隅の大  
社には  
有名な

出雲大社がある。(2)石見地方  
の濱田は開港場で、この方面第  
一の都市である。(3)隱岐島は  
島前・島後に分れ、近海には烏賊



(ることた見らか驛山大)山大



(方北の取島)丘砂坂濱

\*尋地一、一〇四  
頁

の漁獲多く、島後には西郷港がある。  
鳥取縣 (1)東部(千代川流域)の鳥取市は縣廳の所在地(2)中部(天神川  
流域)の倉吉はその中心都市で、その東方に三朝温泉がある。(3)西部  
日野川流域の米子市は商工業交通の中心、夜見濱の先の境は貿易港  
である。

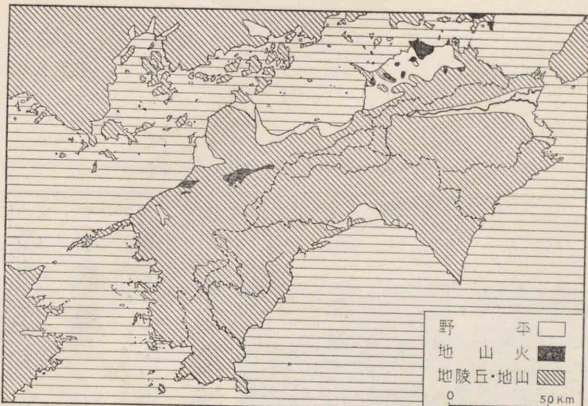
問題 山陽地方と山陰地方とを比べよ。



### 第九章 四國地方

一、位置區分 四國地方は近畿地方と九州地方との間にあつて、中國地方と瀬戸内海を隔てて相對し、行政上、徳島・香川・愛媛・高知の四縣に分たれ、地理上、北四國瀬戸内海斜面と南四國太平洋斜面とに分たれる。

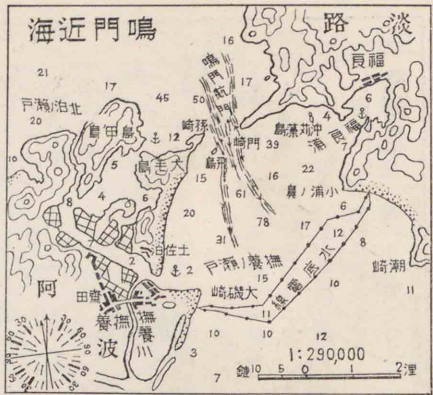
二、地形 域内は一般に山多く、四國山脈ほゞ東西に走り、ツルギ劍山、イナ石鎚山が其の中にそびえてゐる。四國第一の



四國第一の長流吉野川は横谷又は縦谷をなして東に流れ、下流に三角洲を作る。その他、土佐灣に入る川には



吉野川の流峽 小崩壊(危歩小) 其の奥 大崩壊(岸左) 高知は向ふ道路。



鳴門海峡 其の幅僅に一、三軒餘門、津和野津和野間、中央から少し東に中瀬があつて大鳴門(西)・小鳴門(東)に分れてゐる(右圖)。潮流(左圖)は凡そ六時間ごとに南流又は北流し、大音を發し、渦巻をつくつて、速度最も大なる時は一時間十二軒以上に達する。



稍、大なるものもあるが、内海に注ぐものは何れも長さが短い。北四國には讃岐・高繩の二半島が出て居るし、島も多く、諸海峡は潮流が急である。南四國には室戸・足摺の二岬が土佐灣を抱いてゐる外は出入少いが、西方の豊後水道沿岸は屈曲極めて多く、最も變化に富んで居る。

三、氣候 北四國は山陽と同じく氣候溫和で、降水量少く、従つて沿岸は製鹽に適する。南四國は紀伊の海岸に類し、位置、地形、海流、季節風の關係で氣温は一般に高く、降水量は暖季に多い。従つて此の方面は森林に富む。

實習 左の數字で二八頁のやうな氣温・降水量比較表をつくつて説明を加へよ。







地方との交通に必要なので、よく發達し、殊に北四國の方に盛んである。

六、處誌

德島縣 (1) 吉野川地溝が

\*九九頁  
尋地一、八五頁  
高松市の港のすぐ南に舊城址がある。市も舊城下町である。港に近く停車場があつて、西へ豫讃線、南から東へ高徳線が通じてゐる。電車も栗林公園や屋島・琴平等に通ずる。屋島臺は古戰場と眺望とで名高い。(尋地一、一一〇頁)。

主要地で、米・麥・烟草・繭・蔬菜等の産が多い。その門戸の德島市は縣廳の所在地で、大阪との取引行はれ、綿織物を産する。小松島は、市の外港をなす。市の北方、鳴門海峡に臨む撫養附近には鹽の産が多い。吉野川中流には脇町・池田の小都市が並んで居る。(2) 南部の海岸附近は米・蜜柑・筍等を産し、水産業も盛んである。

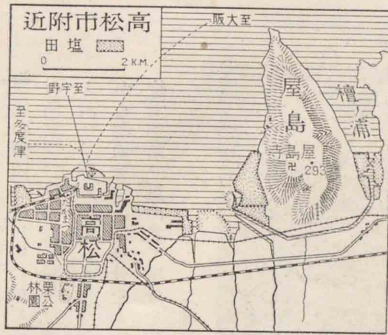
香川縣 本縣は面積は小さいが、農業よく發達し、農産工藝も盛んで、人口の密度が大きい。(1) 讃岐半島の中部海岸の高松市は内海航路の要津で、縣の中心都市である。その西



徳島市 通路麥



徳島市 右の方を山城にして發達した。し。



琴平町 金刀比羅宮は大物主命・崇徳天皇を祀る。本殿は山の中腹にあつて圖には見えない。圖の家は社務所・門等と、門前町の一部である。



門戸に高濱・三津濱  
東には道後温泉を

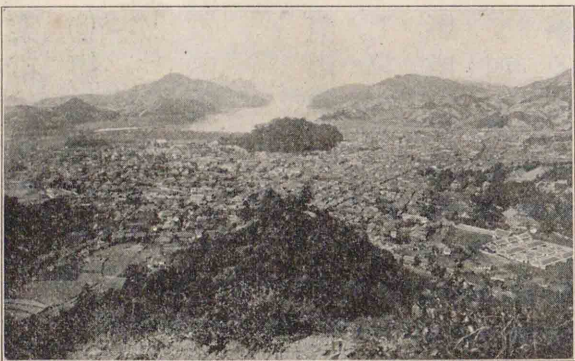
の製鹽地坂出及び丸龜市・多度津港は豫讃線に沿ひ、第十一師團司令部の所在地善通寺、金刀比羅宮のある琴平は土讃線に沿ひ、且、電車の連絡もある。(2) 屬島中の小豆島は風景に富み、醬油を産し、直島には銅の製鍊所がある。

愛媛縣

松山市 圖の左方に見える丘は城山で、ここを中心として市街が發達したのである。

(1) 伊豫灘  
斜面(中豫

の松山市  
は縣廳の  
所在地で、  
伊豫絣を  
産し、その



宇和島市 圖の中央に黒の木茂つて居る山城は、こを此の町の發達した。し。こを此の町の發達した。し。こを此の町の發達した。し。



控へてゐる。(2) 燧灘斜面(東豫)には工業市で開港場の今治市と、別子銅山とがある。(3) 豊後水道斜面(南豫)は海岸の出入は多いが、山がちで、水産物・繭・果實等を産し、宇和島市・八幡濱市が主な都市である。

高知縣 高知平野が主要地である。氣温が高いので年二回米を作ることが出来るし、早生の蔬菜を阪神地方等に出す。高知市は縣廳の所在地で、阪神との航通が便利である。又、西方、仁淀川流域の伊野と共に和紙を産する。沿岸一帯には漁利多く、山地には林業が行はれてゐる。



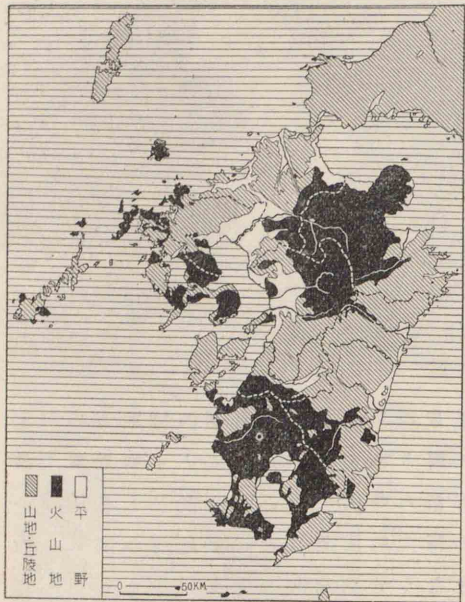
高知市街をへだてて東南  
浦戸方面のぞんだことろ。

問題 各自一縣づつ調べて發表せよ(全生徒四團に分れて)。

### 第十章 九州地方

一、位置區分 九州地方は本土西端の九州島と、その附近の島嶼とから成り、行政上、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の八縣に分たれ、地理上、北九州佐賀關入代を結ぶ線以北、南九州同上の線以南、琉球弧(彎)九州島の列島に三大別せられる。

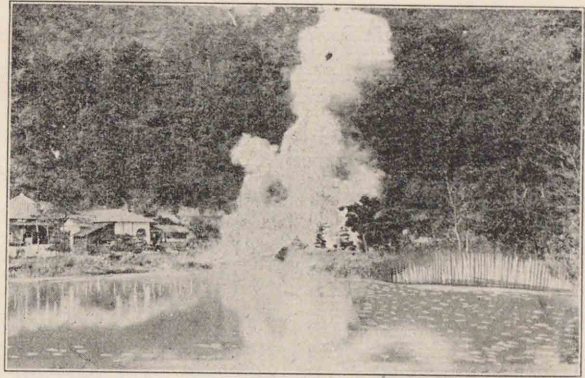
\* 一一四頁  
尋地二、六二頁



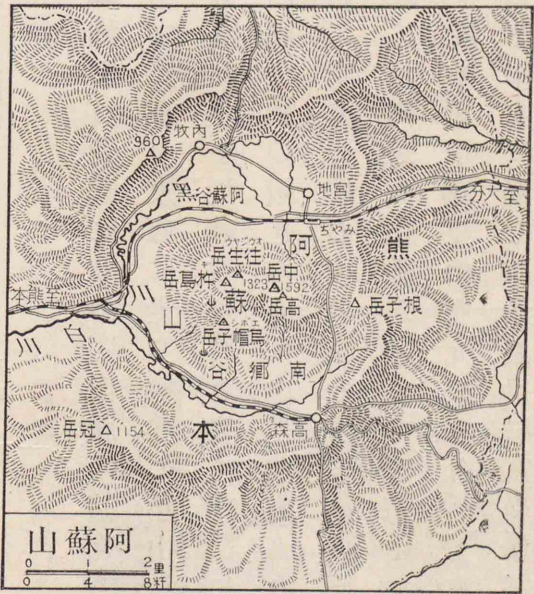
九州地方の地形

二、地形 北部には中國山脈の續きの筑紫山脈ほゞ東西に走り、數多の小山塊に分れ、石炭を埋藏すること多く、南部には四國山脈の續きの九州山脈北東より南西に走り、高峻の山地をなす。兩山脈の間には阿蘇火山脈があつて、阿蘇山106を始め、兩子、鶴見、由布、九重、雲仙、多良の諸峯之に屬し、勝景温泉に富み、南部に





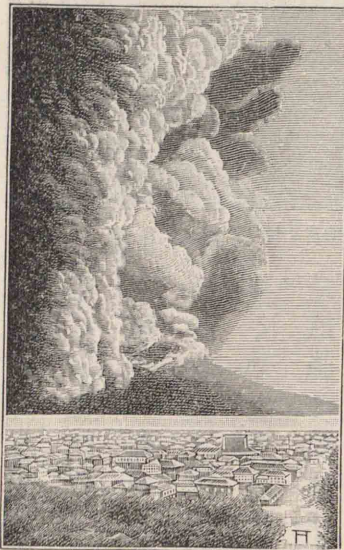
別府の海地獄 別府市は鶴見岳の麓にあつて、霧島山脈が分界となつて、霧島山脈の嶺に、櫻島、開聞岳を噴起し、更に薩南諸島の内帯に數多の火山島を造つてゐる。主



阿蘇山 舊火口は南北凡そ二四軒、東西凡そ一八軒、面積三百餘方軒、世界最大の火口である。中央火口丘の主なもの五つあつて、その中岳は今も盛んに活動してゐる。火口原は阿蘇谷、南郷谷に分れ、農業、牧畜行はれ都邑も多い。鐵道豊肥線も火口を横ぎつてゐる。(一四頁及び尋地一、一、二六頁、尋地二、六一頁)。

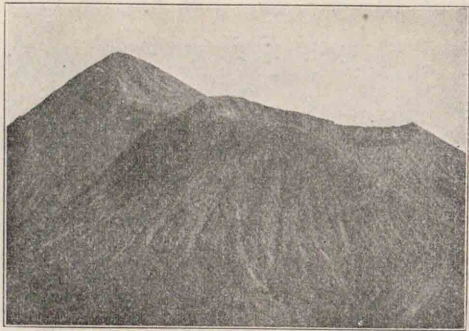
\*尋地一、一二七頁

市島兒鹿と島櫻 (時當火噴年三正大)



(頁九二一、一、地尋)

な川は、阿蘇火山脈と九州山脈を分水界として諸方に流れ、球磨川は峽流をなし、筑後川の下流一帯には九州第一の筑紫平野がある。海岸は屈曲甚だ多く、殊に北西部には、肥前半島突出し、島嶼、岬灣入りまじつて最も複雑な一區を形づくり、中に軍港佐世保及び商港長崎がある。南部には大隅薩摩の二半島が出て、鹿兒島灣を抱き、北東には國東半島出で、



霧島山群の中、高千穂峯と御鉢

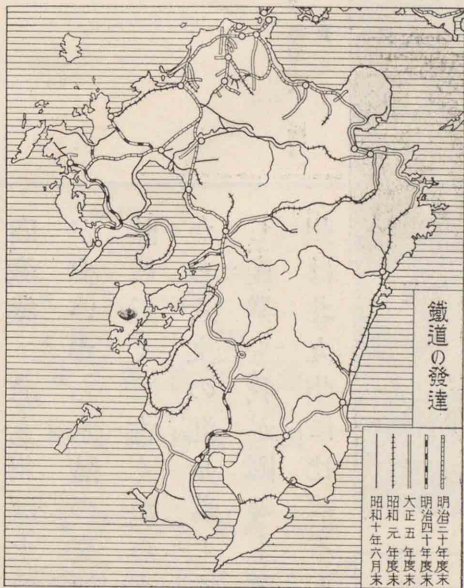
その南方豊後水道に面する所は小出入が多い。ただ日向灘に面するところは單調である。近海には島嶼多く、北西に壹岐、對馬、平戸、五島、西に天草、甌の諸







\* 尋地一、一三八頁  
 \*\* 尋地一、一三〇頁  
 ○ 尋地一、一三六頁  
 ▲ 尋地一、一三六頁  
 實習 産業分布圖をつくれ。



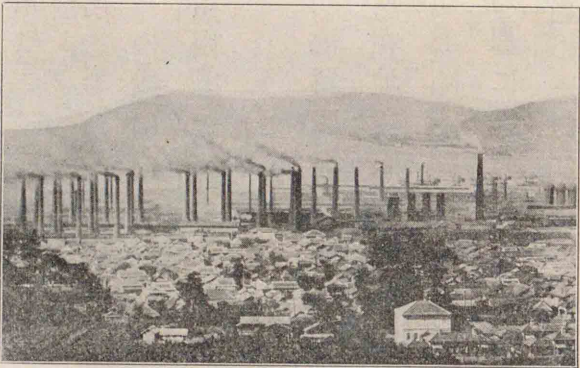
鐵道の發達

し、木材、木炭、椎茸等を出す。鑛産は北九州の石炭及び大分縣の金銅、鹿兒島縣の金が名高い。殊に石炭は我が國産出額の半ば以上を占め、門司・若松・三池等から積出され、又北九州にある八幡製鐵所を始め、各種の工場に使用せられる。工業は北九州工業地帯の外有田佐賀縣の製陶、長崎の造船、久留米福岡縣の機業、熊本縣の肥料、大分縣の壘表等がある。商業も亦北九州に盛んである。水産業は一般に盛んであるが、長崎縣が第一位である。

**五、交通** 鐵道鹿兒島本線、日豊本線、長崎本線は幹線をなし、前二者は相連つて九州を一周する。北九州には鐵道よく發達し、殊に工業地帯附近は鐵道網をつくつてゐる。東西横斷には北九州に久大線、豊肥線があり、南九州には日豊本線と連絡する肥薩線、吉都線がある。海上交通も北九州に盛んで、門司、長崎が

主な港である。

**六、處誌 福岡縣** 本縣は位置地形の良いこと、石炭の多産等のため九州中産業最も進歩し、農産多く、又各種の工業が盛んで、北東部は一大工業地帯となり、都市の發達も著しい。(1)北東部の門司市は下關と相對する開港場で、石炭の積出多く、鹿兒島線の起點である。それより南西には小倉、戸畑、八幡、若松の諸工業市並列し、八幡にある製鐵所は規模が殊に大きい。遠賀川流域の筑豊炭田の石炭は主に開港場若松市と、門司市とから送りだす。直方市、飯塚市は炭田地域の中心



八幡製鐵所 明治三十三年の出産に於ては、今第一と一。たつな製鐵額が我が國の出産の過半を占める。原料の鑛鐵は朝鮮、海道の栗及び戴寧、アイヌの占め。支那の大冶、アイヌの半島、くらら(尋地一、三五頁)。

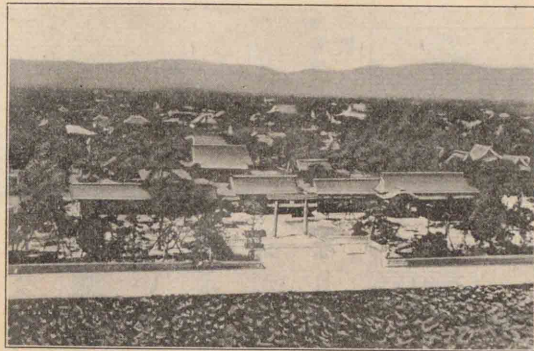


\* 尋地一、一三八頁



福岡市の南東に太宰府神社がある。

久留米市北東方の太刀洗には陸軍の飛行隊がある。  
\* 尋地一、一三三頁

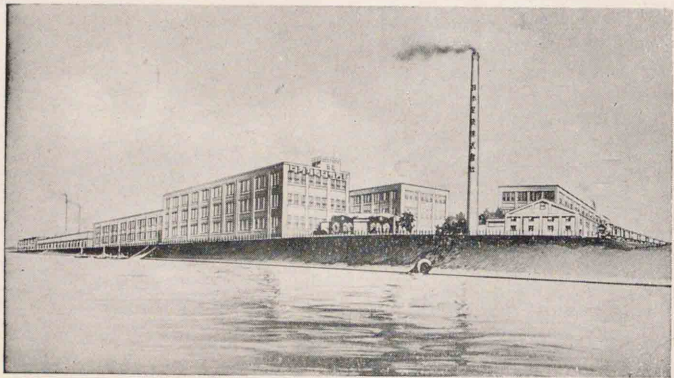


佐賀市 城址から北に望む。景は鍋島関公を祀る佐嘉神社

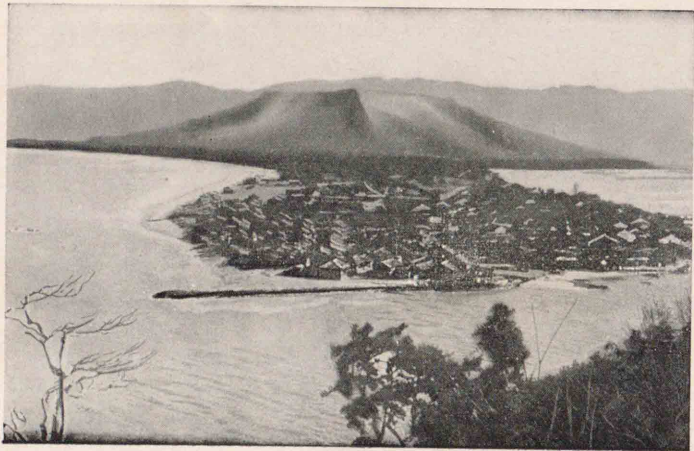
都市である。(2)北西部の福岡市は九州第一の大都市で縣廳の所在地、博多を開港場とし、商工業が盛んで、又、學藝の一中心をなし、九州帝國大學市がある。(3)南部の主要地は筑紫平野である。この平野は筑後川、矢部川等の流域で、佐賀縣南部に互り、九州第一の大平野をなし、米、麥、菜種等の農産が多い。久留米市はこの方面第一の都市で、足袋、紺・タイヤ等を産し、第十二師團司令部がある。南端の三池炭田は我が國第一の炭田で、大牟田市はその門戸をなし、工業榮え、石炭積出しの盛んな三池開港場を控へてゐる。

佐賀縣 (1)南東部は、有明海斜面に屬する。筑紫平野西部の中心には縣廳の所在地佐賀市がある。有明海の北岸では牡蠣等を養殖し、開港場住江からは石炭を積出す。(2)北西部(海峽斜面)には唐津、伊萬里の灣入があつて、灣頭には夫々同名の港市をもつ。唐津市は唐

福岡市 北方より見たところである。川は那珂川、中央に縣廳が見え、其の左方(東)は西中洲で、左端の橋が西大橋。

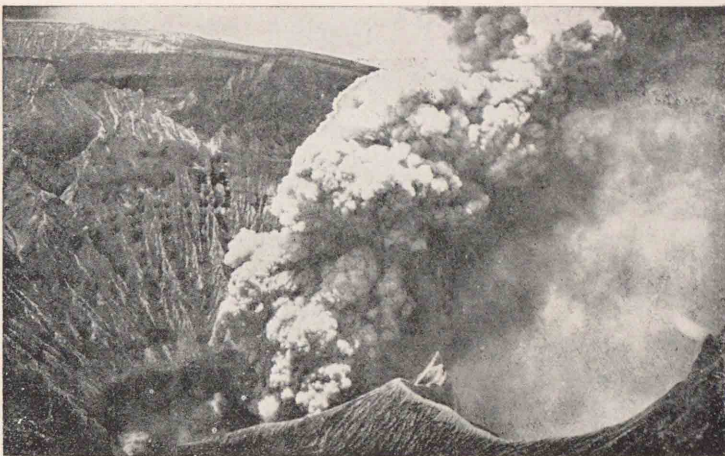


久留米市 筑後川に臨む。圖は筑後川と足袋工場とを示す。工場には原料の布を機械で織る機械工場とミシンで縫ふ裁縫工場とがある。此の労働に従ふものは主に女子である。



唐津灣 唐津城址から松浦川口を隔てて東唐津の満島の町とそれから左(東)につゞく虹の松原と、背後の鏡山(領巾振山)とをのぞむ。





阿蘇の中岳(右)



雲仙ゴルフリンク(左)

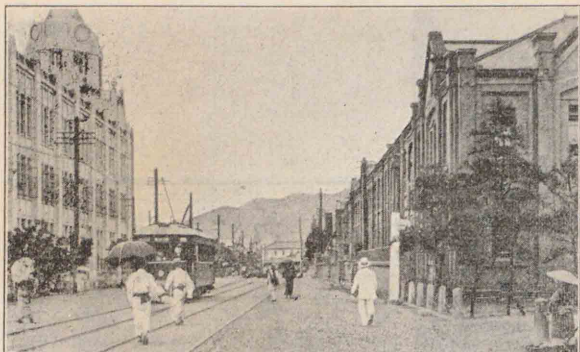


長崎港の一部(下)

津線終點の開港場で石炭の積出が多い。有田は有名な陶器産地である。

\* 尋地一、一三六頁  
 \*\* 尋地一、一三七頁  
 △ 尋地二、六二頁  
 ▲ 八代には洋紙・セメント製造も行はれる。

長崎縣 (1) 半島部は丘陵がちで、海岸線の出入著しく、近海は漁利が甚だ多い。長崎市は縣廳所在地で、開港場中最も古く、醫科大學や三



熊本市本熊は市本熊の野平本熊は市本熊の中心市都るあては圖城。熊本市本熊は市本熊の野平本熊は市本熊の中心市都るあては圖城。

菱造船所がある。島原半島には雲仙岳聳え、東岸には島原がある。佐世保市は軍港で、第三海軍鎮守府がある。(2) 屬島のうち五島列島の近海は水産物に富み、福江・富江は漁業の中心をなす。壹岐・對馬は日本海の口を扼し、對馬は特に水産に著はれ、嚴原の開港場がある。熊本縣 (1) 熊本平野は縣の主要地で、肥後米や粟の産が多い。熊本市は白川に臨む舊城下町で、第六師團司令部、縣廳、醫科大學がある。宇土半島には開港場三角、球磨川の河口には木材の集散地八代がある。(2) 東部から南部にかけては一帶に山地で、北に阿蘇火山、南に



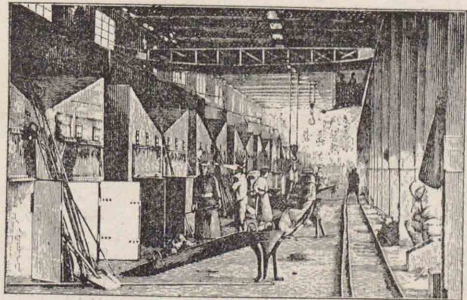
人吉盆地がある。鐵道肥薩線はこの南方の山地で一部ループ式線路となつて、鹿兒島縣に入る。(3)天草島は二島から成り、無煙炭、陶土を産する。牛深が第一の港である。

大分縣 (1)別府灣沿岸の別府市は温泉に富む休養都市である。その東方の大分市は縣廳の所在地で交通上の一中心をなす。東端に近い佐賀關



馬耶溪 青門洞(右)附近を示す。岩塊が水蝕を受けける此の奇景をつくらあでのたつく

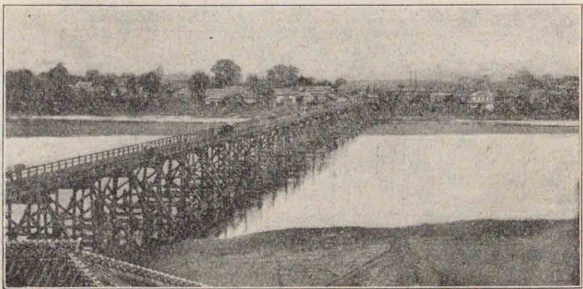
には壯大な製鍊所があつて銅金の産出が多い。(2)國東半島には疊表の産多く、(3)周防灘沿岸には平野開け、中津市の南方には耶馬



佐賀關製鍊所 我が國西部の諸鑛山の鑛石を處理するために設けられたものである。佐賀關港は數千噸級の汽船の出入自在で鑛石の運搬に便利なため此の地が製鍊所選ばれた。圖は工場内部で粗銅を作る爐である。(尋地一、一三四頁)

溪の勝地、東方には宇佐八幡宮がある。(4)豊後水道沿岸はリアス式の小灣に富み、水産物、セメント、蜜柑を産し、臼杵、佐伯等の港市がある。(5)西部は一帶に火山岩の山地で、所々に小盆地開く。その中、日田盆地が最も著はれる。宮崎縣 本縣は皇祖發祥の地であるが、海岸は單調で、山地多く、交通不便であるから、開發が遅れてゐる。宮崎市は大淀川の下流にまたがり、縣廳の所在地で、その上流に都城市、北方には延岡市がある。

鹿兒島縣 (1)鹿兒島灣斜面の鹿兒島市は明治維新の功臣を輩出した舊城下町で、縣廳があり、開港場になつてゐる。北方の國分附近等には煙草を産し、霧島火山の裾野では牧馬が盛んである。南方の指宿附近は火山温泉に富む。(2)東支那海斜

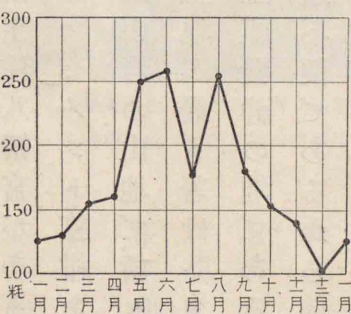
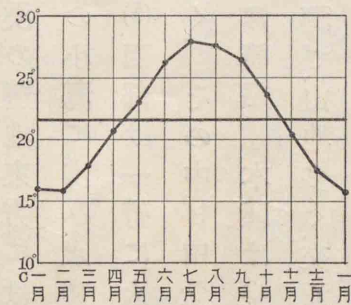


宮崎市 大淀川にかけてある橋(長さ凡そ四百米)を距てて宮崎の市街を望んだところである。(尋地一、一四一頁)



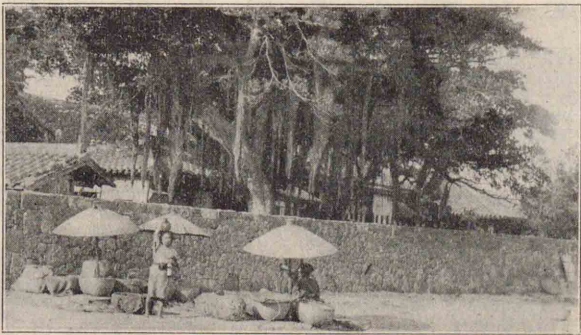
面には鹿兒島本線通じ、川内出水等の都邑をつらねる。本縣には金山多く、中にも串木野が著はれる。(3)太平洋斜面の有明灣頭には平野開け、志布志が其の中心都市である。(4)屬島のうち、薩南諸島の種子島は砂糖を産し、屋久島は屋久杉の産を以て名高く、大島からは黒砂糖、大島紬を出す。

沖繩縣 (1)北部に沖繩諸島、(2)南部に先島諸島、(3)東部に大東諸島がある。氣候亞熱帶性で、生物は本土と大いに趣を異にし、植物には榕樹



(下)量水降と(上)温氣の那覇

は榕樹、植物に異にし、土と大に趣を異にし、植物には榕樹



琉球の家 富豪の家を示す。暴風雨が多いから家を低くし、石垣をめぐらして居る。木は榕樹である。

\*尋地一、一四二頁

芭蕉等よく茂り、動物には飯匙倩沿岸には礁珊瑚がある。農産は甘藷、甘蔗、蔬菜を第一とし、養豚も行はれる。産業が振はない割合に人口密度が大であるから、移出民が多い。この地はもと琉球王の統治した所であるから、言語風習が内地と異なるものもあるが、今は概ね内地風に改まつた。那覇市は縣廳の所在地で、開港場をなし、王城のあつた首里市と共に泡盛、漆器等を産する。琉球海溝を隔てて琉球弧の東方にある北大東島からは燐礦を産する。

問 一、南北九州を比べよ。  
題 二、琉球弧について調べよ。



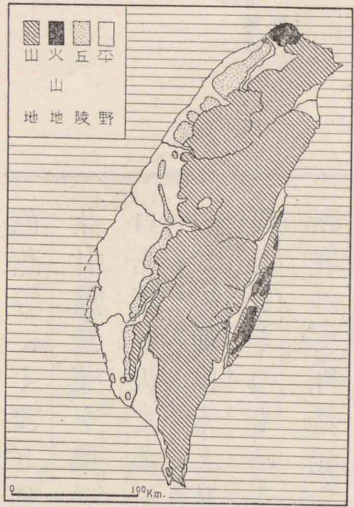
### 第十一章 臺灣地方

臺灣は今より約四十年前日清戦役の結果我が國の領有となつた熱帯植民地で、臺北に總督府を置き、地方を五州三廳に分けて之を治める。又、臺北には臺灣軍司令部を置き、基隆、澎湖島には要塞を設け、澎湖島には海軍の要港を置く。

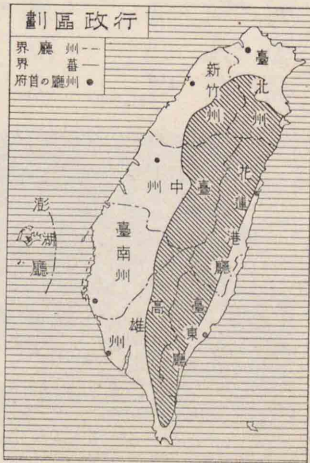
一、位置 臺灣は日本列島の南西端に位置し、西は臺灣海峡を隔て、支那と相對し、其の間に澎湖諸島がある。

南はバシール海峡を隔て、フィリピンに隣り、東は太平洋に、北は東支那海にのぞむ。

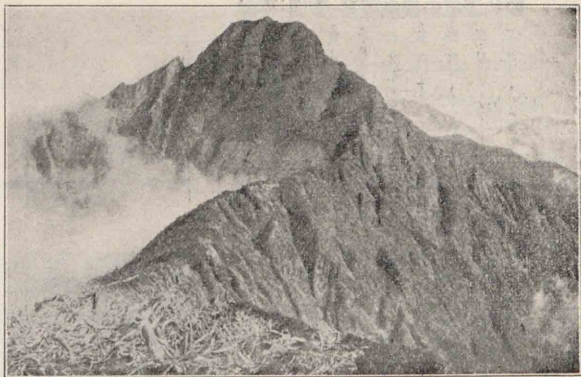
二、地形 高峻な臺灣山脈が中央から東に偏して、ほぼ南北に走り、我が國第一の高峯新高山を始め、三千米を超える高峯が少くない。その東側には海岸に低い臺東山脈並走し、又北端には



臺灣の地形



行政區劃



新高山 我國第一の高で高さ三五九〇米。位置熱帯に於ける山地の植物の帯は麓から高くなるにつれて、寒帯・温帯の植物の帯を見ることが出来る。圖は頂上を北から見たものである。(見ること四頁)。

\*貯水池と水路のことである。

用する。海岸は極めて單調で、東海岸は概ね絶壁をなし、西海岸は遠浅で、砂濱、潟が多く共に船を寄するに不便である。ただ基隆は自

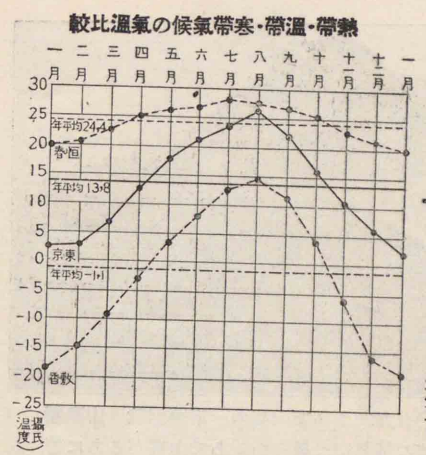


大屯火山群がある。臺灣山脈の東側は急斜して宜蘭平野、臺東平野の小平野を見るのみであるが、西側は緩斜して廣い臺灣平野に移り、淡水河濁水溪、淡水溪の諸川この中を流れて浅い臺灣海峡に注ぐ。是等の諸川は、山地では深い谷をつくるが、平野に出ると急に河幅廣がり、砂泥を堆積し、多くは分流する。河流は季節により著しく増減し水運の便少いが、灌漑用の埤(埤)を設けて利



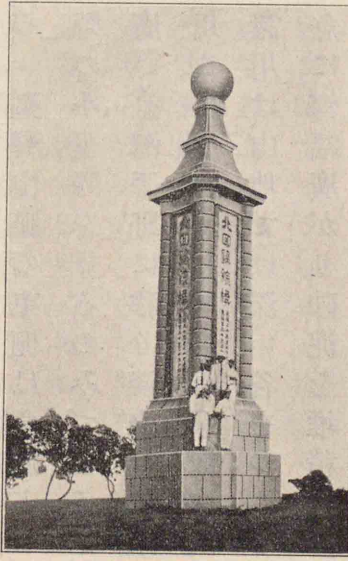
然の良港であるが高雄は瀉を利用し築港によつて良港となつた。  
**三、氣候生物** 北回歸線に跨つて熱帶性氣候である。季節風によつて乾季雨季の別生じ、北部と南部とは反對になつてゐる。

實習 左の數字で二八頁のやうな氣溫降水量比較表を作つて説明を加へよ。



近附央中と端兩北南國が我てつよに圖上の其と度温均平年(1)の(京東・香敷・春恒)知を差の度温の冬・夏(2)。化變の間年一國が我(1)てつよに之。る來出がとこる冬が方の夏は差の度温の方地端兩北南のに般一は太棒(2)。り知をとこい少もりよ化變の度温の間年一もかし。くくひ度温。し示をとこるあで候氣帶寒てくき大がもかしで温高に般一し反に之は灣臺(3)をとこるあで候氣帶熱で小化變度温の年を線曲の間中の者二前は京東(4)又。す示。す示をとこるあで候氣帶温しは現

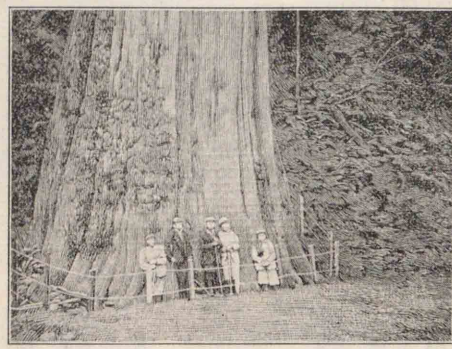
氣温 (平均)	一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月											
	基隆	臺南	基隆	臺南	基隆	臺南	基隆	臺南	基隆	臺南	基隆	臺南
降水量 (mm)	三	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
氣温 (平均)	一五	一七	二一	二六	二九	三二	三三	三二	二九	二六	二二	一八



植物は熱帶性を示し、山地には樟檜等茂り、平地には榕樹、檳榔、椰子、砂糖、龍眼、芭蕉等、水邊にはマングローブがある。動物には家畜に水牛等がある。

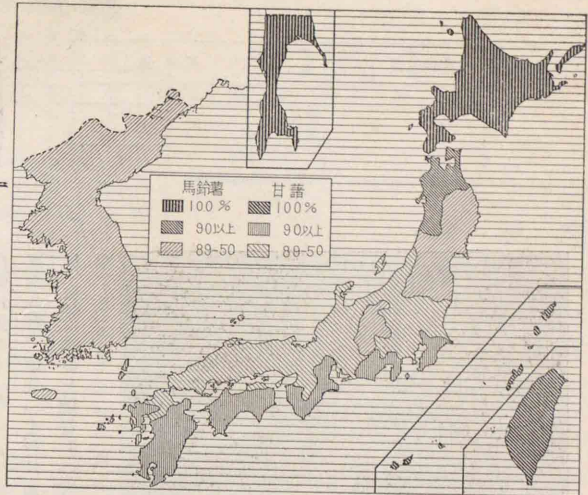
阿里山の巨樟 阿里山は新高山の西側に連なり一帯の大森林をなし、東西八軒、南北二十軒に亘る。扁柏・紅檜等々を總督府の官督で伐採する(尋地二、三一頁)。

人口の職業別	内地人						本島人			
	公務	自由業	工業	商業	交通業	其他	農業	工業	商業	其他
	10	20	30	40	50	60	10	20	30	40



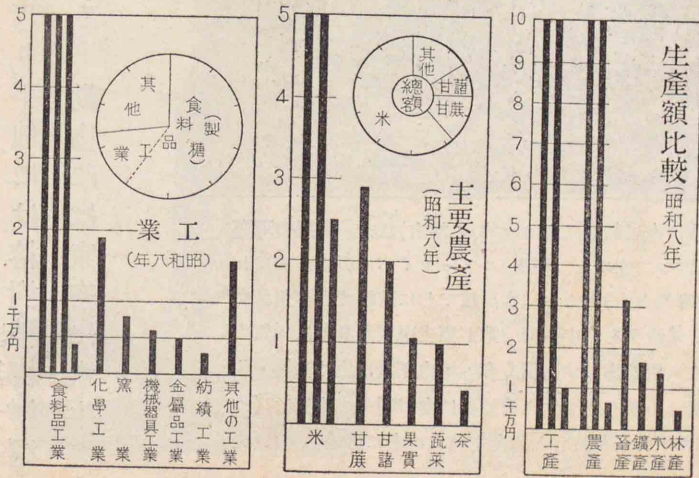
らせ栽培に南以部中に主は(つ二の端右)且文 寶泉の灣臺州中臺は(つ二左のそ 梨鳳)ルブッナイバ。いよが味風れ二、二地尋及上左)ナナバ。す出積てしに詰罐で主が州雄高雄高しと地産主を州中臺で一第が額産中實果島本は(頁六二の下左)柑手佛。す出積く多へ地内ぎ次に之州南臺・州中)眼龍。いまうとるすと漬糖砂は皮で種一の柑蜜は(つるへ加に中の子葉又しと用食を肉。い多に方地部南は(央



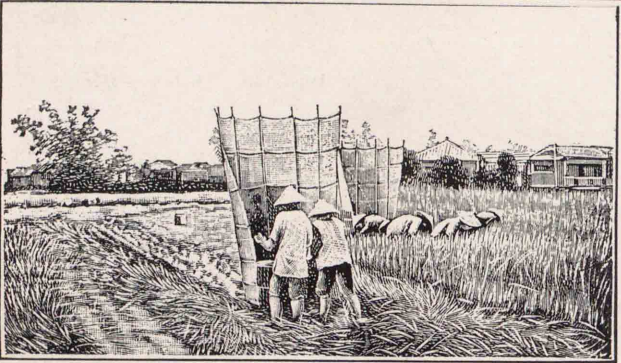
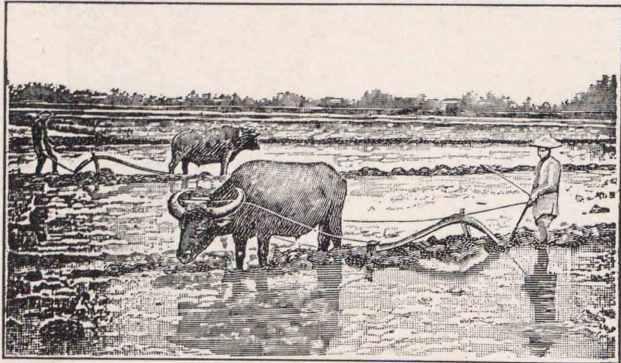


甘藷と馬鈴薯の生産割合を各中額を以て示す

四、産業 農業は主産業で、主として西部平野に行はれ、米、甘藷、甘藷を三大農産とし、この外、果實、茶の産多く、豚の飼育が盛んで、水牛、家禽の飼養も行はれる。山地は森林に富み、阿里山等から良材を出す。樟脳、樟脳油を製し、その産額世界第一である。鑛産は北部の石炭、金、銅等名高く、中部の油田も有望である。西海岸は雨量少く、日射強く、風が多いから、天日製鹽に適する。水産業は北東部と南西



米作



上圖は水田を耕すところ、使役する動物は水牛、下圖は收穫の状況である。米作は本島第一の作物であるから、灌漑の便ある所は大抵水田にする。多くは一年に二回の收穫がある。産出額八百萬石ほどで、移出は三百萬石餘六千餘萬圓である。

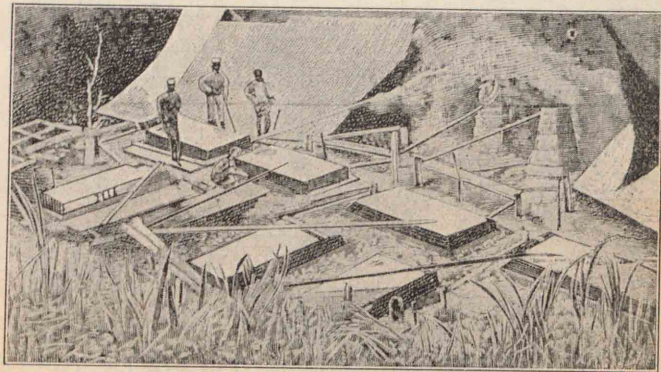
(尋地二二八頁)

茶



茶の栽培區域は比較的濕氣に富む中部以北の地方で、臺北新竹の二州を主とし、年數回葉をつみ、烏龍茶、包種茶、紅茶等に製造する。





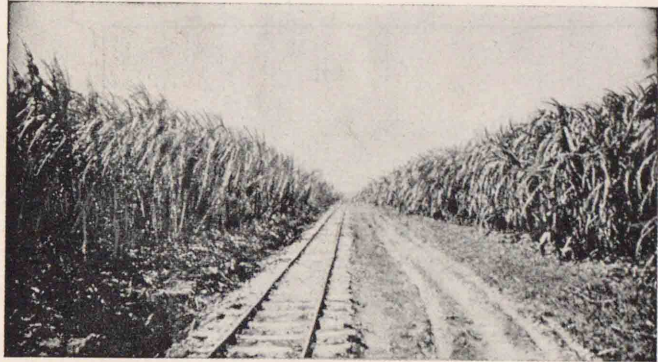
で産特の島本に殊洋東は腦樟 場工製粗の腦樟  
防や用薬とも。るす出製で近附地山の部北部中  
ロールセがたつか少が要需は頃たるつなと用蟲  
督總は腦樟。たし増が要需に急來以明發のドイ  
入を片木の樟に釜の方右の圖。るあで賣專の府  
にめだ水の方左で管は腦樟たし發蒸とすむてれ  
(頁一三二地尋)るあでのるま固てつ入



は法製。るあで南以部中岸海西は地産の鹽灣臺 鹽製日天  
つ待をのるなくこの分鹽れ入に池餾蒸を水海づ先で製日天  
るあでのるめしせ晶結てし移に池晶結を之て

部に行はれる。工業も次第に發達し、砂糖を第一とし、その他茶鳳梨罐詰アルコ  
ール樟腦及び樟腦油の製造が行はれる。

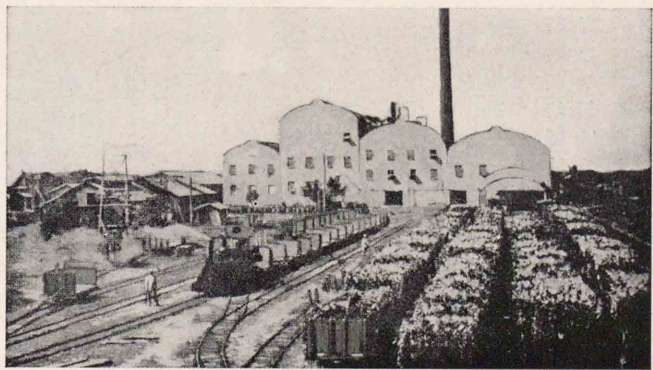
甘蔗は米につぐ農作物で南西部が主産地である。日本領となつてから政府の指導によつて發達したものである。苗は主にジャワ種を改良したものである。灌漑や排水の設備もよくとつた。上圖は甘蔗の畑で、成熟すると刈りとつて貨車や、中圖のやうにして工場に運び、工場でこれをしぼつて粗糖(赤砂糖)・精糖をつくり、主に内地に出す。内地の製糖會社はこの粗糖とジャワの粗糖とから精糖(白砂糖)をつくるのである。製糖業は臺灣第一の工業で總生産額の六割を占めてゐる。(尋地二、二九頁、三〇頁)。



甘蔗園

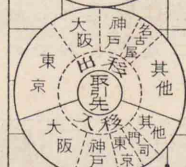
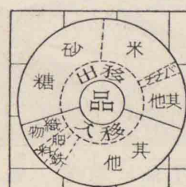
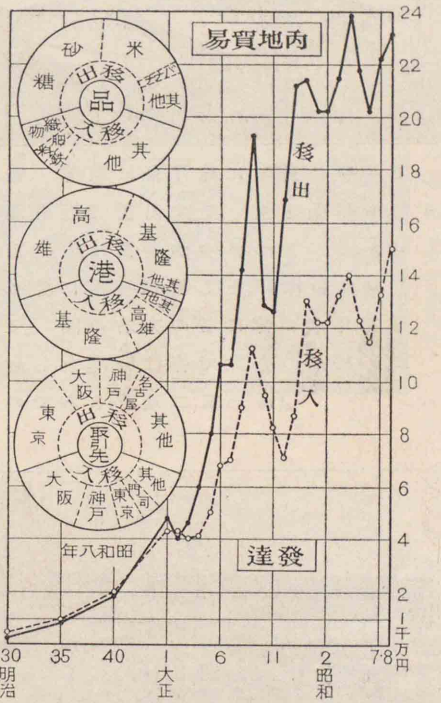
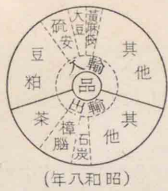
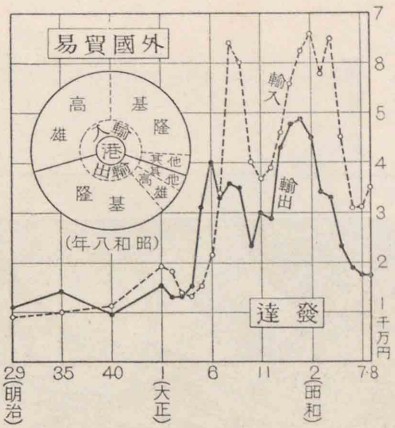


甘蔗運搬(水牛使用)



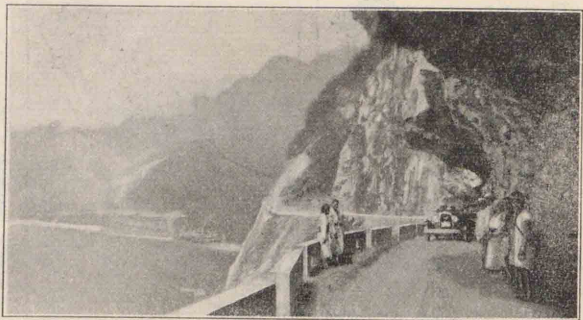
製糖工場



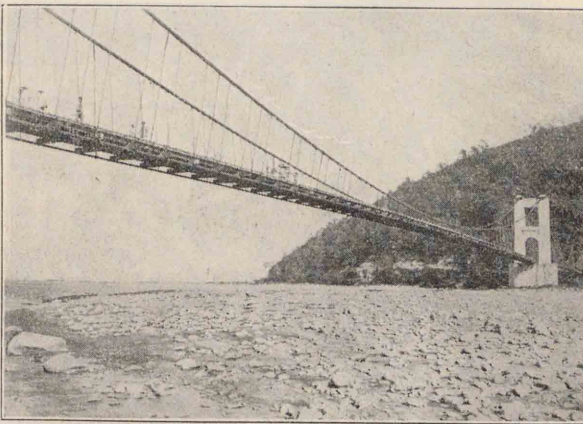


商業は内地との取引が最も盛で、砂糖・米・バナナ・鳳梨罐詰等を移出し、織物・肥料・鐵材・乾鹽魚等を移入する。外國貿易は滿洲・支那・米等との間に行はれ、茶・樟腦・石炭等を輸出し、豆・糟・硫酸・アンモニウム・大豆・黃麻袋等を輸入する。開港場のうち盛んなのは基隆・高雄である。

**五、交通** 在來の交通機關には内地と異なるものが多い。鐵道は西部の平野に發達し、基隆から高雄にいたる南北の縦貫線と數多の支線とがある。南西部の製糖盛んな地方には、甘蔗運搬専用の私設鐵道



**道路と鐵線橋** 東岸の花蓮港・蘇澳間の斷崖下に二〇〇軒の良道が通じた。上圖はその一部である。下圖は其の道路のほとり中央臺北州と花蓮港廳の界を流れる大濁水溪の急流に架せる吊橋(長さ五五〇米)である。

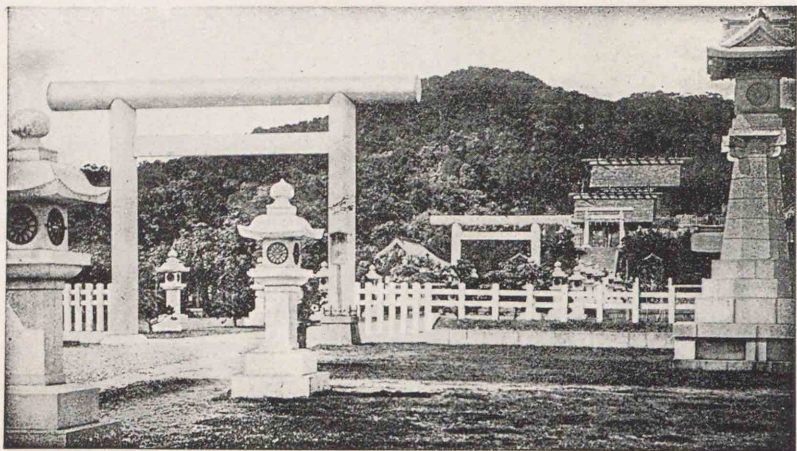


**竹筏** 本島特有のもので全部竹で作る。動きが少く安傾であるから各地で利用せられる。

が多い。臺東平野には臺東線があつて自動車で花蓮港蘇澳間を結んでゐるが、全島一周及び横斷鐵道はまだ出來ないので、東西の交通



社 神 灣 臺



を命名彦少・命魂國大・命貴己大で社大幣官るあに方北の場車停北臺  
。いよが望展で燥高地土。るす祀奉を靈英の王親久能宮川白北故又り祀

街 市 北 臺

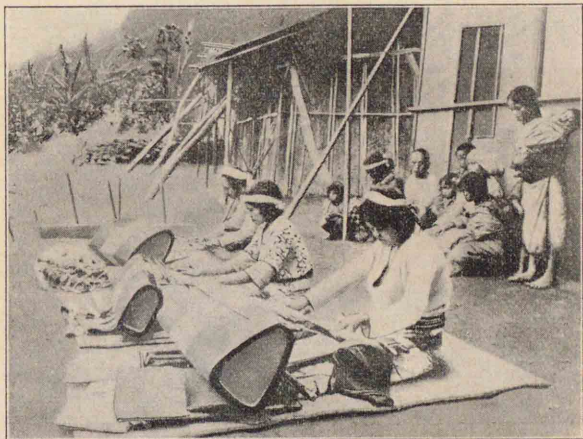
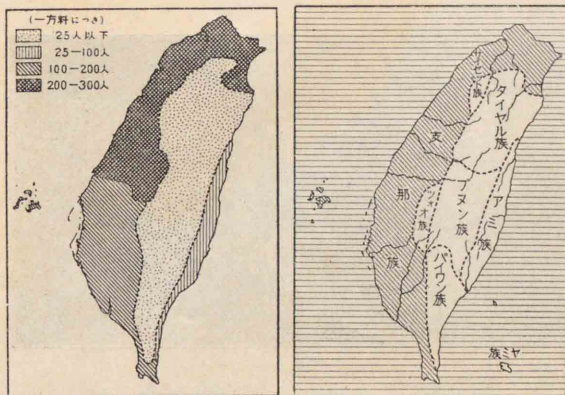


け設を道水上し築修を路道し正改を區市らかてつなに地領の國が我は市  
か東を内城は圖。たへのとを備設的化文るゆらあどなるず通を道水下  
るず通に西らか(下左)門東の其りなと路道線三は跡壁城。ろことた見ら  
(頁五三・二地尋)。るえ見が府督總にり當突の路道

は不便である。

\*無線電話も内地との間に通じた。

支那族は西部の平野に密集するので、人口の密度が大きい(上左圖)。生蕃は主に山地に散在してゐるので人口の密度は非常に小さい。生蕃は七種ほどに分たれるが(上右圖)、最北部に住むタイヤル族は最も凶暴で**誠貢**(首がり)の風がある。下圖はタイヤル婦人の機おりの状況である。(尋地一、五頁)。



往來する。海底電線は淡水から長崎・琉球・福州(支那)に通じ、無線電信局は臺北等にある\*。  
六住民 住民は總數五百餘萬、その中、内地人は二十餘萬、蕃人は約二十萬、其の他は支那族で概ね西部の平野に住む。蕃人はその文化の程度によつて、生蕃と熟蕃とに分ける。熟蕃約五萬人は山麓の地に土着し、支那族に同化して良民となつたが、生蕃は







臺北から南すると新竹市、臺中市、彰化市がある。更に南方の嘉義市附近は製糖業盛んで、東方の阿里山の木材を集散する。臺南市は支那領時代の首都で、南部の大中心である。高雄市は基隆に次ぐ良港で、築港新に成り、砂糖、米等の積出が多い。その東方に屏東市、南端に近いところに恒春がある。

(2) 東部は交通不便で開拓がまだ進まないのので、人口も少く、産業も振はない。都市では北の宜蘭平野の宜蘭、蘇澳、臺東平野の花蓮、港臺東がやゝ著れてゐる。

(3) 澎湖諸島は海蝕で分離した臺地狀の低い火山島から成り、その中澎湖、白沙、漁翁の三島は内に澎湖灣を圍み、灣内の馬公には海軍の要港を設けて臺灣海峽を守る。

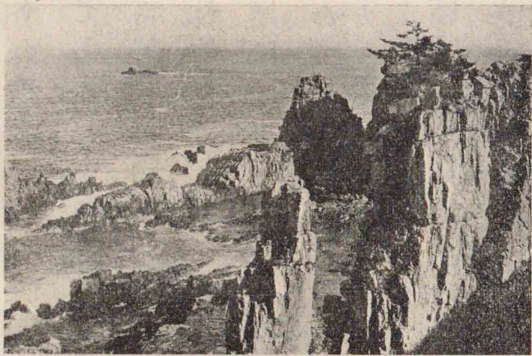
問 一、我が國の熱帯植民地としての臺灣を調べよ。  
二、臺灣と樺太とを比べよ。

## 第十二章 朝鮮地方

朝鮮は我が國と古くから密接な關係があつたが明治四十三年我が國と併合した。京城に朝鮮總督駐在して政務を統轄し、地方を十三道に分け、各道に知事を置き、道の下に府、郡、邑、面がある。軍備は龍山に朝鮮軍司令部があつて、龍山と羅南に二個師團を備へ、又鎮海に要港を置く。地理上、南部慶尙全羅、忠清各南北道、中部京畿、江原、黄海の三道、北部平安、咸鏡各南北道の三區に分たれる。

一、位置 朝鮮は日本海と黄海との間に突出する東亞の一大半島で、鴨綠江、豆滿江を境として大部分は滿洲國に、一部はソビエト聯邦に連る。

二、地形 一帯に山がちである。滿洲との界には長白山脈が北東から南西に連り、中には半島の最高峯、白頭火山が聳える。その南方に蓋馬



金剛山 朝鮮第一の名山で、花崗岩からなり、その節理(われめ)にそつて侵蝕され、種々の奇景をあらはす。圖は海金剛の一部を示す。(尋地二、三九頁)

\*内地の市郡(島)町村に當る。

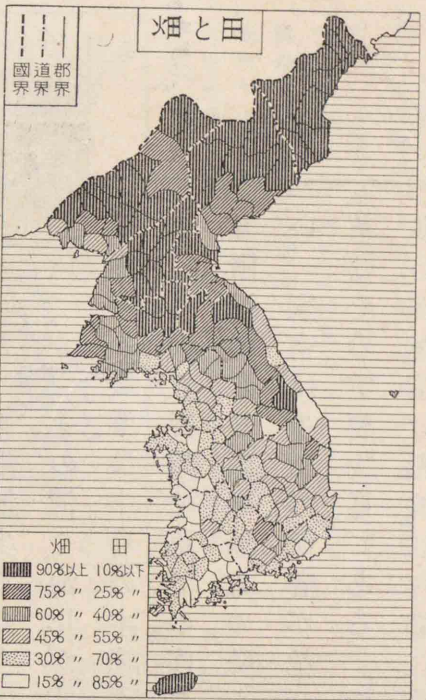
\*\*長さ約八百軒、面積ほぼ本州に等しい(三頁)。

▲尋地二、三八頁



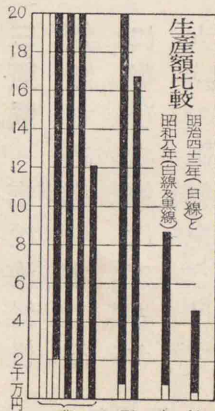




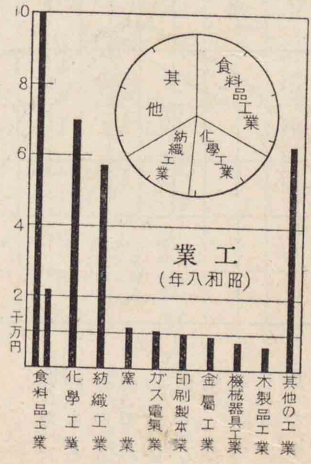


\* 尋地二、四六頁  
 \*\* 尋地二、四七頁

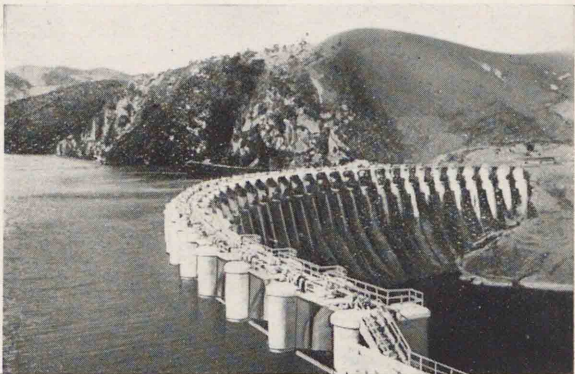
西岸の石首魚等<sup>\*\*\*</sup>を主とし、又西岸では天日製鹽が行はれる。工業は從來ごく幼稚であつたが、近年内地人の手によつて次第に



行はれるだけである。鑛産は金石炭、鐵、黒鉛を多く産する。近海は地形海流等の關係で、水産に富み、東岸の鱈、明太魚、鯨、南岸の鯖、鯛、岸の鯖、鯛

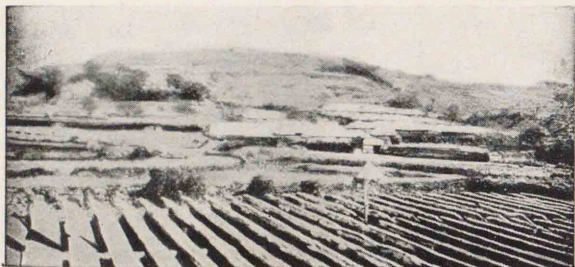


米の收穫 地形・氣候の關係で南部・中部には米の産は多いが北部には少い。昭和八年の産額一千八百餘萬石、その内、移輸出は約八百萬石に上る。左圖は農家の米收穫の状況である。



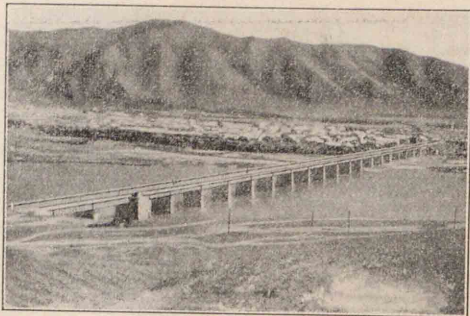
貯水池 灌溉工事がだんだん各地に出来て米の産出が多くなつた。右圖は全羅北道の全州の西方にある貯水池で一萬七千町歩を潤すものである。

人蔘烟 人蔘は古くより薬用として尊ばれてゐる。左圖は開城の人蔘畑を示す。葎簾を並べて多くの屋根を作りその下で人蔘を育てる。人蔘は總督府の專賣品である。(尋地二・四四頁)



綿は咸鏡南北道以外殆んど到るところに栽培されるやうになつたが全羅南道慶尙南北道及び平安南道が其の主産地である。右圖は綿を收穫してゐるところである。





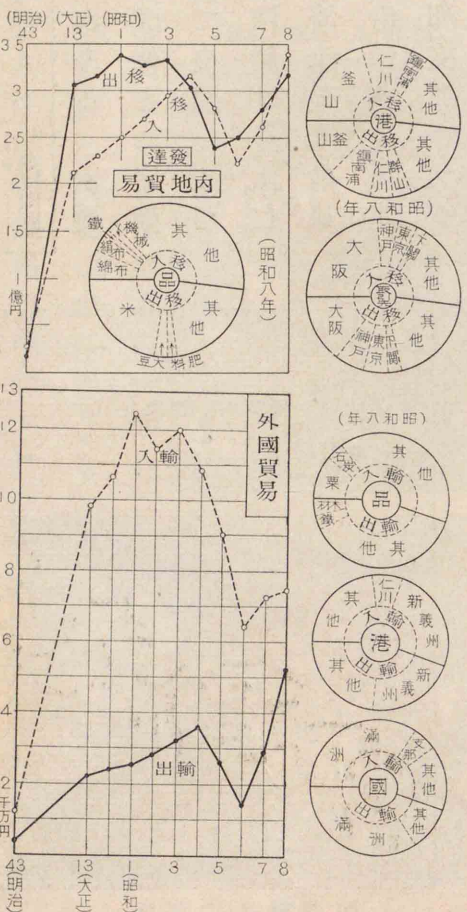
橋鐵の江滿豆

\* 尋地二、四八頁

五交通 京釜・京義の二線は半島を南北に縦貫する鐵道の  
大幹線で、南は連絡船で山陽線、北は鴨綠江の鐵橋で南滿洲

た。内地及び外國との取引は年々盛大になり、ことに内地  
との取引最も多く、農産物<sup>大豆・米</sup>・工産物<sup>肥料・生絲</sup>・水産物<sup>魚類</sup>・礦産物<sup>鐵・銅</sup>  
畜産物<sup>牛・皮</sup>等を内地に移出し、綿布其の他の織物等に移入  
する。

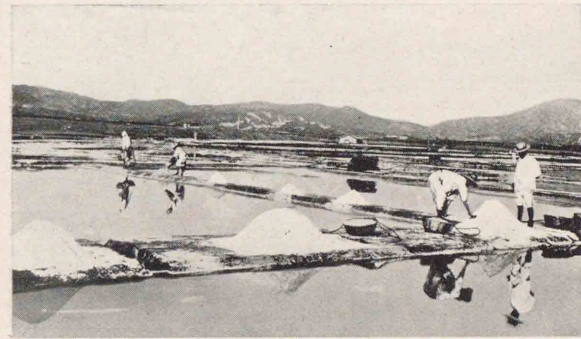
新式の工業が  
興った。商業  
は各地の定日  
市でも行はれ  
てゐるが、だん  
だん常設の商  
店が  
出來



釜山の魚市場 釜山は漁業  
の中心にあるので魚類の  
集散が多い。右圖の市場  
に集まるタヒサハラ・ヒラ  
メ・アジ・サバ・ブリ・タチウヲ  
等を鮮内・内地・滿洲等に送  
る。



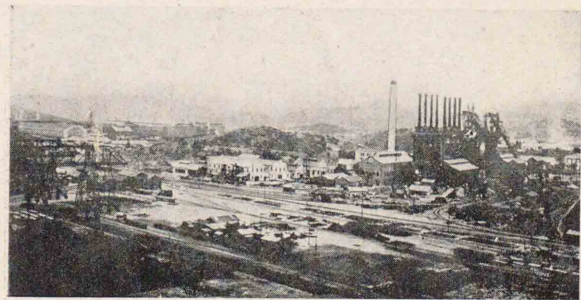
鹽田 鹽は人蔘・煙草・阿片と共に政  
府の專賣品である。左圖は鎮南浦  
(平安南道) 西方の廣梁灣鹽田(天  
日製)で官營のものである。朝鮮  
では年々鹽の生産約三億斤に對し  
五億六千萬斤消費するので、不足  
分は滿洲・支那等から買ふ。



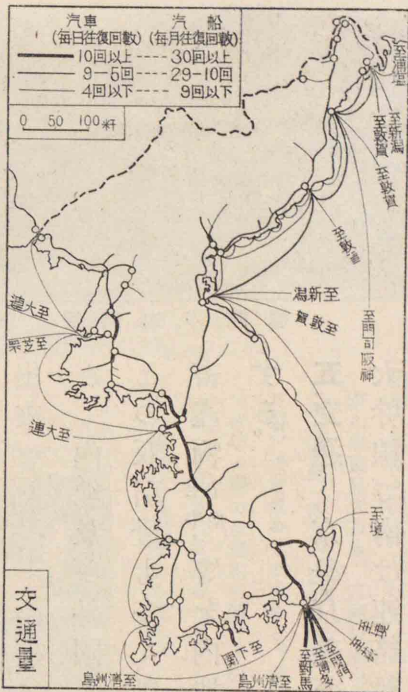
興南窒素肥料會社 興南は咸興  
(咸鏡南道)の南東海岸にあ  
る。この場では、鴨綠江上  
流の赴戰江・長津江の水を日  
本海方面に落して得た電力を  
用ひ、水・空氣・硫化鐵礦・  
燐礦石を原料として人造肥料  
(硫酸アンモニア)等を製出  
する。



兼二浦製鐵所 兼二浦  
は平壤と鎮南浦の間  
にあつて大同江に臨  
む。左圖はその製  
鐵所で黄海道に産す  
る鐵礦を原料にする。



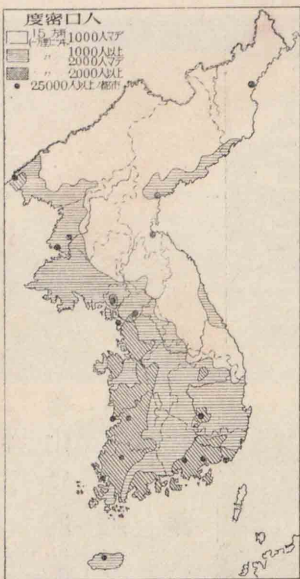
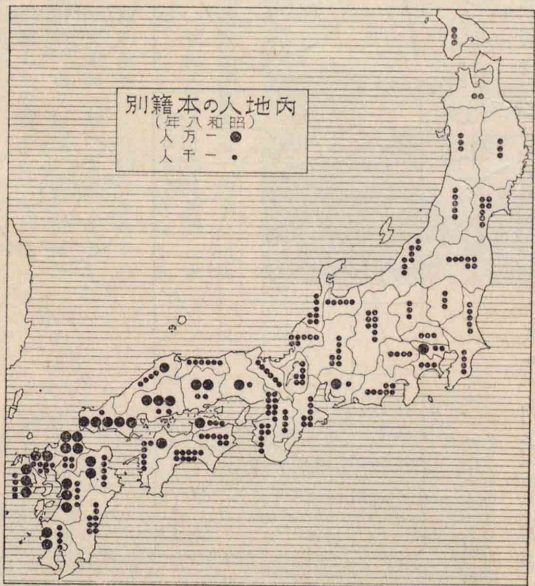




朝鮮鐵道線等がある。主要道路も次第に改修され定期自動車も通じて交通の便がよくなつた。汽船は釜山仁川鎮南浦元山清津羅津雄基等を中心とし、沿岸各港を連ね、また内地、滿洲支那、ウラヂ

交通量

鐵道の安奉線に連絡する。又京城より北東に連る京元線、咸鏡線、北鮮線は豆滿江の鐵橋で滿洲國の京圖線に連絡する。その他、湖南線、慶全線、東海線



半で線一たいひに東南らか西北がるれさ分等二いほは積面の島つなに合割の五・三と一は口人關のと度密口人と形地。るゐてよ見を係

よく似てゐる。教育も次第に面目を改め、學校の設備も漸く整つた。移住内地人は、その數五十餘萬多くは都市に住む。  
七、處誌 (1) 南部 慶尙、全羅、忠清、各南北道、所謂三南の地で、氣候は半島

ポストックとの航通も行はれてゐる。  
六、住民 住民は、總數二千餘萬、密度は北東部に小さく、南西部に大きい。全半島を平均すると、内地の半に過ぎない。固有の朝鮮人は、容貌、體格等内地人に

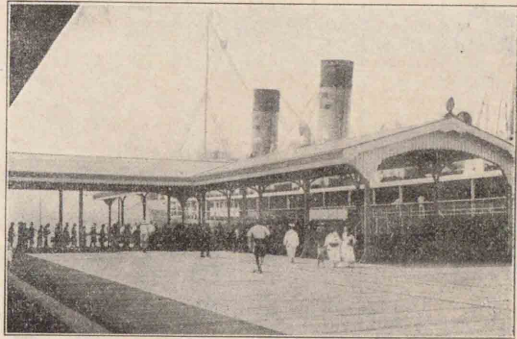
(族家の流上) 人鮮朝



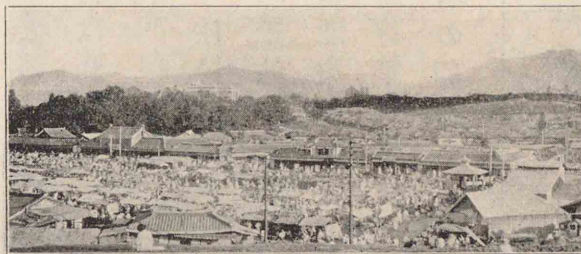
濯洗の人婦鮮朝



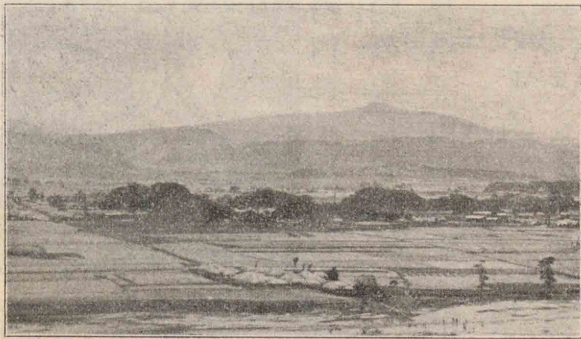
中最も海洋性で、土地割合に開け米・綿等の産多く、人口密度も高い。南東端の釜山は内地との交通・貿易上最も大切な半島第一の開港場で、貨客の出入が甚だ多い。鎮海灣内には、鎮海馬山の良港がある。鎮海は海軍の要港である。大邱は洛東江流域の中心市場で、農産物の集散多く、春秋の大市に名高い。その東方の慶州は新羅の舊都で古蹟に富み、北西の大田は米作の一中心をなす。その北方の清州は忠清北道の中心、西方の扶餘は百濟の故地である。



釜山港 (釜山連絡船) (尋地二、四七頁)



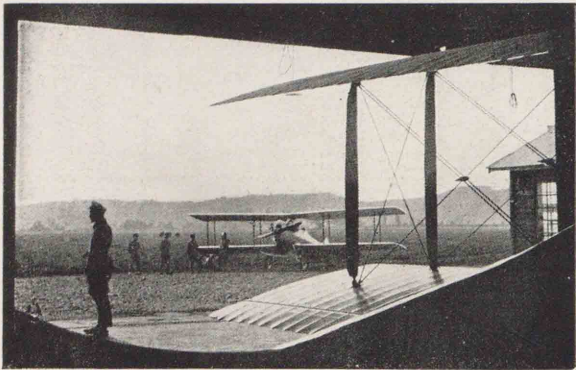
(頁〇五、二地尋) 市大の邱大



。るえ見が群墳古の内地盆。處た見らか西 州慶

の集散多く、春秋の大市に名高い。その東方の慶州は新羅の舊都で古蹟に富み、北西の大田は米作の一中心をなす。その北方の清州は忠清北道の中心、西方の扶餘は百濟の故地である。

飛行場(左) 大同江の東岸にある飛行聯隊のもので、旅客機も茲に着陸する。背景は大同江對岸の牡丹臺一帯の丘陵で、平壤市街の北端にあたる(尋地二、四〇頁)。



。るみでん圍が堤波防を灣津清たれら守を方東に(方後右)島半抹高 港津清



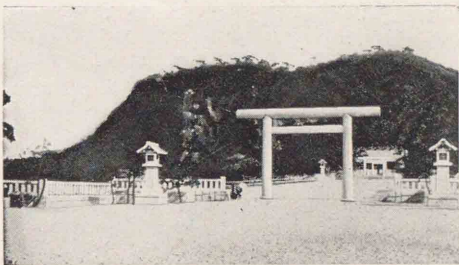
經港築の鐵滿に(方西)方右の川津羅たれさ修改の央中 港津羅  
。るえ見てつな重が島草小・島草大はに口灣。るみてし行進が營



。るれら見が街市・道鐵・港へ右らか左 港基雄



朝鮮神宮 京城の南山にある官幣大社で天照大神及び明治天皇を祀る。外苑からの眺めがよい。



京城の全景 三角形の北岳山の麓に見えるは朝鮮總督府で、その前の通りを南すると(圖の左下)京城府廳と徳壽宮とが相對して居る。

京城の黄金町通 南大門通から東に見たところで、右角の建物は日本生命保險會社のビルディングである(尋二、五一・五二頁)。



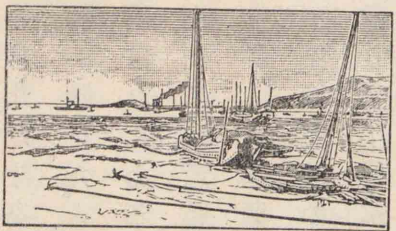
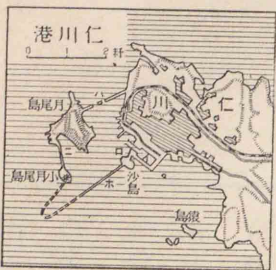
京城の鮮人街 藁葺の家が狭い道の兩側に並んでゐる。上の圖と比べて新舊市街の著しい對照を見よ。



\*尋地二、四三頁

西岸の群山木浦の二港は夫々小平野の門戸をなし、米綿の積出多く、又近海漁業の中心をなす。全州と光州は夫々道廳の所在地である。

仁川港 朝鮮第二の貿易港であるが、潮汐の干満の差は十米以上に及ぶことがあつて我が國第一である。中圖は干潮時の有様で、右は月尾島、左は小月尾島、大船は六料の沖で荷役をしなければならなかつたから、丁度三池港と同様に上圖の(イ)のやうな閘門式のドック(面積三萬坪、水深八米餘、四五千噸級の船三隻を横付け出来る)を設け、(ロ)の部分さらへ(ハ)(ニ)(ホ)に防波堤を造つて之を護る。下圖は港の大觀である(尋地二、四一頁、四二頁参照)。



(2) 中部 京畿・江原・黃海三道の地である。江原道は概ね山地であるが、他の二道は平野所々にひらけ、殊に京畿道は久しく半島の中心をなしてゐる。京釜線に沿ふ水原には農事試驗場、高等農林學校があつて農事改良の中心である。京城は李朝五百年の舊都、朝鮮第一の大都市で、半島の政治・文化・交通・商工業の大中心である。その一部の龍山には第二十師團司令部置かれ、工業も盛んである。



西方の仁川<sup>147</sup>は半島第二の開港場で、閘門式船渠の築港が出来て、従来の不便を除いた。京城の北西の開城<sup>148</sup>は高麗<sup>149</sup>の舊都で、人蔘の産地として著はれてゐる。黄海道は鐵金の産に富み、兼二浦には製鐵所があり、海州には道廳がある。又、江原道の首都は春川である。

(3) 北部 (イ) 北西部は平安南北道の地で、大同江流域が主要地をなす。平壤は流域の中心都市で、附近からは石炭を産し、水陸交通の要點に當り、商工業が盛んで、その門戸には鎮南浦の開港場がある。平安北道には雲山大楡洞等の金鑛がある。新義州は鴨綠江を隔てて満洲の安東に對する開港場で、營林署の製材所がある。

(ロ) 北東部は咸鏡南北道の地で、大部分は蓋馬高原に屬し、海岸附近が主要地をなす。元山は東岸中部の開港場で、その北には咸興<sup>145</sup>、清津<sup>145</sup>、羅南<sup>145</sup>、羅津<sup>145</sup>、雄基<sup>145</sup>等がある。羅南は第十九師團司令部の所在地、清津、羅津、雄基の三港は満洲の東の門戸をなす。

問題 植民地としての朝鮮の價值如何。

\* 尋地二、四五頁

### 第十三章 總說

#### 第一節 地文

一、地形 日本列島及び朝鮮半島は山や丘陵が到る所に起伏し、河や平野の大きなものが少い。

山脈<sup>150</sup>と火山脈 日本列島を造る主な山脈は中央部に噴出する富士火山脈を界として、北彎、南彎の二山系に分たれる。北彎は樺太から南に延び、北海道に蝦夷山脈を起して本州に入り、北上山脈、阿武隈山脈、奥羽山脈、越後山脈及び關東山脈等の低い山脈となる。南彎は外帶、内帶の二列から成り、九州山脈、四國山脈、紀伊山脈及び赤石山脈は外帶に屬し、筑紫山脈、中國山脈、飛驒山脈は内帶に屬する。是等の山脈中、飛驒山脈は最も高峻で、三千



立山(彌陀ヶ原と大日岳)

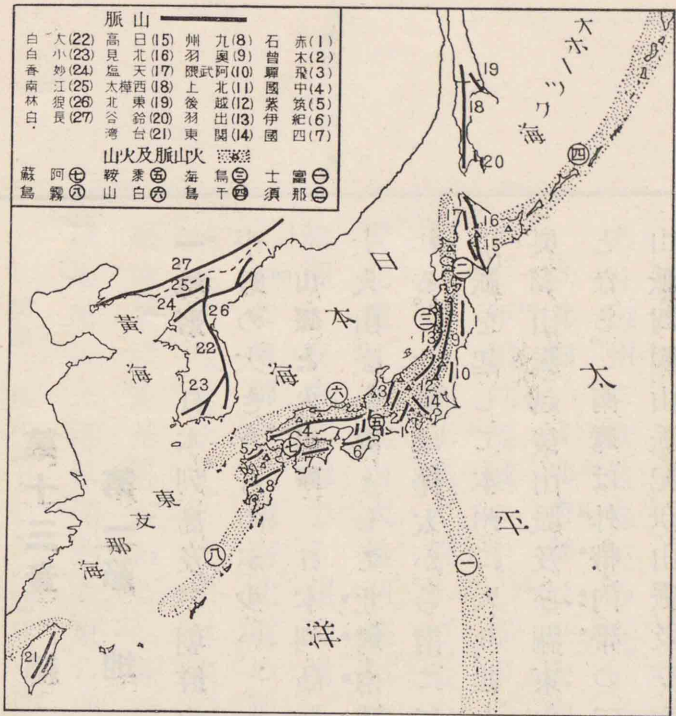


米以上の高峰が少くない。

以上の山脈の外、日本列島には火山の噴出頗る多く、縦横に通ずる

數多の火山脈がある。中にも著し  
きは富士火山脈で、脈中の富士山は  
單式火山の標式的の形をなし、長い  
裾野をひいてゐる。この他、北日本  
には千島、那須、鳥海の諸火山脈、南日  
本には白山、阿蘇、霧島の諸火山脈が  
ある。これ等の中には今尙活動す  
るものもある。

我が國には火山活動以外に、地震  
多く、火山學、地震學の研究資料が豊  
富である。又温泉多く、療病等に用  
ひられる。



脈山火び及脈山の本日

臺灣の主な山脈は臺灣山脈、朝鮮半島の主な山脈は大白山脈、妙香  
山脈等である。

河と平野 何れも大なるものなく、且急流のため水運の便は少  
いが、發電、灌漑に利用せられる。北日本中その主なものは、石狩川とそ  
れに養はれる石狩平野や、山脈の間を流れる北上、阿武隈、信濃等の諸  
川である。尙この地域の南部には我が國最大の關東平野があつて、  
利根川斜に之を貫流し、交通灌漑の利が多い。南日本には木曾、淀、筑  
後の諸川があつて、濃尾、山城、大阪、筑紫の諸平野を養ふ。

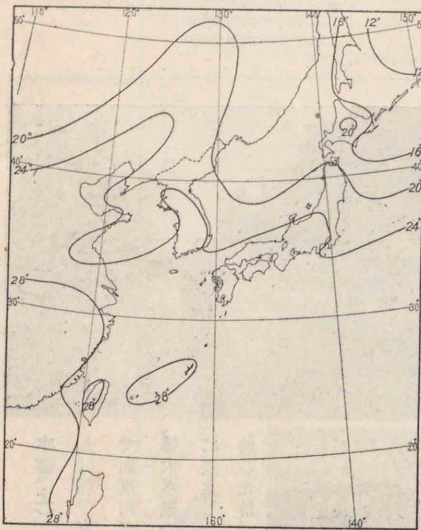
臺灣には西部に濁水溪等の流域に大平野がある。朝鮮には四百  
斤以上の川が六つもあるが、到るところ山がちで大平野はない。

湖沼中、琵琶湖、霞浦等は舟運、漁業、灌漑の利が少くない。

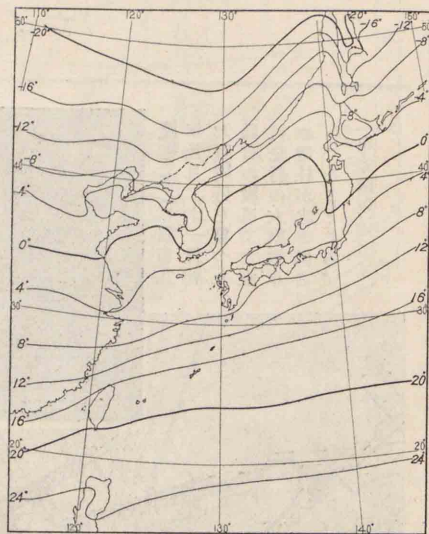
二、海岸近海 我が國は島と半島とからなるから海岸線が頗る長い。  
潮汐干満の差は各地一様でなく、仁川附近が最大で十米に及び、佐  
渡では三分の一米に過ぎない。



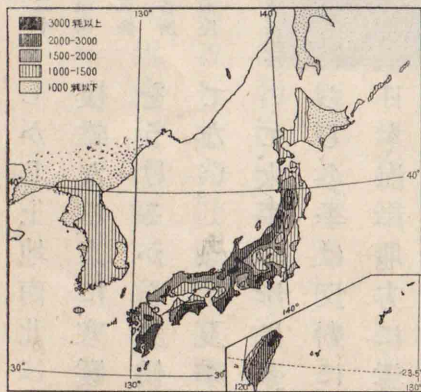
線温等月七



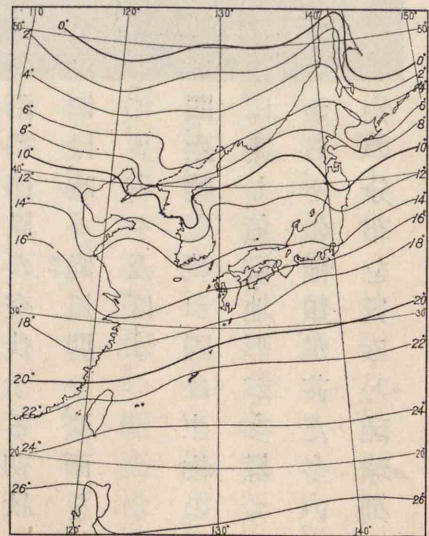
線温等月一



量水降年

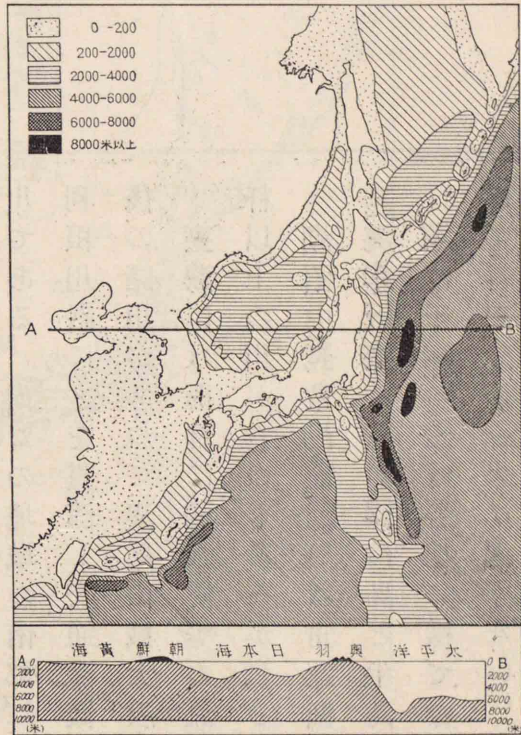


線温等年

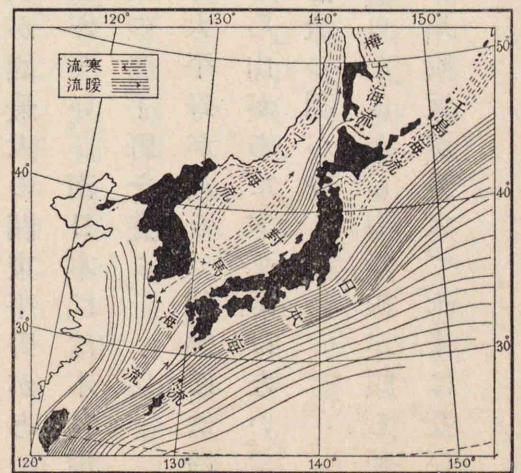


六〇頁の雪分分布圖と此と  
よ。尙ほ海流・風の向に  
よ。此の圖を説明せよ。

沿海には寒暖の二流がある。日本海流は一名黒潮といひ、その支  
流對馬海流と共に暖流に屬し、千島海流は親潮といひ、リマン・樺太の  
兩海流と共に寒流に屬する。これ等の海流は氣候・水産等に關係す  
ることが大きい。  
**三、氣候** 臺灣の一部を除く外は温帶に位し、氣候概して温和である。



日本近海の深度

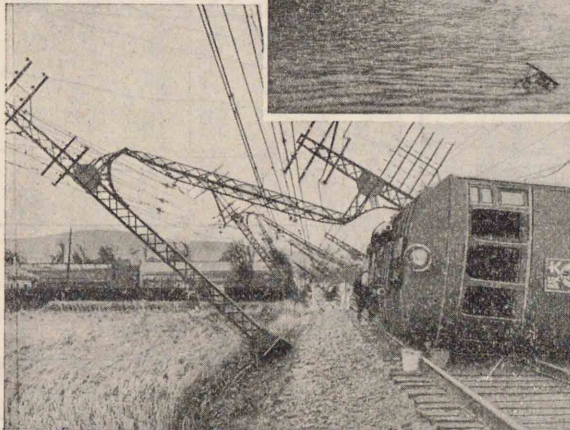


日本近海の海流





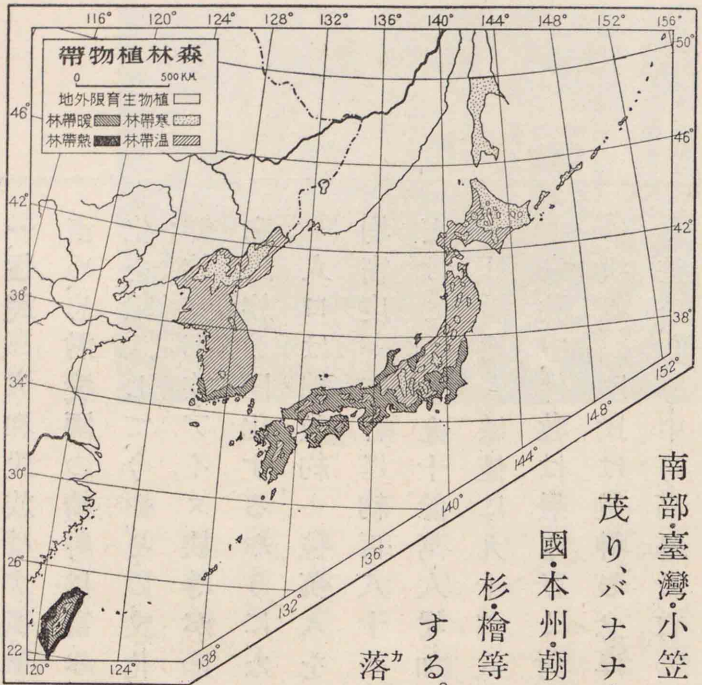
風害(下) 昭和九年九月二十一日朝大阪附近を襲った稀有の颱風で大阪行急行の大軌電車や電柱が吹き倒されてゐるところ。(布施驛附近)。



水害(上) 昭和十年六月二十九日朝、京都では夜來の豪雨で加茂川が溢れ、三條・五條等大多數の橋は落ち河畔各所に浸水した。圖は四條通南座前の光景である。

しかし土地南北に擴がり、地形複雑なる上に、寒暖二流の影響をうけるから、氣候は各地一様でない。風は夏季、偏南風が吹いて、太平洋岸に多くの雨を降らし、冬季は反對に偏北風多く、日本海岸地方に雪をもたらす。兩季節風の交代する初秋の候には、時々颱風襲ひ、豪雨を伴つて、災害を及ぼす。

四、生物 我が國は生物の發育に適し、氣候・地形が多様であるから、その種類が甚だ多い。植物の分布を見ると、琉球列島の



頗る多い。

南部臺灣・小笠原諸島には熱帶性の榕樹・林投・樹・檳榔等

茂り、バナナ・パイナップル等の果實を産する。九州・四

國・本州・朝鮮には暖帶及び溫帶性の樟・檜及び榲松

杉・檜等の樹木・蜜柑・桃・梨・葡萄等の有用果實を産

する。北海道・樺太には寒帶性の蝦夷松・椴松

落葉松の森林がある。

動物は植物の如くその變化著しくない。

北海道・本州・朝鮮には馬・牛・豚の如き有

用家畜飼はれ、臺灣には水牛を役使す

る。尙、朝鮮には虎、北海道・樺太には羆

がある。外、北方近海には鰻・鮎等がある

る。近海は諸種の魚族に富み水産が

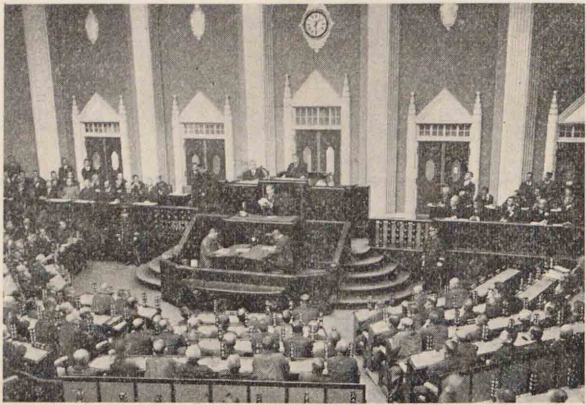


## 第二節 人文

一、住民 大和民族はアジヤ人種中の最優等種族で、國民の大部分を占め、忠君愛國の精神に富み、夙に支那・印度の文化を入れ、近く西洋文化を輸入して、今や、その文化はヨーロッパ種族に劣らない。この他、朝鮮族・支那族・アイヌ族等があつて、言語・風習等を異にするが、次第に大和民族と同化するやうになつた。

人口は總數約一億萬人を數へる。その内、内地は約七千萬人で、平均密度一方、約百八十一人である。尙人口の増加も著しく、内地だけで年々九十餘萬人増加する。従つて移民の必要が大であるが、在外内地人は僅に九十萬人に過ぎない。

宗教中、佛教は最も弘く行はれ、神道・キリスト教を信ずるものこれに次ぐ。國民は敬神の念厚く、神社が甚だ多い。教育はその制度よく整ひ、初等・中等・高等教育の機關よく完備し、その普及・學藝の發達、日



衆議院の議場

を逐うて盛んである。

二、政治 我が國は上に萬世一系の天皇を戴く立憲帝國で、國體の美なることは世界萬國にその比を見ない。

天皇は萬づの政を總べさせ給ひ、その下に立法・行政・司法の三機關が設けられてゐる。

立法部 立法部は貴族院と衆議院とから成る帝國議會で、主に法律案及び歳計を審議する。

行政部 中央政府に内閣及び内務・外務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農林・商工・逓信・鐵道・拓務の十二省があ

る。内閣總理大臣は各省の大臣と共に内閣を組織し、政務を執る。地方は三府・四十三縣・北海道・樺太・臺灣・朝鮮に分ち、府縣に知事、北海道・樺太に長官、臺灣及び朝鮮に總督を置いて、地方の政務を掌らしめる。又關東州租借地と南洋委任統治地とは各長官を置く。



**司法部** 裁判所はその機關で、區裁判所、地方裁判所、控訴院、大審院の階級がある。臺灣、朝鮮、關東州、南洋には特別の司法制度がある。

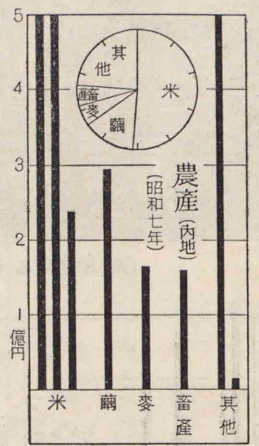
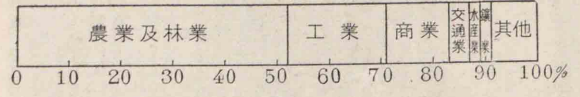
**軍備** 我が陸海軍は大元帥陛下の統率し給ふ所、徴兵制度を布く。陸軍は内地に十四師團を配置し、別に東京に近衛師團を置く。又朝鮮には二個師團、臺灣、滿洲及び北支那には守備隊を駐屯せしめる。海軍は帝國領海を三區に分ち、各區に一個の軍港を設け、軍艦を配屬して警備せしめる。その他、國防上重要な地には要塞、要港等の設備がある。

我が國は列國と對等の條約を結び、その數は五十餘國で、概ね互に大使又は公使を派して國交を修める。又別に要地には領事を置いて、通商及び居留民の保護に當る。

財政は國勢の發達に従つて膨脹し、歳出は約二十二億圓になつてゐる。國債の額も少くない。

**三、産業** 我が國は古來農を以て本とし、國民の過半は之に従事する。

(地内) 割合の人口別業職

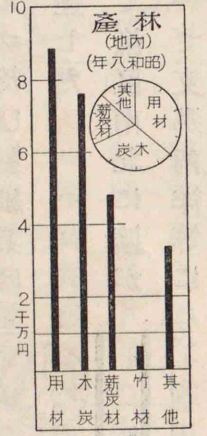


しかし耕地が割合に少く、農産も人口に比べて少いから、外國から輸入する農産物が少なくない。農業用肥料の國産も多くなつたが、輸入額も少くない。養蠶業は著しく發達し、殊に中部、關東の諸地方に

盛んである。従つて生絲、絹織物の産額多く、中にも生絲の輸出高は世界第一で、支那の上に位する。

牧畜業は發達しないので、羊毛、皮革等は外國から多く買ふ。

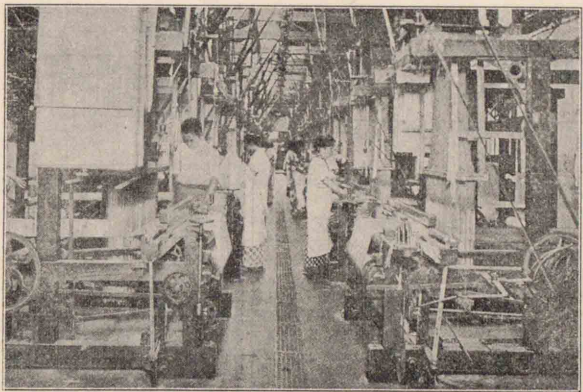
我が國土の半は森林で、杉、檜、松類の産が多い。しかし、なほ多量の木材を輸入する。



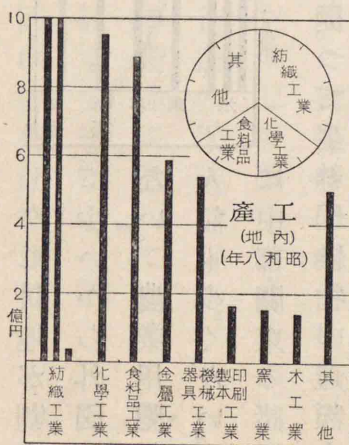
パルプ工場(樺太の恵須取)



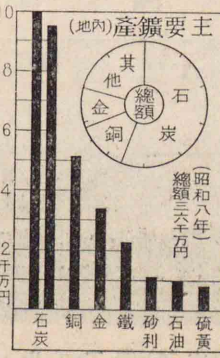
木材を原料とするパルプ及び製紙業は近年北海道樺太に發達した。水産業は甚だ有望で、漁區南北に擴がり、その生産額世界第一で、支那・南洋等に輸出する。



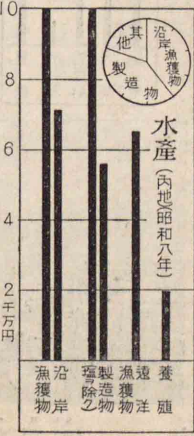
(生桐縣馬群)場工織絹



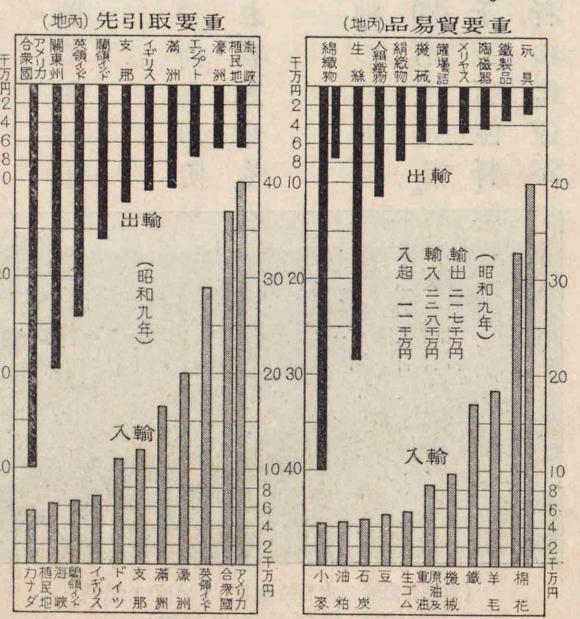
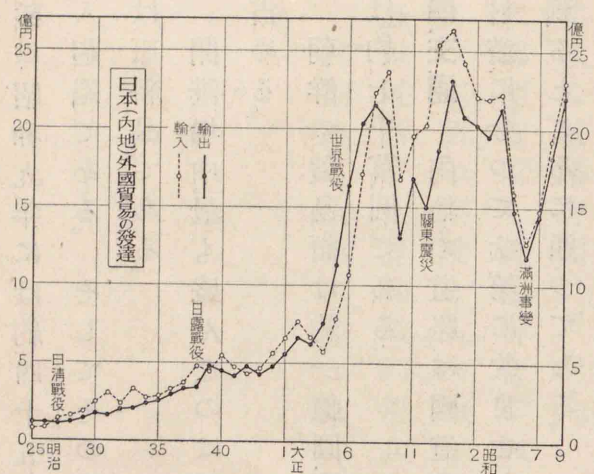
鑛産の第一は石炭で輸出もされる。しかし鐵鑛・石油の産出額が少なくて、多量に外國から買はねばならぬ。



工業は近時急速の進歩をなし、大規模の工場各地に起り、殊に東京・大阪・名古屋附近及び北九州は主な工業地帯で、製品の種類や



産額が多い。然し多くの工業原料を輸入しなければならぬ。都市は各地方商業の中心をなす。殊に東京・大阪の二市は



國內商業の二大中心で、名古屋も近時勃興して中部の中心となつてゐる。外國貿易は内地は四十餘の開港場で行はれ、貿易額年々増加し、輸出入總



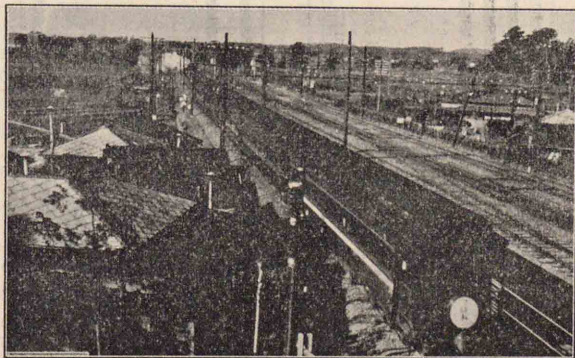
額は昭和九年には約四十五億圓に達したが、世界戦役後は著しい輸入超過である。そしてその輸出品の多くは製造品で、輸入品の多くは原料品である。

開港場中、最も盛んなのは神戸・大阪・横濱で、輸出入額の凡そ八割を占める。<sup>48</sup>

朝鮮の貿易額は約一億圓、臺灣の貿易額は約七千萬圓である。

**四交通** 内地の道路は國道及び府縣市町村道に分つて次第に改良せられ、自動車も到るところに通つてゐる。

鐵道の發達は近年著しく、内地の總延長二萬餘軒に及び、その大部分は國有である。この他、朝鮮に四千軒、臺灣に一千五百餘軒、樺太に六百軒、南滿洲には千餘軒の鐵道が



(車列行急最る走を道海東) 「めぼつ」急特  
(近附驛澤藤縣川奈神)

ある。又、主要都市とその附近には大抵電車がある。

海運も近年長足の進歩をなし、汽船の總噸數四百餘萬噸、世界第三の海運國である。日本郵船會社、大阪商船會社等は沿岸航路は勿論、滿洲・支那・シベリヤ・南洋・オーストラリヤ・印度・ヨーロッパ・アフリカ・南米・北米に航路を開いてゐる。

郵便・電信も萬國聯合に加はる外、その機關よくととのひ、主要都市には電話の架設せられぬところなく、次第に長距離に通じ、無線電信・無線電話は世界的に利用せられるやうになつた。

航空路も次第に開かれて、定期の旅客輸送も行はれるやうになつた。



五訂 女子新地理教科書 日本地理篇終

附錄

甲、舊道別と國名

畿内	山城	大和	河内	和泉	攝津
東海道	伊賀	伊勢	志摩	尾張	三河
東山道	近江	美濃	飛騨	信濃	上野
北陸道	若狹	越前	加賀	能登	越中
山陽道	播磨	美作	備前	備中	備後
山陰道	丹波	丹後	但馬	因幡	伯耆
南海道	紀伊	淡路	阿波	讃岐	伊豫
西海道	筑前	筑後	豊前	豊後	肥前
北海道	渡島	後志	石狩	天鹽	北見
			膽振	日高	十勝
			釧路	根室	千島

乙、行政區劃・面積・人口・都市

昭和十年十月一日現在

一、樺太地方

面積 三六〇九〇方尺

人口 三三萬

人口密度(二方尺) 九人

都市(内地は市、●印は行政上の中心)

●豊原(三・五) 敷香(二・九) 惠須取(二・七)

大泊(二・四) 眞岡(二・九) 知取(一・八)

落合(一・五) 泊居(一・三) 本斗(一・二)

支廳 豊原・大泊・本斗  
眞岡・泊居・元泊

敷香

附錄







滋賀縣	近江	四〇五 <sup>方</sup> 七一 <sup>萬</sup>	●大津(七・二)
京都府	山城・丹波の大部分	四六二 <sup>一</sup> 一七〇	●京都(一〇八・二)
大阪府	攝津の大部分	一八一 <sup>四</sup> 四三〇	●大阪(三九九・〇) 堺(一四・二)
兵庫縣	河内・和泉	八三三 <sup>三</sup> 二九二	●岸和田(三・九)
奈良縣	攝津の一部分・丹波の一部分	三六八 <sup>九</sup> 六二	●神戸(九一・二) 姫路(九・二) 西宮(九・〇)
和歌山縣	但馬・播磨・淡路	四七二 <sup>三</sup> 八六	●尼崎(七・二) 明石(四・三)
三重縣	大和	五七六 <sup>五</sup> 一一七	●奈良(五・六)
岡山縣	紀伊の大部分	七〇四 <sup>六</sup> 一三三 <sup>萬</sup>	●和歌山(一八・〇) 新宮(三・二) 海南(三・〇)
岡山縣	備前・美作・備中	八四三 <sup>七</sup> 一八〇	●津(六・六) 四日市(五・八)
山口縣	安藝・備後	六〇八 <sup>二</sup> 一一九	●宇治山田(五・二) 松阪(三・六)
島根縣	周防・長門	六六二 <sup>五</sup> 七五	●宇治山田(五・二)
鳥取縣	出雲・石見・隱岐	三四八 <sup>九</sup> 四九	●人口 五五七萬 人口密度 一七六人
德島縣	因幡・伯耆	四一四 <sup>三</sup> 七三 <sup>萬</sup>	●岡山(一六・六) 津山(三・六) 倉敷(三・五)
香川縣	阿波	一八五 <sup>九</sup> 七五	●廣島(三一・〇) 吳(二三・一) 福山(五・八)
愛媛縣	讚岐	五六六 <sup>七</sup> 一一六	●尾道(三・一) 山口(三・五) 下關(一三・三) 宇部(七・七)
	伊豫		●萩(三・三) 徳山(三・二) 松江(五・二)

七、中國地方

八、四國地方

高知縣	土佐	七二〇 <sup>四</sup> 七一	●高知(一〇・三)
福岡縣	筑前・筑後	四四四 <sup>六</sup> 五方料	●人口 一〇二萬 人口密度 二二七人
佐賀縣	肥前的一部分	四九四 <sup>〇</sup> 二七五 <sup>萬</sup>	●福岡(二九・九) 八幡(二〇・九)
長崎縣	肥前的一部分	二四四 <sup>九</sup> 六九	●門司(二・三) 小倉(一・〇)
熊本縣	肥後	四〇七 <sup>六</sup> 一三〇	●大牟田(一〇・五) 久留米(九・二) 若松(七・三)
鹿兒島縣	薩摩・大隅	七四三 <sup>八</sup> 一三九	●戸畑(六・八) 直方(四・四) 飯塚(四・〇)
宮崎縣	日向	九一〇 <sup>四</sup> 一五九	●佐賀(五・〇) 唐津(三・一)
大分縣	豊後・豊前の大部分	七七三 <sup>九</sup> 八二	●長崎(二・二) 佐世保(二・七)
沖繩縣	琉球	六三三 <sup>四</sup> 九八	●鹿兒島(一八・三)

九、九州地方

福岡縣	筑前・筑後	四九四 <sup>〇</sup> 二七五 <sup>萬</sup>	●福岡(二九・九) 八幡(二〇・九)
佐賀縣	肥前的一部分	二四四 <sup>九</sup> 六九	●門司(二・三) 小倉(一・〇)
長崎縣	肥前的一部分	四〇七 <sup>六</sup> 一三〇	●大牟田(一〇・五) 久留米(九・二) 若松(七・三)
熊本縣	肥後	七四三 <sup>八</sup> 一三九	●戸畑(六・八) 直方(四・四) 飯塚(四・〇)
鹿兒島縣	薩摩・大隅	九一〇 <sup>四</sup> 一五九	●佐賀(五・〇) 唐津(三・一)
宮崎縣	日向	七七三 <sup>九</sup> 八二	●長崎(二・二) 佐世保(二・七)
大分縣	豊後・豊前の大部分	六三三 <sup>四</sup> 九八	●鹿兒島(一八・三)
沖繩縣	琉球	二三八 <sup>六</sup> 五九	●宮崎(六・五) 延岡(五・六) 都城(三・七)

一〇、臺灣地方

臺北縣	臺北	四五六 <sup>六</sup> 一〇二 <sup>萬</sup>	●臺北(二七・四) 基隆(八・七)
新竹縣	新竹	四五九 <sup>九</sup> 七一	●宜蘭(二・六) 淡水(二・五)
臺中縣	臺中	七三三 <sup>三</sup> 一六	●新竹(五・一)
臺南縣	臺南	五四二 <sup>一</sup> 一三三	●臺中(七・〇) 彰化(五・一) 鹿港(四・〇)
高雄縣	高雄	五七二 <sup>三</sup> 七三	●臺南(一一・二) 嘉義(七・三) 斗六(三・七)
澎湖縣	澎湖	一二七	●高雄(八・五) 屏東(四・三)
附錄	馬公	七	●馬公(二・五)











第一學年蘭組

福永



広島大学図書  
2000063446  
